

FD活動報告書

2017年度

第一薬科大学

FD委員会

Published by Daiichi University of Pharmacy
22-1 Tamagawa-cho, Minami-ku, Fukuoka 815-8511, Japan

目 次

学生授業評価アンケート報告	1
1.アンケート調査実施要領	3
2.アンケート集計結果	10
3.学生コメント総括	32
教員相互授業参観報告	33
平成 29 年度「教員相互授業参観」実施要領	35
平成 29 年度前半 教員相互授業参観感想	37
平成 29 年度後半 教員相互授業参観感想	47
平成 29 年度 一斉参観形式 教員相互授業参観感想	60
教員による授業の自己評価報告	95
FD 研修会報告	99
第 1 回 学内 FD 研修会報告	101
第 2 回 学内 FD 研修会報告	107
学外 FD 研修会報告	115

学生授業評価アンケート報告

平成 29 年度

1. アンケート調査実施要領

【目的】 このアンケートは授業及び実習に関し学生の率直な意見を収集し、その結果を授業及び実習の質向上を図るために実施するものである。

【実施要領】

- (1) 調査対象者：1～6年次学生全員。
- (2) 調査対象授業：実務実習を除くすべての授業科目及び実習について、学期毎に実施した。
- (3) 実施方法：
 - ①マークシート用紙を用いて行う。
 - ②無記名とする。
 - ③集計作業にはFD委員があたる。
 - ④授業及び実習に対する学生の意見・要望は自由記述とした。
- (4) 実施時期：講義または実習の後半とし、科目担当教員が行った。
- (5) アンケートの解析：解析ソフト「丸ごと授業評価 for Windows」を用いた。
- (6) アンケートの調査項目：講義については、教員評価に関する質問(9項目)、学生自己評価に関する質問(5項目)及び自由記載欄を設けた。実習に関しては、教員評価に関する質問(10項目)、学生自己評価に関する質問(5項目)及び自由記載欄を設けた。
- (7) アンケート解析結果の表記：学年ごとに前期、後期に分けて、全科目の平均評定値を、グラフと表にして示した。
- (8) 調査結果の取り扱い
 - ①各教員へ結果資料を配布する。
 - ②授業及び実習に対するコメントは、当該教員が確認し、FD委員が総括する。
 - ③各教員は調査結果を授業及び実習に反映させる。
 - ④学生へは、「平成29年度FD活動報告書」として図書館、国試情報センター及び第一薬科大学ホームページにて公開する。

(資料1) 授業アンケート調査項目と実際に使用されたアンケート用紙

<教員評価>

- ①この授業では重要なポイントがきちんと示されましたか。
- ②この授業の難易度（レベル）は適切でしたか。
- ③この授業の進行状況（進み方）は適切でしたか。
- ④この授業は学生に興味がわくように工夫して進められましたか。
- ⑤この授業で学生に理解させるという先生の熱意を感じましたか。
- ⑥先生は学生の理解度を確認しながら授業を進められましたか。
- ⑦先生の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか。
- ⑧黒板の文字やスライドの映像は適切で分かりやすかったですか。
- ⑨先生は私語、居眠り、携帯などを使う学生を注意されましたか。

<学生自己評価>

- ⑩あなたはこの授業に関心を持ち、真剣に取り組みましたか。
- ⑪あなたは予習をしてこの授業に臨みましたか。
- ⑫あなたはこの授業の復習をしましたか。
- ⑬あなたはこの授業全体を理解できましたか。
- ⑭あなたはこの授業全体に満足できましたか。

(資料2) 実習アンケート調査項目と実際に使用されたアンケート用紙


<教員評価>

- ①各実習項目は、分かりやすく実施されましたか。
- ②この実習の難易度（レベル）は適切でしたか。
- ③この実習の進行状況（進み方）は適切でしたか。
- ④各実習項目は興味あるもので、今後役に立つと思いましたか。
- ⑤この実習で学生に理解させるという先生達の熱意を感じましたか。
- ⑥この実習の実施方法は適切な工夫がなされていましたか。
- ⑦先生達の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか。
- ⑧黒板の文字やスライドの映像は適切で分かりやすかったですか。
- ⑨先生達は私語、居眠り、携帯などを使う学生を注意されましたか。
- ⑩実習のための設備や器具は十分に備わっており準備されましたか。

<学生自己評価>

- ⑪あなたはこの実習に関心を持ち、真剣に取り組みましたか。
- ⑫あなたは予習をしてこの実習に臨みましたか。
- ⑬あなたはこの実習終了時に「まとめ」をしましたか。
- ⑭あなたはこの実習全体を理解できましたか。
- ⑮あなたはこの実習全体に満足できましたか。

(資料3) 実際に使用されたマークシート

回答用紙		1. 記入は、必ずHBの鉛筆で、○の中を正確に塗りつぶして下さい。 2. 書き損じた場合には、プラスチック製消しゴムできれいに消して下さい。 3. 用紙を、折り曲げたり汚さないで下さい。					良い例	悪い例	
	(A) (B) (C) (D) (E) (F) (G) (H)								
問1		①	②	③	④	⑤			
問2		①	②	③	④	⑤			
問3		①	②	③	④	⑤			
問4		①	②	③	④	⑤			
問5		①	②	③	④	⑤			
問6		①	②	③	④	⑤			
問7		①	②	③	④	⑤			
問8		①	②	③	④	⑤			
問9		①	②	③	④	⑤			
問10		①	②	③	④	⑤			
問11		①	②	③	④	⑤			
問12		①	②	③	④	⑤			
問13		①	②	③	④	⑤			
問14		①	②	③	④	⑤			
問15		①	②	③	④	⑤			
問16		①	②	③	④	⑤			
問17		①	②	③	④	⑤			
問18		①	②	③	④	⑤			
問19		①	②	③	④	⑤			
問20		①	②	③	④	⑤			
問21		①	②	③	④	⑤			
問22		①	②	③	④	⑤			
問23		①	②	③	④	⑤			
問24		①	②	③	④	⑤			
問25		①	②	③	④	⑤			
問26		①	②	③	④	⑤			
問27		①	②	③	④	⑤			
問28		①	②	③	④	⑤			
問29		①	②	③	④	⑤			
問30		①	②	③	④	⑤			
問31		①	②	③	④	⑤			
問32		①	②	③	④	⑤			
問33		①	②	③	④	⑤			
問34		①	②	③	④	⑤			
問35		①	②	③	④	⑤			
問36		①	②	③	④	⑤			
問37		①	②	③	④	⑤			
問38		①	②	③	④	⑤			
問39		①	②	③	④	⑤			
問40		①	②	③	④	⑤			
問41		①	②	③	④	⑤			
問42		①	②	③	④	⑤			
問43		①	②	③	④	⑤			
問44		①	②	③	④	⑤			
問45		①	②	③	④	⑤			
問46		①	②	③	④	⑤			
問47		①	②	③	④	⑤			
問48		①	②	③	④	⑤			
問49		①	②	③	④	⑤			
問50		①	②	③	④	⑤			

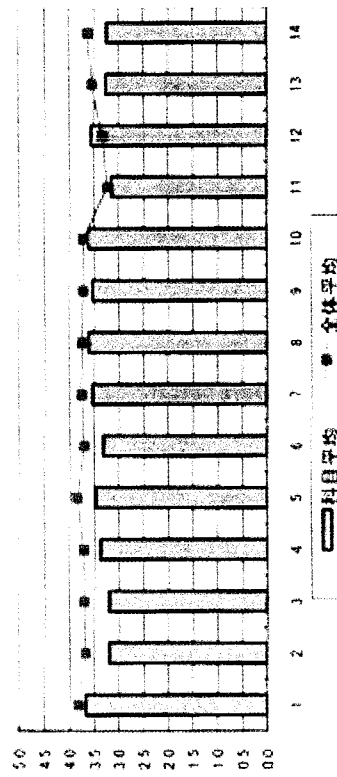
(資料4) 授業・実習アンケート集計結果表 (例)

実施日:
履修者数:
対象者数:

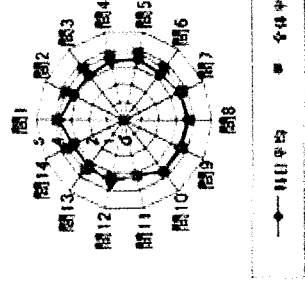
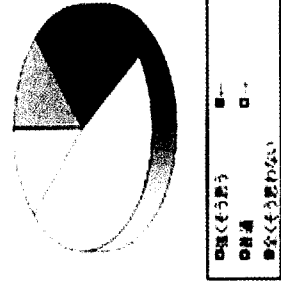
集計結果表(グラフ付き)

後期授業アンケート

科目名	教員氏名	回答率(%)					平均
		5 強くそう思う	4 →	3 普通	2 →	1 全くそう思わない	
1	この授業では重要なポイントがきちんと示されましたか。	19.4	33.3	41.7	5.6	0	3.67
2	この授業の難易度(レベル)は適切でしたか。	11.1	22.2	41.7	25.0	0	3.19
3	この授業の進行状況(進み方)は適切でしたか。	8.3	30.6	33.3	27.8	0	3.19
4	この授業は学生に興味をわくように工夫して進められましたか。	8.6	34.3	42.9	14.3	1	3.37
5	この授業で学生に理解させるといふ先生の熱意を感じましたか。	19.4	13.9	61.1	5.6	0	3.47
6	先生は学生の理解度を確認しながら授業を進められましたか。	11.1	27.8	44.4	13.9	0	3.31
7	先生の話し方は明確で聞き取りやすかったですか。	19.4	25.0	44.4	11.1	0	3.53
8	黒板の文字やスライドの映像は適切で分かりやすかったですか。	16.7	33.3	44.4	5.6	0	3.61
9	先生は私語、居眠り、携帯電話などを使う学生を注意されましたか。	16.7	27.8	47.2	8.3	0	3.53
10	あなたはこの授業に関心をもち、真剣に取り組みましたか。	25.0	16.7	52.8	5.6	0	3.61
11	あなたは予習をしてこの授業に臨みましたか。	2.8	25.0	55.6	16.7	0	3.14
12	あなたはこの授業の復習をしましたか。	11.1	41.7	38.9	8.3	0	3.56
13	あなたはこの授業全体を理解できましたか。	8.3	22.2	55.6	13.9	0	3.25
14	あなたはこの授業全体に満足できましたか。	5.7	22.9	60.0	11.4	1	3.23



割合のグラフ



(資料 5) 平成 29 年度アンケート調査マークシート回収状況

平成 29 年度前期			
学年	履修者数	回答者数	回答率
1 年	2,628	2,239	85.2%
2 年	2,097	1,791	85.4%
3 年	1,938	1,538	79.4%
4 年	2,445	1,681	68.8%
5 年	286	205	71.7%
6 年	697	405	58.1%
総計	10,091	7,859	77.9%

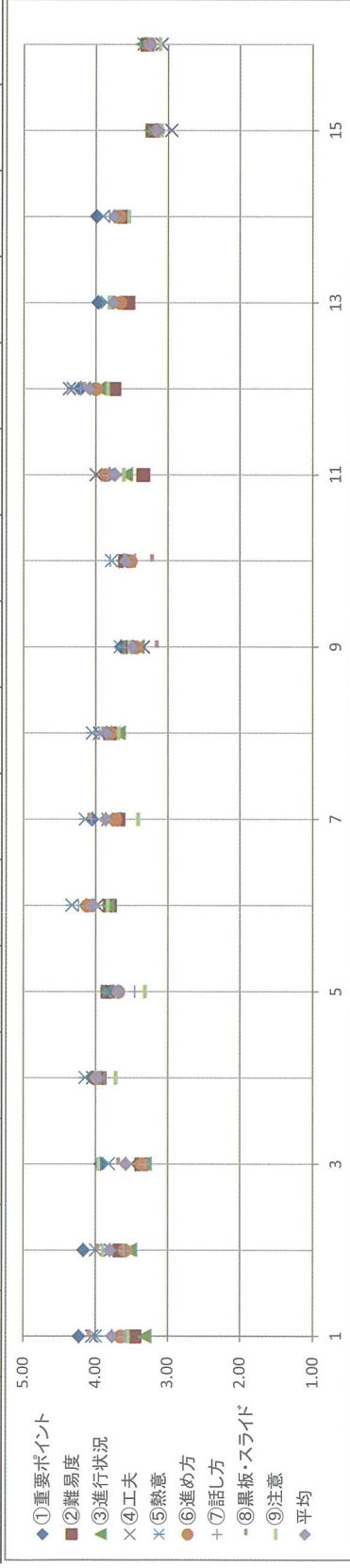
平成 29 年度後期			
学年	履修者数	回答者数	回答率
1 年	2,885	2,270	78.7%
2 年	2,087	1,564	74.9%
3 年	1,945	1,303	67.0%
4 年	1,040	778	74.8%
5 年	—	—	—
6 年	114	41	36.0%
総計	8,071	5,956	73.8%

2. アンケート集計結果

次ページから平成 29 年度 授業および実習評価結果のまとめを掲載する。

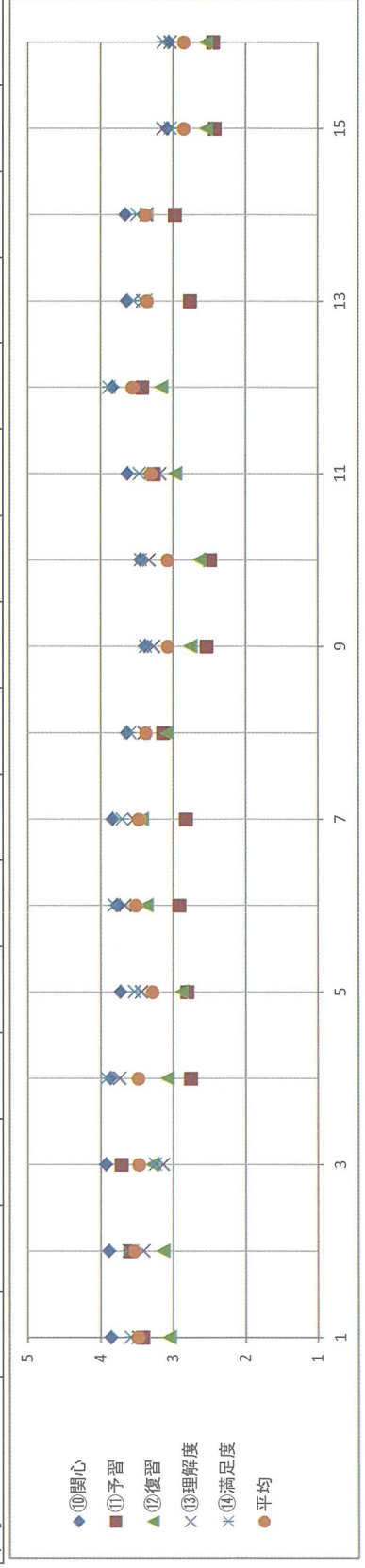
平成29年度 前期 1年生 授業評価(教員評価)①

科目名	薬学基礎英語 I		英会話 I		基礎数学 I		文学 I		福祉学 I		経済学 I		薬用資源学		文章表現論	
	漢1~4	薬1~4	A	B	漢	薬	3,4限	3,4限	3限	4限	3限	4限	A	B	A	B
①重要ポイント	4.23	4.17	4.04	3.76	4.13	4.05	3.78	3.65	3.61	3.81	3.81	4.21	3.97	3.99	3.17	3.31
②難易度	3.45	3.66	3.94	3.83	3.8	3.68	3.8	3.53	3.59	3.34	3.74	3.55	3.61	3.22	3.29	
③進行状況	3.32	3.52	4.02	3.85	3.83	3.75	3.68	3.42	3.54	3.58	3.95	3.74	3.74	3.24	3.36	
④工夫	4.05	3.79	4.04	3.78	3.98	3.83	3.95	3.34	3.58	4	4.37	3.65	3.65	2.95	3.09	
⑤熱意	4.00	4	4.15	3.83	4.33	4.15	4.05	3.66	3.78	3.83	4.32	3.85	3.9	3.21	3.34	
⑥進め方	3.64	3.59	3.98	3.68	4.11	3.73	3.8	3.44	3.51	3.86	4	3.66	3.67	3.14	3.25	
⑦話し方	3.59	3.59	3.87	3.46	4.24	4.06	3.95	3.6	3.8	3.81	4.21	3.77	3.81	3.17	3.22	
⑧黒板・スライド	4.09	3.97	3.98	3.66	4.04	4.09	3.9	3.15	3.22	3.75	4.16	3.74	3.74	3.11	3.24	
⑨注意	3.55	3.9	3.72	3.32	3.83	3.41	3.68	3.53	3.59	3.61	3.83	3.81	3.54	3.09	3.11	
平均	3.77	3.80	3.97	3.69	4.03	3.86	3.84	3.48	3.58	3.73	4.09	3.75	3.74	3.14	3.25	



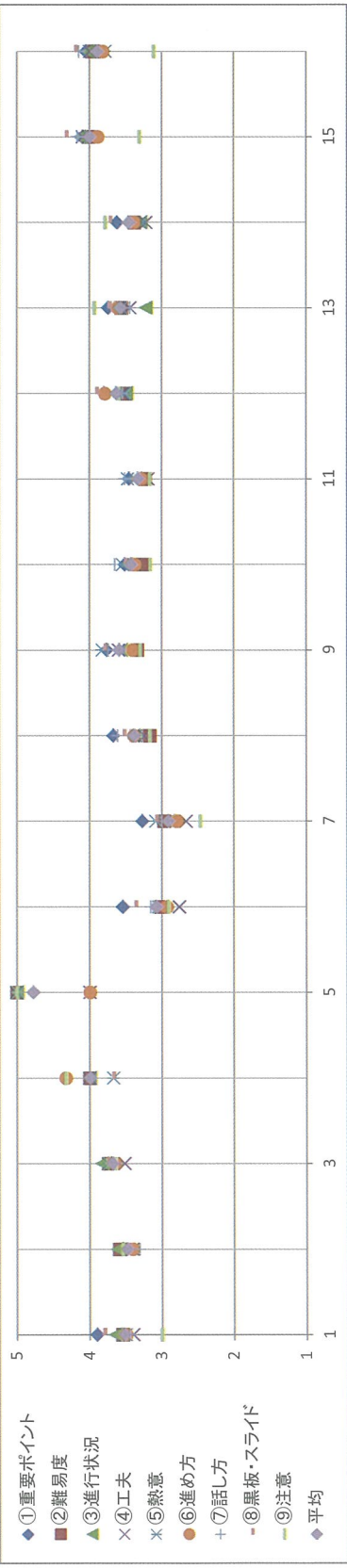
平成29年度 前期 1年生 授業評価(学生自己評価)①

科目名	薬学基礎英語 I		英会話 I		基礎数学 I		文学 I		福祉学 I		経済学 I		薬用資源学		文章表現論	
	漢1~4	薬1~4	A	B	漢	薬	3,4限	3,4限	3限	4限	3限	4限	A	B	A	B
クラス	3.86	3.89	3.87	3.73	3.78	3.84	3.64	3.64	3.39	3.84	3.63	3.84	3.64	3.66	3.08	3.06
⑩関心	3.41	3.59	2.75	2.8	2.91	2.82	3.13	2.48	2.53	3.42	3.26	3.42	2.76	2.97	2.42	2.44
⑪予習	3.05	3.14	3.08	2.88	3.37	3.43	3.08	2.63	2.76	2.63	2.97	3.16	3.38	3.37	2.54	2.54
⑫復習	3.48	3.41	3.74	3.44	3.67	3.55	3.4	3.33	3.27	3.33	3.18	3.47	3.42	3.37	3.14	3.04
⑬理解度	3.59	3.62	3.92	3.54	3.82	3.71	3.6	3.45	3.38	3.45	3.47	3.89	3.55	3.5	3.04	3.14
⑭満足度	3.48	3.53	3.47	3.28	3.51	3.47	3.37	3.07	3.07	3.07	3.30	3.56	3.35	3.37	2.84	2.84
平均																



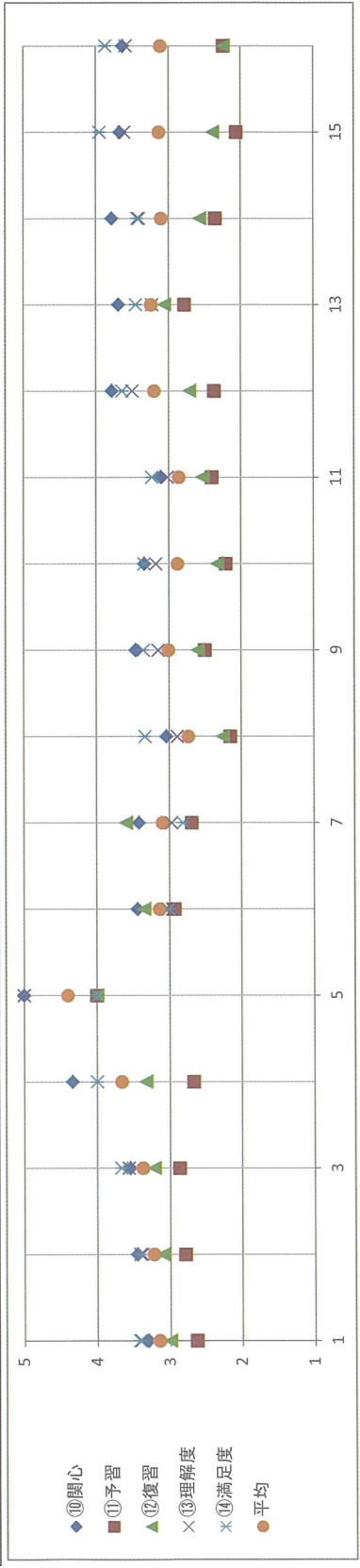
平成29年度 前期 1年生 授業評価(教員評価)②

科目名	薬学基礎英語 I		フランス語		基礎物理学		哲学 I			倫理学 I			情報処理演習 I			心理学	
	漢5~8	葉5~8	A	B	漢	葉	3限	4限	3限	4限	漢	葉1~8	葉9~16	A	B		
クラス	3.9	3.55	4	5	3.54	3.27	3.67	3.76	3.51	3.45	3.8	3.74	3.62	4.1	4.05		
①重要ポイント	3.55	3.59	4	5	3.02	2.97	3.17	3.34	3.28	3.23	3.5	3.56	3.38	4.02	3.94		
②難易度	3.65	3.62	4	5	3	2.91	3.39	3.56	3.49	3.36	3.49	3.22	3.29	4.13	4.03		
③進行状況	3.4	3.41	4	4	2.76	2.67	3.24	3.6	3.37	3.19	3.54	3.44	3.22	4.1	4		
④工夫	3.5	3.48	4	5	3.04	3.08	3.35	3.82	3.54	3.47	3.52	3.57	3.29	4	3.78		
⑤熱意	3.5	3.41	4	4	2.93	2.79	3.39	3.4	3.37	3.28	3.79	3.61	3.38	3.89	3.82		
⑥進め方	3.45	3.31	4	5	3.15	3.01	3.61	3.74	3.65	3.51	3.55	3.44	3.44	4.17	4.15		
⑦話し方	3.8	3.45	4	5	3.36	3.07	3.52	3.78	3.49	3.32	3.9	3.72	3.71	4.32	4.19		
⑧黒板・スライド	3	3.55	4	5	2.91	2.47	3.17	3.3	3.16	3.17	3.6	3.93	3.78	3.31	3.11		
⑨注意	3.53	3.49	4.00	4.78	3.08	2.92	3.39	3.59	3.43	3.33	3.63	3.58	3.46	4.00	3.90		
平均																	



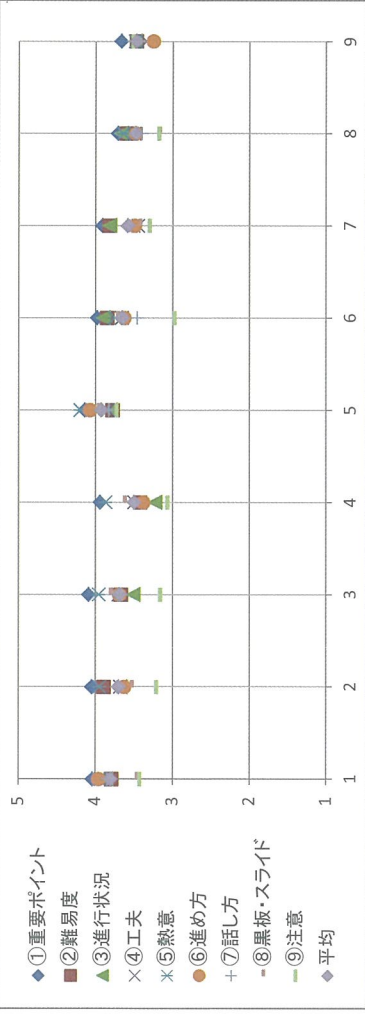
平成29年度 前期 1年生 授業評価(学生自己評価)②

科目名	薬学基礎英語 I		フランス語		基礎物理学		哲学 I			倫理学 I			情報処理演習 I			心理学	
	漢5~8	葉5~8	A	B	漢	葉	3限	4限	3限	4限	漢	葉1~8	葉9~16	A	B		
クラス	3.3	3.45	4.33	5	3.44	3.42	3.04	3.46	3.34	3.11	3.78	3.69	3.78	3.67	3.63		
⑩関心	2.63	2.79	2.67	4	2.93	2.69	2.15	2.5	2.21	2.4	2.37	2.78	2.35	2.06	2.24		
⑪予習	3	3.1	3.22	4	3.35	3.6	2.26	2.6	2.33	2.53	2.71	3.06	2.57	2.39	2.24		
⑫復習	3.4	3.41	4	5	2.96	2.97	2.89	3.15	3.18	3.02	3.5	3.23	3.41	3.61	3.59		
⑬理解度	3.42	3.38	4	4	3.02	2.81	3.33	3.35	3.34	3.23	3.64	3.45	3.43	3.95	3.87		
⑭満足度	3.15	3.23	3.38	4.40	3.14	3.10	2.73	3.01	2.88	2.86	3.20	3.24	3.11	3.14	3.11		
平均																	



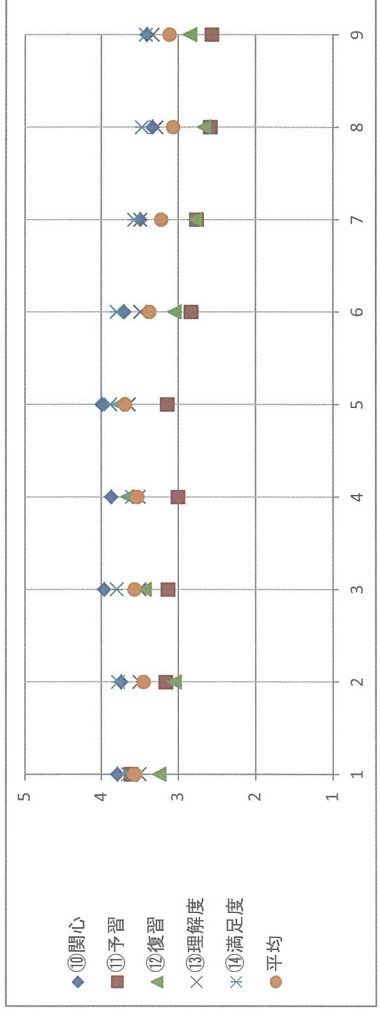
平成29年度 前期 1年生 授業評価(教員評価)③

科目名	中国語 I		基礎化学 I		有機化学 I		本草学		法学 I		薬学への招待 全組
	A	B	漢	薬	全組	漢	漢	3限	4限		
①重要ポイント	4.04	4.05	4.09	3.94	4.14	3.98	3.91	3.71	3.67	3.67	
②難易度	3.79	3.89	3.67	3.42	3.78	3.85	3.62	3.47	3.49	3.49	
③進行状況	3.86	3.68	3.51	3.23	3.81	3.9	3.82	3.67	3.49	3.49	
④工夫	3.93	3.68	3.7	3.5	3.84	3.66	3.45	3.5	3.34	3.34	
⑤執意	3.96	3.95	3.96	3.87	4.2	3.75	3.51	3.64	3.49	3.49	
⑥進め方	3.96	3.63	3.69	3.38	4.07	3.63	3.49	3.48	3.25	3.25	
⑦話し方	3.85	3.72	3.67	3.5	3.83	3.46	3.4	3.52	3.5	3.5	
⑧黒板・スライド	3.46	3.53	3.8	3.62	3.96	3.71	3.42	3.17	3.5	3.5	
⑨注意	3.43	3.21	3.16	3.07	3.73	2.98	3.3	3.18	3.52	3.52	
平均	3.81	3.70	3.69	3.50	3.93	3.66	3.59	3.48	3.47	3.47	



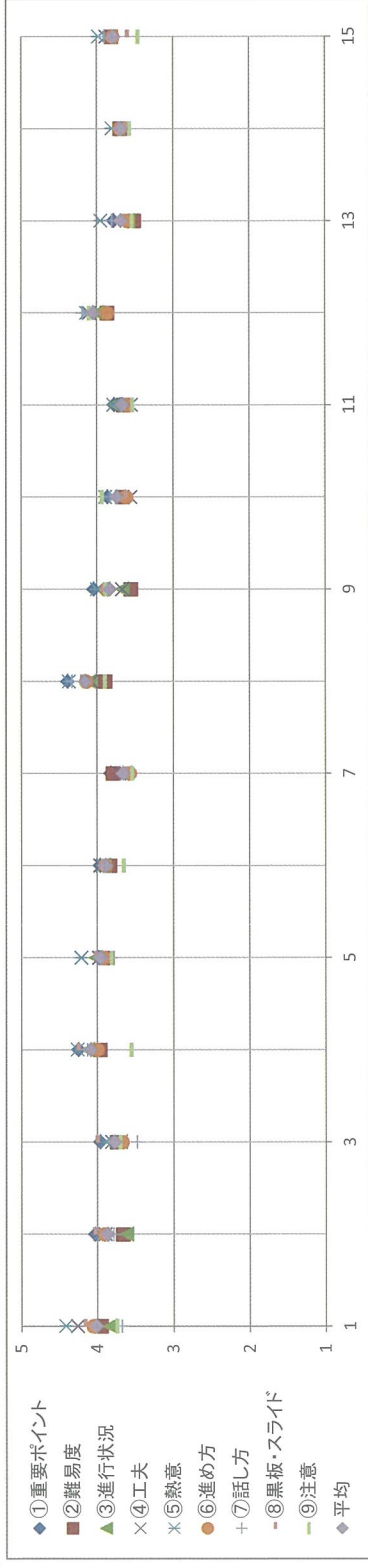
平成29年度 前期 1年生 授業評価(学生自己評価)③

科目名	中国語 I		基礎化学 I		有機化学 I		本草学		法学 I		薬学への招待 全組
	A	B	漢	薬	全組	漢	漢	3限	4限		
⑩関心	3.79	3.74	3.96	3.87	3.99	3.70	3.49	3.33	3.4	3.4	
⑪予習	3.61	3.16	3.13	3	3.14	2.83	2.76	2.58	2.56	2.56	
⑫復習	3.25	3.05	3.44	3.66	3.77	3.05	2.78	2.67	2.85	2.85	
⑬理解度	3.5	3.5	3.5	3.51	3.64	3.49	3.49	3.28	3.33	3.33	
⑭満足度	3.65	3.78	3.8	3.6	3.88	3.80	3.57	3.47	3.42	3.42	
平均	3.56	3.45	3.57	3.53	3.68	3.37	3.22	3.07	3.11	3.11	



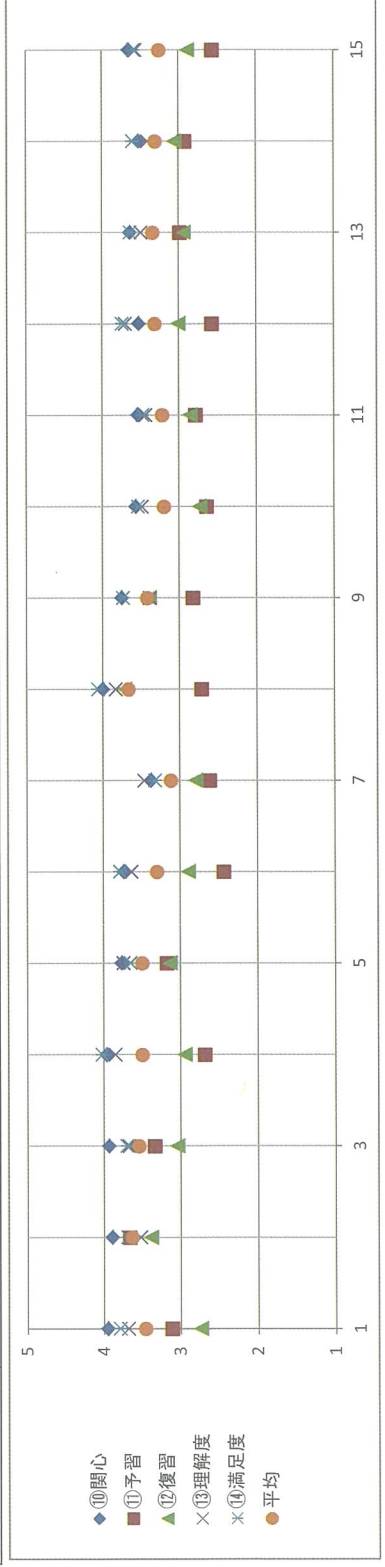
平成29年度 後期 1年生 授業評価(教員評価)①

科目名	薬学基礎英語Ⅱ		英会話Ⅱ		コミュニケーション講座(教員①)		基礎数学Ⅱ		生命・医療倫理学		文学Ⅱ		福祉学Ⅱ	
	漢1~4	薬1~4	A	B	A	B	A	B	A	B	3限	4限	3限	4限
①重要ポイント	4	4.03	3.96	3.98	3.82	4.39	4.04	3.86	3.77	4.05	3.78	3.68	3.79	
②難易度	3.95	3.66	3.83	3.87	3.79	3.89	3.55	3.66	3.65	3.86	3.51	3.69	3.81	
③進行状況	3.84	3.62	3.7	4.02	3.91	3.64	4.1	3.71	3.77	4	3.59	3.72	3.83	
④工夫	4.26	3.9	3.81	3.98	3.96	3.71	4.08	3.56	3.55	4.1	3.71	3.68	3.88	
⑤熱意	4.42	3.97	3.89	4.21	3.93	3.61	4.37	4	3.89	3.78	4.14	3.95	3.8	3.98
⑥進め方	4.05	3.9	3.67	4	3.89	3.57	4.14	3.87	3.61	3.86	3.59	3.69	3.79	
⑦話し方	3.68	3.79	3.48	4.13	3.91	3.61	4.33	3.89	3.82	3.65	4.19	3.8	3.71	3.9
⑧黒板・スライド	4.16	4.03	4	4.25	4.02	3.91	4.2	3.9	3.61	4.1	3.66	3.61	3.6	
⑨注意	3.74	3.86	3.7	3.55	3.81	3.65	3.54	3.9	3.89	3.93	4.1	3.54	3.57	3.46
平均	4.01	3.86	3.77	3.96	3.88	3.66	4.16	3.83	3.74	4.04	3.68	3.68	3.78	



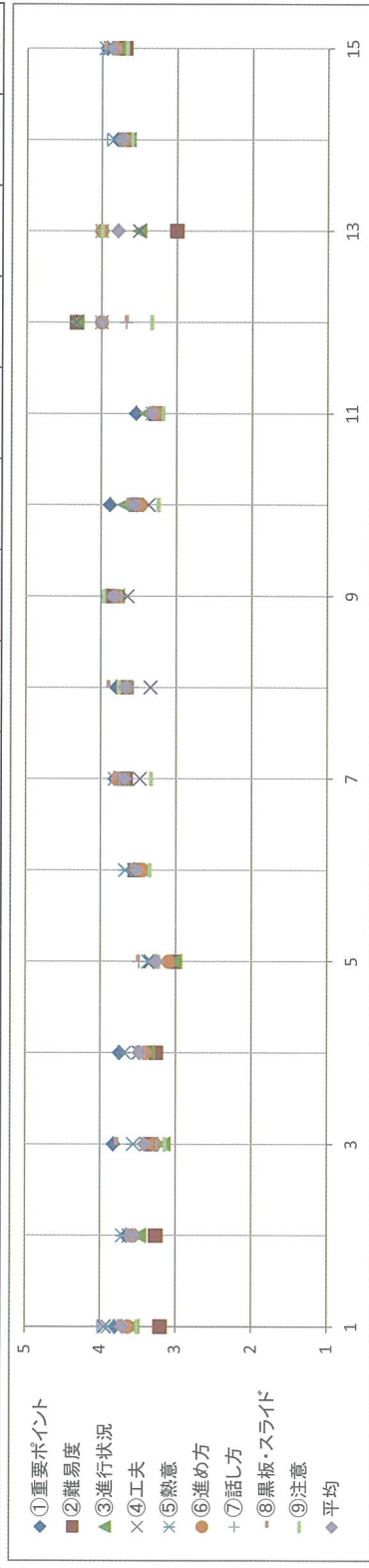
平成29年度 後期 1年生 授業評価(学生自己評価)①

科目名	薬学基礎英語Ⅱ		英会話Ⅱ		コミュニケーション講座(教員①)		基礎数学Ⅱ		生命・医療倫理学		文学Ⅱ		福祉学Ⅱ	
	漢1~4	薬1~4	A	B	A	B	A	B	A	B	3限	4限	3限	4限
⑩関心	3.95	3.89	3.93	3.76	3.73	3.37	4	3.75	3.56	3.53	3.52	3.63	3.52	3.65
⑪予習	3.11	3.66	3.33	3.17	2.43	2.61	2.71	2.82	2.64	2.78	2.57	2.98	2.92	2.56
⑫復習	2.74	3.38	3.04	3.13	2.89	2.79	3.71	3.38	2.73	2.85	3	2.93	3.05	2.88
⑬理解度	3.68	3.52	3.67	3.74	3.63	3.46	3.83	3.38	3.48	3.43	3.7	3.49	3.4	3.56
⑭満足度	3.79	3.69	3.7	4.02	3.78	3.32	4.06	3.73	3.53	3.47	3.74	3.63	3.6	3.58
平均	3.45	3.63	3.53	3.49	3.29	3.11	3.66	3.41	3.19	3.21	3.31	3.33	3.30	3.25



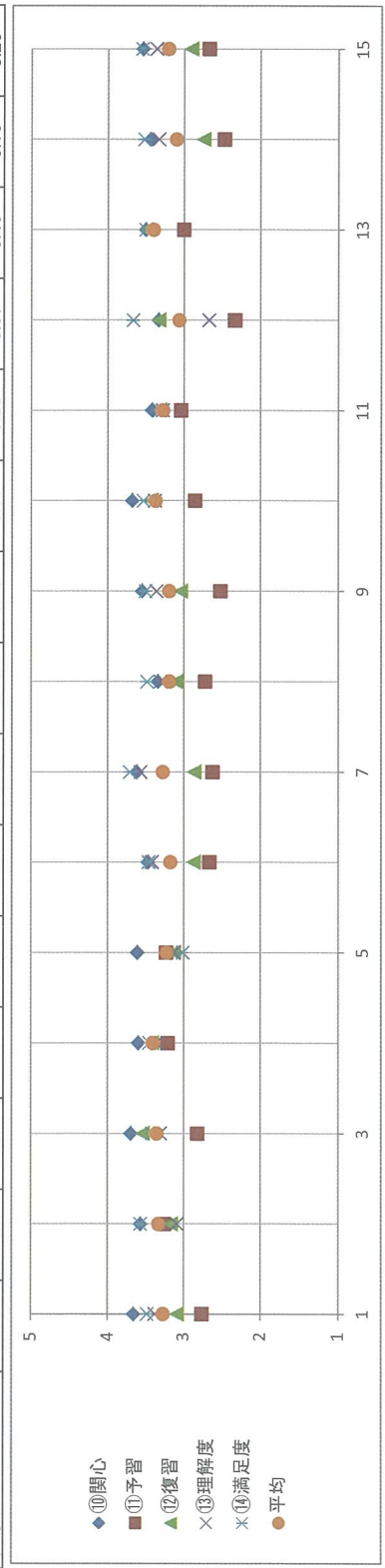
平成29年度 後期 1年生 授業評価(教員評価)②

科目名	経済学Ⅱ		機能形態学Ⅰ		基礎生物学		医療概論		薬学基礎英語Ⅱ			理論化学		フランス語		哲学Ⅱ		
	3限	4限	A	B	全組	全組	漢5~8	漢5~8	漢13~16	漢13~16	A	B	A	B	A	B	3限	4限
クラス	3.8	3.65	3.82	3.74	3.29	3.56	3.81	3.79	3.91	3.88	3.54	4.33	4	3.79	3.93			
①重要ポイント	3.2	3.26	3.32	3.26	3.01	3.54	3.67	3.66	3.87	3.54	3.28	4.33	3	3.67	3.69			
②難易度	3.57	3.48	3.16	3.37	3.01	3.54	3.71	3.69	3.78	3.69	3.4	4.33	3.5	3.65	3.79			
③進行状況	3.94	3.61	3.38	3.49	3.33	3.55	3.48	3.34	3.65	3.37	3.27	4.33	3.5	3.64	3.9			
④工夫	3.89	3.7	3.56	3.68	3.36	3.67	3.81	3.66	3.87	3.52	3.32	4	4	3.84	3.95			
⑤熱意	3.63	3.57	3.28	3.4	3.09	3.44	3.76	3.66	3.78	3.48	3.25	4	4	3.7	3.81			
⑥進め方	4.03	3.65	3.26	3.42	3.49	3.53	3.76	3.59	3.74	3.64	3.32	3.67	4	3.93	3.95			
⑦話し方	3.74	3.61	3.78	3.51	3.5	3.58	3.81	3.9	3.96	3.64	3.35	3.67	4	3.72	3.95			
⑧黒板・スライド	3.51	3.57	3.14	3.47	3.23	3.35	3.33	3.76	3.96	3.24	3.18	3.33	4	3.6	3.67			
⑨注意	3.70	3.57	3.41	3.48	3.26	3.53	3.68	3.67	3.84	3.56	3.32	4.00	3.78	3.73	3.85			
平均																		



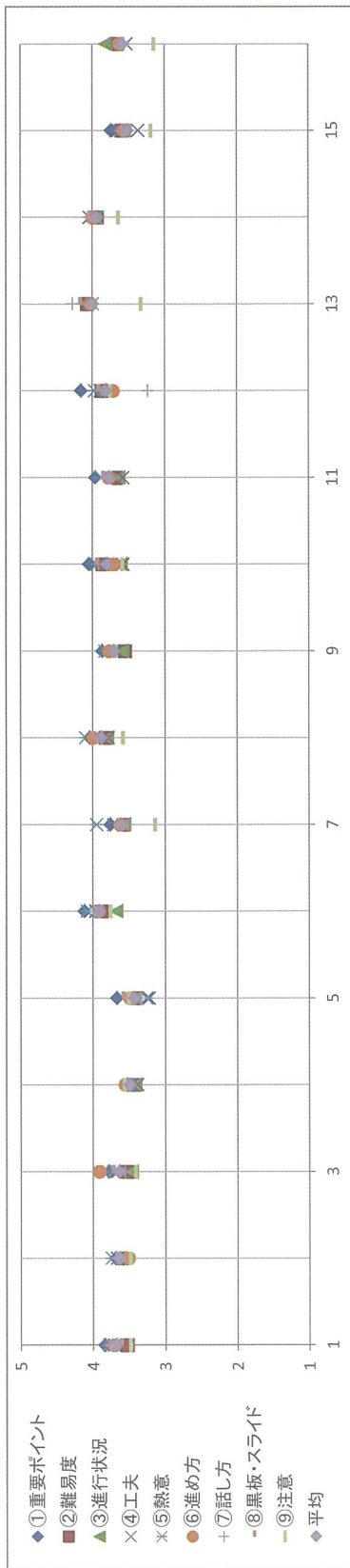
平成29年度 後期 1年生 授業評価(学生自己評価)②

科目名	経済学Ⅱ		機能形態学Ⅰ		基礎生物学		医療概論		薬学基礎英語Ⅱ			理論化学		フランス語		哲学Ⅱ		
	3限	4限	A	B	全組	全組	漢5~8	漢5~8	漢13~16	漢13~16	A	B	A	B	A	B	3限	4限
クラス	3.66	3.57	3.7	3.6	3.61	3.47	3.62	3.34	3.55	3.68	3.42	3.33	3.5	3.44	3.54			
⑩関心	2.76	3.26	2.82	3.21	3.23	2.66	2.62	2.72	2.92	2.85	3.04	2.33	3	2.47	2.67			
⑪予習	3.09	3.17	3.54	3.42	3.13	2.87	2.86	3.1	3.04	3.43	3.32	3.33	3.5	2.74	2.9			
⑫復習	3.38	3.09	3.31	3.36	3.13	3.42	3.57	3.31	3.36	3.38	3.28	2.67	3.5	3.33	3.36			
⑬理解度	3.48	3.57	3.41	3.45	3.01	3.46	3.71	3.48	3.5	3.53	3.32	3.67	3.5	3.52	3.55			
⑭満足度	3.27	3.33	3.36	3.41	3.22	3.18	3.28	3.19	3.19	3.37	3.28	3.07	3.40	3.10	3.20			
平均																		



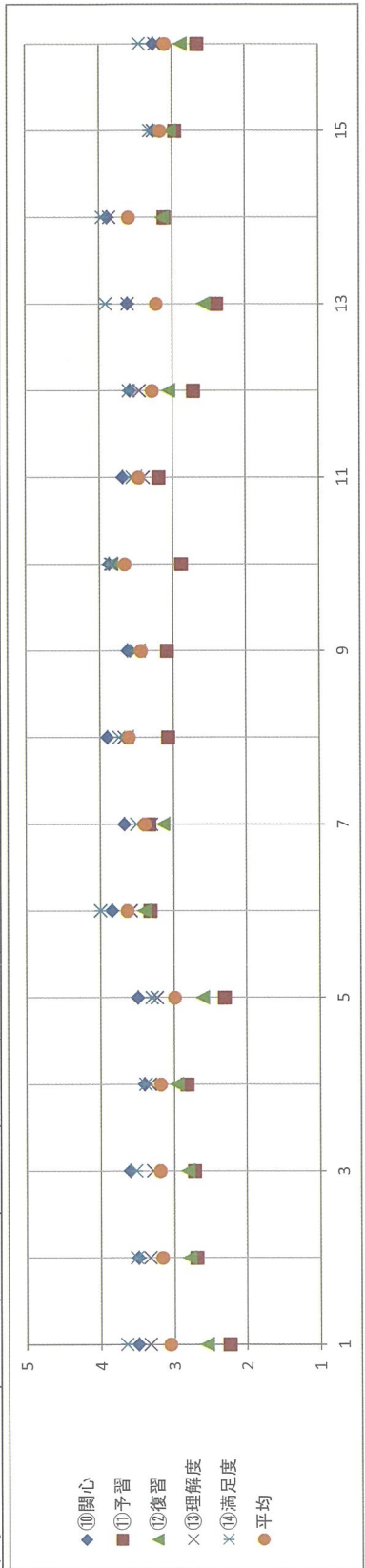
平成29年度 後期 1年生 授業評価(教員評価)③

科目名	倫理学Ⅱ		情報処理演習Ⅱ		中国語Ⅱ		有機化学Ⅱ		基礎化学Ⅱ		漢方・民間薬概論		コミュニケーション論(教員②)		法学Ⅱ	
	3限	4限	漢	英1~8	葉9~16	A	B	A	B	A	B	全組	A	B	3限	4限
クラス	3.84	3.69	3.78	3.53	3.67	4.12	3.76	4.04	3.87	4.05	3.96	4.16	4.02	3.93	3.74	3.71
①重要ポイント	3.53	3.59	3.53	3.43	3.42	3.88	3.57	3.82	3.55	3.86	3.67	3.87	4.07	3.93	3.59	3.65
②難易度	3.76	3.64	3.47	3.42	3.42	3.68	3.57	3.8	3.6	3.61	3.64	3.89	4.09	3.96	3.56	3.82
③進行状況	3.71	3.67	3.66	3.39	3.23	3.96	3.71	3.79	3.68	3.58	3.58	3.89	4.07	4.04	3.37	3.53
④工夫	3.78	3.74	3.72	3.51	3.26	4.08	3.95	4.1	3.83	3.94	3.88	3.97	4	3.93	3.63	3.68
⑤熟意	3.71	3.51	3.91	3.55	3.49	3.92	3.62	3.99	3.77	3.71	3.77	3.71	4.02	4	3.56	3.62
⑥進め方	3.75	3.67	3.56	3.33	3.33	3.96	3.52	3.86	3.7	3.92	3.78	3.24	4.28	4.04	3.59	3.56
⑦話し方	3.61	3.67	3.72	3.55	3.58	3.88	3.65	4	3.7	3.94	3.85	3.92	4.17	4.04	3.48	3.59
⑧黒板・スライド	3.49	3.49	3.41	3.57	3.51	3.76	3.14	3.58	3.68	3.59	3.76	3.76	3.33	3.64	3.19	3.15
⑨注意	3.69	3.63	3.64	3.49	3.43	3.92	3.61	3.89	3.71	3.80	3.77	3.82	4.01	3.95	3.52	3.59
平均																



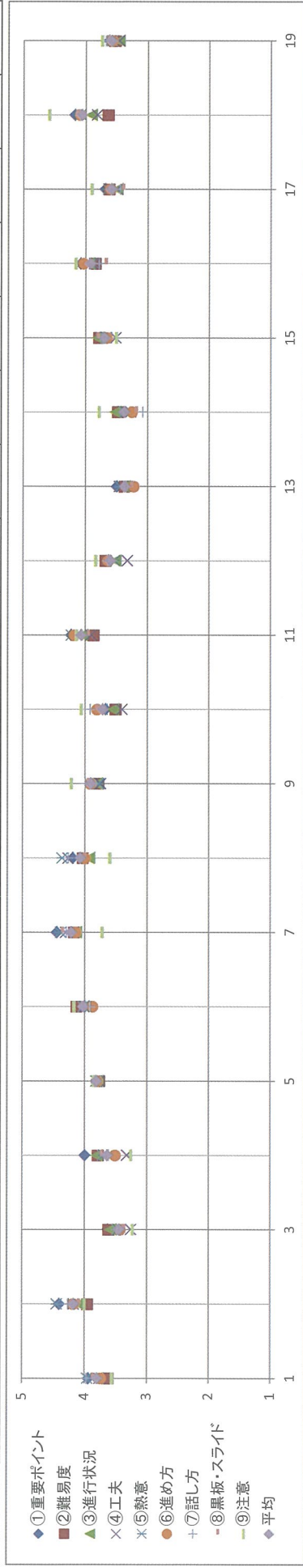
平成29年度 後期 1年生 授業評価(学生自己評価)③

科目名	倫理学Ⅱ		情報処理演習Ⅱ		中国語Ⅱ		有機化学Ⅱ		基礎化学Ⅱ		漢方・民間薬概論		コミュニケーション論(教員②)		法学Ⅱ	
	3限	4限	漢	葉1~8	葉9~16	A	B	A	B	A	B	全組	A	B	3限	4限
クラス	3.49	3.49	3.6	3.4	3.49	3.84	3.67	3.9	3.62	3.87	3.68	3.58	3.61	3.89	3.26	3.26
⑩関心	2.24	2.69	2.72	2.82	2.3	3.32	3.33	3.07	3.08	2.88	3.19	2.71	2.39	3.11	2.96	2.65
⑪予習	2.55	2.79	2.81	2.96	2.6	3.4	3.14	3.63	3.47	3.84	3.51	3.05	2.57	3.14	3.04	2.88
⑫復習	3.33	3.33	3.29	3.33	3.23	3.58	3.3	3.67	3.5	3.83	3.4	3.45	3.61	3.86	3.26	3.24
⑬理解度	3.65	3.51	3.52	3.39	3.3	4	3.5	3.74	3.51	3.85	3.55	3.6	3.91	3.96	3.31	3.45
⑭満足度	3.05	3.16	3.19	3.18	2.98	3.63	3.39	3.60	3.44	3.65	3.47	3.28	3.22	3.59	3.17	3.10
平均																



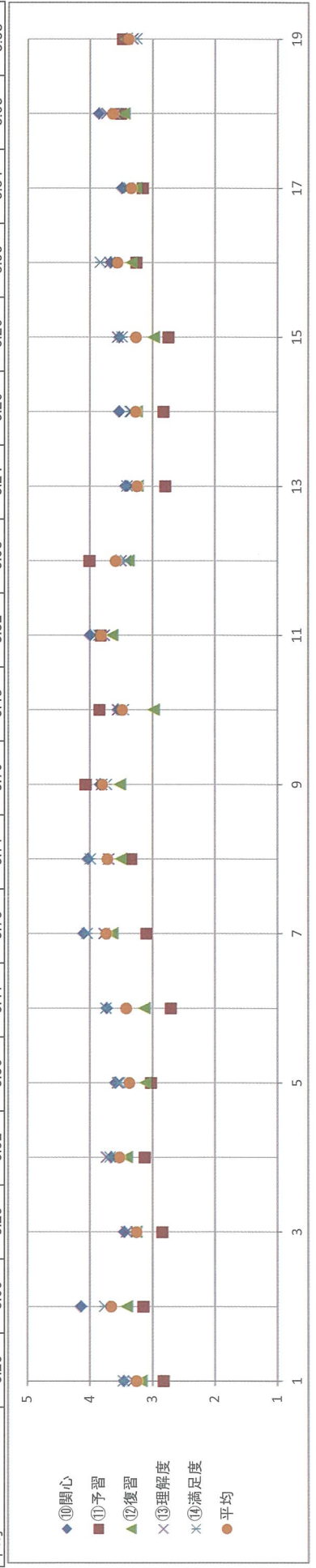
平成29年度 前期 2年生 授業評価(教員評価)①

科目名	基礎統計学		放射化学		医療コミュニケーション論		薬理学 I		薬学英語		微生物学 I		臨床心理学		薬学英語				
	A	B	A	B	A	B	A	B	A12	A34	B12	B34	A	B	A12	A34	B12	B34	
クラス																			
①重要ポイント	3.94	4.41	3.63	4	3.82	4	4.45	4.2	3.91	3.67	4.23	3.63	3.5	3.48	4.08	3.69	4.18	3.63	
②難易度	3.62	3.95	3.61	3.78	3.76	4.13	4.17	4.03	3.78	3.51	3.86	3.62	3.37	3.48	3.84	3.62	3.64	3.53	
③進行状況	3.78	4.09	3.58	3.8	3.79	4.02	4.14	3.93	3.81	3.55	4.05	3.52	3.37	3.52	3.95	3.5	3.91	3.47	
④工夫	3.76	4.18	3.26	3.33	3.77	4	4.31	4.27	3.75	3.41	3.91	3.33	3.46	3.52	3.86	3.5	3.82	3.47	
⑤熱量	3.96	4.45	3.47	3.7	3.82	4.02	4.39	4.37	3.78	3.73	4.23	3.54	3.44	3.37	3.92	3.64	4.09	3.58	
⑥進め方	3.74	4.18	3.43	3.51	3.8	3.87	4.15	4	3.91	3.8	4.18	3.63	3.22	3.25	4.03	3.6	4.09	3.58	
⑦話し方	3.97	4.27	3.48	3.63	3.85	3.91	4.3	4.27	4	3.92	4.05	3.63	3.34	3.08	3.78	3.45	4.09	3.68	
⑧黒板・スライド	3.87	4.09	3.37	3.73	3.82	4.04	4.36	4	3.94	3.8	3.95	3.63	3.25	3.18	3.67	3.4	4.14	3.63	
⑨注意	3.56	4	3.23	3.26	3.86	4.17	3.72	3.6	4.22	4.06	4.14	3.83	3.37	3.78	4.16	3.9	4.59	3.74	
平均	3.80	4.18	3.45	3.64	3.81	4.02	4.22	4.07	3.90	3.72	4.07	3.60	3.37	3.38	3.92	3.59	4.06	3.59	



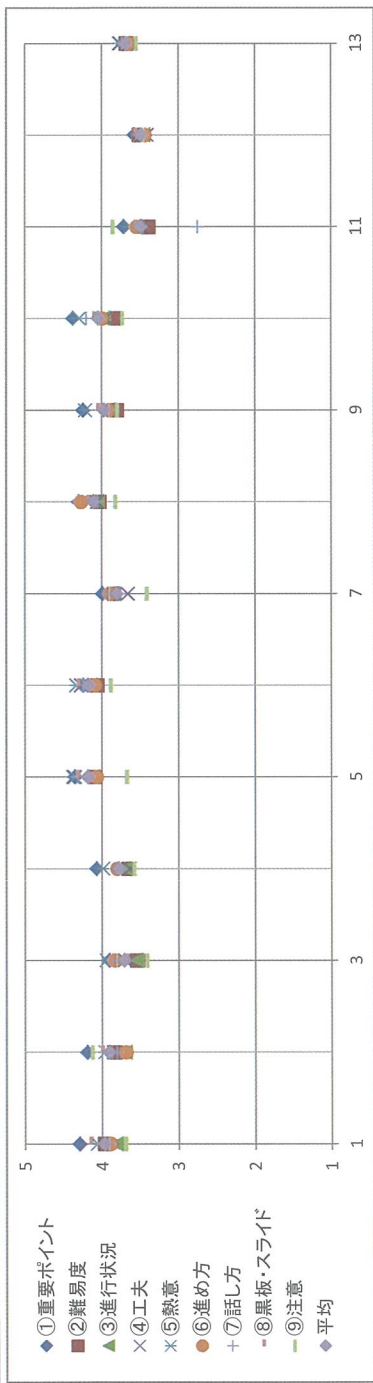
平成29年度 前期 2年生 授業評価(学生自己評価)①

科目名	基礎統計学		放射化学		医療コミュニケーション論		薬理学 I		薬学英語		微生物学 I		臨床心理学		薬学英語				
	A	B	A	B	A	B	A	B	A12	A34	B12	B34	A	B	A12	A34	B12	B34	
クラス																			
⑩関心	3.46	4.14	3.45	3.66	3.59	3.73	4.1	4.03	3.84	3.55	4	3.58	3.43	3.53	3.67	3.49	3.86	3.42	
⑪予習	2.82	3.14	2.84	3.12	3.02	2.7	3.09	3.33	4.06	3.84	3.82	4	2.79	2.82	3.25	3.15	3.5	3.47	
⑫復習	3.18	3.41	3.26	3.41	3.11	3.13	3.64	3.5	3.52	2.98	3.64	3.38	3.24	3.25	3.33	3.26	3.45	3.42	
⑬理解度	3.31	3.77	3.41	3.73	3.55	3.75	3.77	3.7	3.81	3.55	3.77	3.5	3.32	3.34	3.68	3.4	3.73	3.32	
⑭満足度	3.47	3.77	3.27	3.68	3.53	3.75	4.05	4	3.74	3.47	3.66	3.43	3.41	3.36	3.84	3.38	3.59	3.26	
平均	3.25	3.65	3.25	3.52	3.36	3.41	3.73	3.71	3.79	3.48	3.82	3.58	3.24	3.26	3.55	3.34	3.63	3.38	



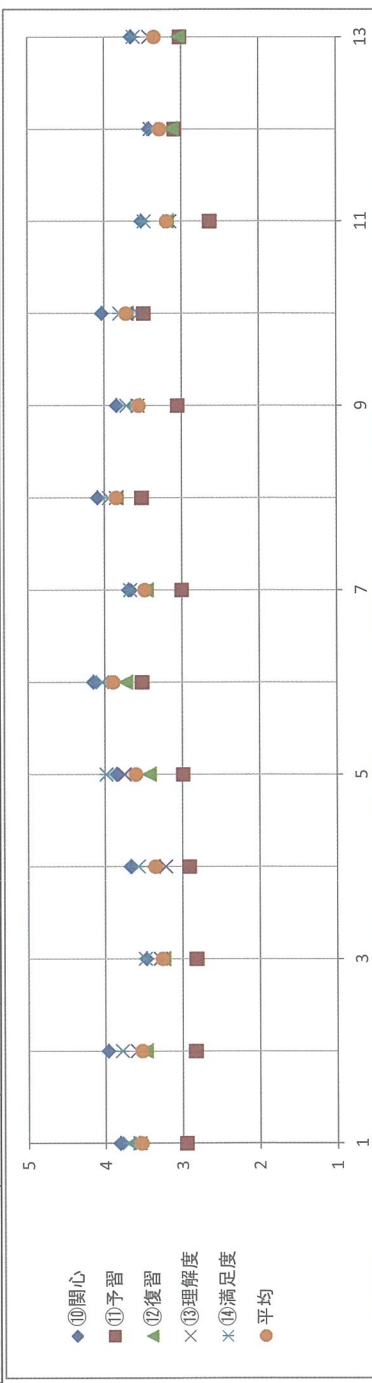
平成29年度 前期 2年生 授業評価(教員評価)②

科目名	機能形態学Ⅱ		物理化学Ⅰ		生命科学Ⅰ		分析化学Ⅰ		有機化学Ⅲ		漢方薬理学		プレゼンテーション論	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	全組	A	B	
クラス	4.29	4.19	3.9	4.07	4.35	4.24	3.99	4.3	4.24	4.37	3.71	3.57	3.72	
①重要ポイント	3.97	3.83	3.54	3.65	4.1	4.06	3.84	4.03	3.8	3.8	3.39	3.51	3.68	
②難易度	3.82	3.7	3.56	3.71	4.12	4.15	3.86	4.06	3.9	3.98	3.56	3.46	3.7	
③進行状況	3.95	3.85	3.7	3.64	4.37	4.27	3.66	4.06	3.9	3.95	3.46	3.41	3.77	
④工夫	4.06	3.96	3.94	3.98	4.35	4.33	3.83	4.18	4.21	4.29	3.64	3.51	3.75	
⑤熱意	3.89	3.69	3.83	3.8	4.07	4.09	3.89	4.27	3.9	4	3.54	3.44	3.65	
⑥進め方	3.92	3.81	3.82	3.78	4.31	4.24	3.91	4.06	3.92	4.2	2.75	3.5	3.74	
⑦話し方	4.15	4	3.67	3.8	4.31	4.3	3.81	4.18	4.05	4.1	3.56	3.56	3.68	
⑧黒板・スライド	3.69	4.13	3.41	3.58	3.67	3.88	3.41	3.82	3.8	3.73	3.85	3.47	3.55	
⑨注意	3.97	3.91	3.71	3.78	4.18	4.17	3.80	4.11	3.97	4.05	3.50	3.49	3.69	
平均														



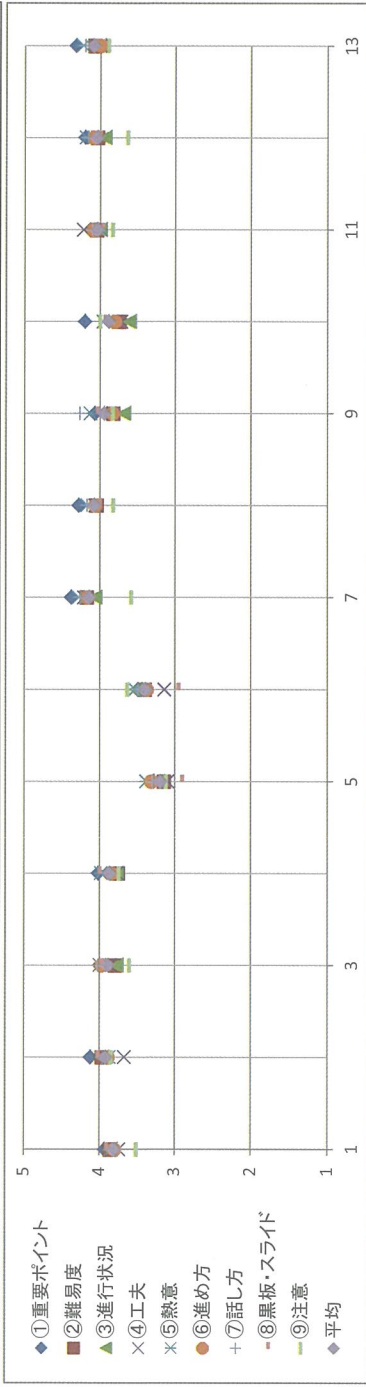
平成29年度 前期 2年生 授業評価(学生自己評価)②

科目名	機能形態学Ⅱ		物理化学Ⅰ		生命科学Ⅰ		分析化学Ⅰ		有機化学Ⅲ		漢方薬理学		プレゼンテーション論	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	全組	A	B	
クラス	3.81	3.96	3.47	3.67	3.85	4.15	3.69	4.09	3.84	4.03	3.52	3.42	3.65	
⑩関心	2.95	2.83	2.82	2.91	2.99	3.52	3	3.52	3.05	3.49	2.63	3.09	3.02	
⑪予習	3.65	3.48	3.25	3.38	3.43	3.73	3.46	3.85	3.62	3.71	3.19	3.13	3.04	
⑫復習	3.56	3.59	3.29	3.22	3.75	4.03	3.58	3.85	3.57	3.56	3.15	3.4	3.42	
⑬理解度	3.7	3.78	3.48	3.57	3.98	4.03	3.67	3.94	3.71	3.8	3.48	3.36	3.62	
⑭満足度	3.53	3.53	3.26	3.35	3.60	3.89	3.48	3.85	3.56	3.72	3.19	3.28	3.35	
平均														



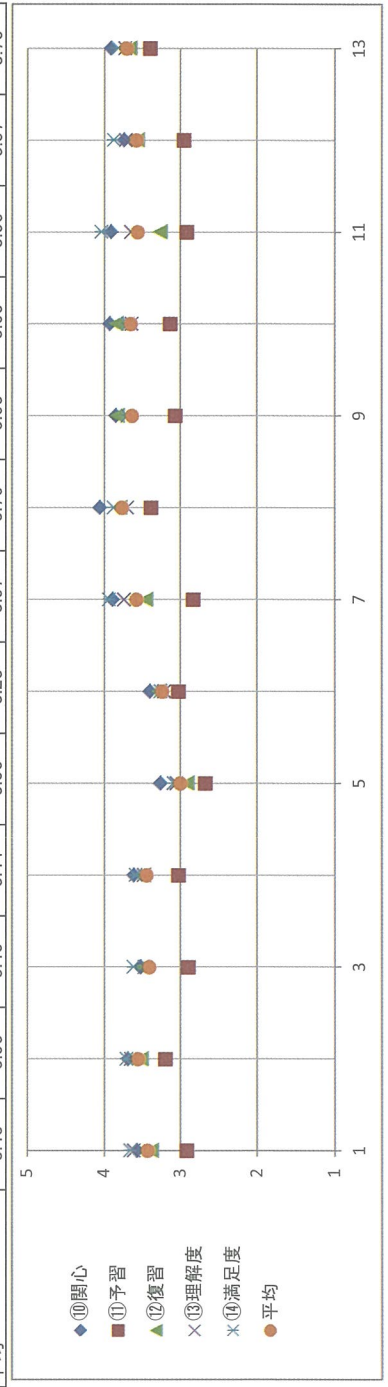
平成29年度 後期 2年生 授業評価(教員評価)①

科目名	無機化学		分析化学Ⅱ		医療統計学		薬理学Ⅱ		微生物学Ⅱ		薬方薬効免疫学		生薬学	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	全組	A	B	
クラス	3.93	4.12	4	4.02	3.28	3.49	4.38	4.28	4.07	4.2	4.04	4.2	4.32	
①重要ポイント	3.85	3.96	3.79	3.75	3.14	3.4	4.17	4.04	3.82	3.74	4.04	4.03	4.07	
②難易度	3.84	3.96	3.77	3.72	3.22	3.52	4.06	3.68	3.61	4	3.94	4.02	4.02	
③進行状況	3.74	3.67	3.87	3.77	3.1	3.14	4.21	4.06	3.82	3.72	4.22	4.09	4	
④工夫	3.84	3.87	4	3.98	3.38	3.53	4.28	4.17	4.13	3.96	4	4.19	4.23	
⑤熱意	3.79	3.88	3.97	3.84	3.31	3.37	4.17	4.06	3.83	3.8	4.09	4.08	4	
⑥進め方	3.78	3.92	4.02	3.89	3.29	3.49	4.25	4.17	4.27	4	4.09	4.16	4.2	
⑦話し方	3.9	4.02	3.95	4	2.9	2.95	4.14	4	4.03	3.93	3.96	4	4.05	
⑧黒板・スライド	3.51	3.84	3.6	3.74	3.12	3.63	3.58	3.82	3.83	4	3.83	3.63	3.89	
⑨注意	3.80	3.92	3.89	3.86	3.19	3.39	4.14	4.08	3.94	3.88	4.03	4.04	4.09	
平均														



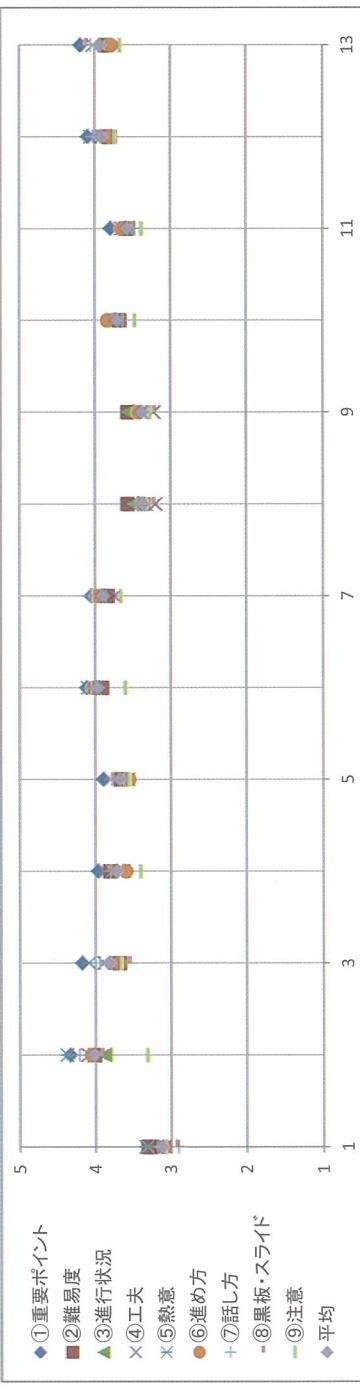
平成29年度 後期 2年生 授業評価(学生自己評価)①

科目名	無機化学		分析化学Ⅱ		医療統計学		薬理学Ⅱ		微生物学Ⅱ		薬方薬効免疫学		生薬学	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	全組	A	B	
クラス	3.57	3.69	3.52	3.61	3.26	3.4	3.89	4.06	3.85	3.93	3.91	3.74	3.91	
⑩関心	2.91	3.19	2.89	3.02	2.67	3.02	2.83	3.38	3.06	3.13	2.91	2.95	3.39	
⑪予習	3.38	3.51	3.5	3.48	2.91	3.28	3.45	3.79	3.83	3.84	3.26	3.56	3.66	
⑫復習	3.61	3.65	3.47	3.48	3.05	3.21	3.74	3.7	3.7	3.64	3.65	3.72	3.73	
⑬理解度	3.66	3.71	3.62	3.59	3.09	3.26	3.94	3.88	3.7	3.69	4.04	3.88	3.82	
⑭満足度	3.43	3.55	3.40	3.44	3.00	3.23	3.57	3.76	3.63	3.65	3.55	3.57	3.70	
平均														



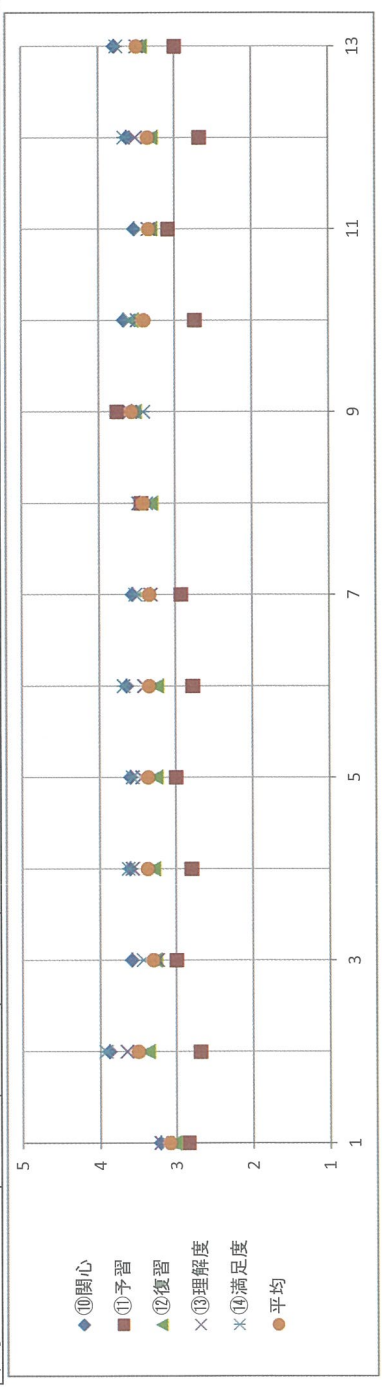
平成29年度 後期 2年生 授業評価(教員評価)②

科目名	介護学概論		有機化学Ⅳ		病態薬物治療学Ⅰ		物理化学Ⅱ		有機化学演習		環境衛生学Ⅰ		生命科学Ⅱ	
	全組	平均	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
クラス	3.19	4.33	4.17	3.96	3.89	4.11	4.05	4.11	3.48	3.74	3.79	4.09	4.19	
①重要ポイント	3.31	4.02	3.69	3.81	3.67	3.92	3.84	3.57	3.57	3.68	3.59	3.81	3.86	
②難易度	3.15	3.88	3.75	3.72	3.7	4.02	3.95	3.5	3.57	3.72	3.56	3.86	3.91	
③進行状況	3.09	4.1	3.89	3.64	3.63	3.98	3.75	3.2	3.22	3.73	3.65	3.91	3.86	
④工夫	3.33	4.37	4.08	3.79	3.56	4.09	3.95	3.32	3.37	3.79	3.59	4.05	4.02	
⑤熟意	3.1	4.06	3.69	3.6	3.56	4.03	3.98	3.43	3.43	3.84	3.65	3.81	3.79	
⑥進め方	2.9	4.21	3.94	3.81	3.78	4	3.91	3.23	3.22	3.77	3.5	3.97	4.12	
⑦話し方	2.93	3.92	3.56	3.81	3.78	4	3.91	3.23	3.22	3.77	3.5	3.97	4.12	
⑧黒板・スライド	3.09	3.31	3.67	3.4	3.56	3.6	3.66	3.32	3.27	3.47	3.38	3.75	3.67	
⑨注意	3.12	4.02	3.83	3.73	3.68	3.98	3.90	3.38	3.38	3.71	3.58	3.92	3.94	
平均														



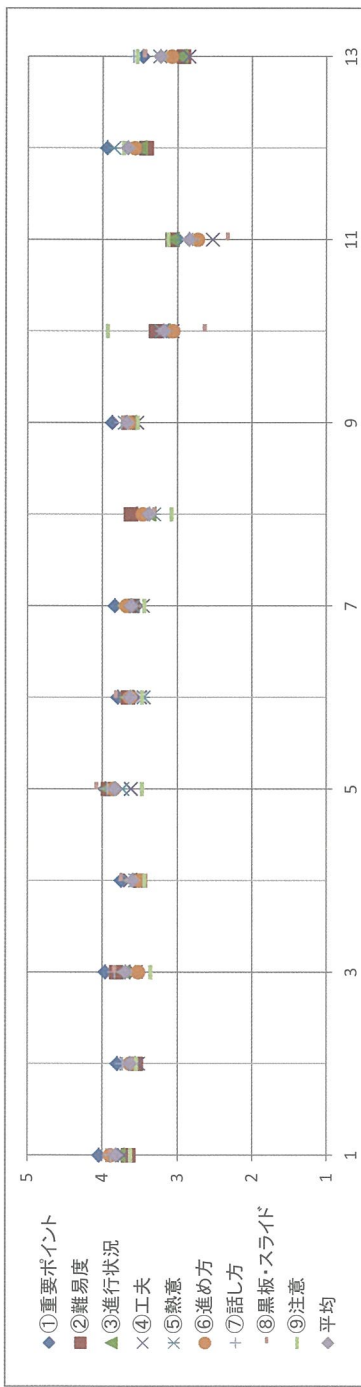
平成29年度 後期 2年生 授業評価(学生自己評価)②

科目名	介護学概論		有機化学Ⅳ		病態薬物治療学Ⅰ		物理化学Ⅱ		有機化学演習		環境衛生学Ⅰ		生命科学Ⅱ	
	全組	平均	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
クラス	3.21	3.88	3.58	3.6	3.59	3.64	3.56	3.46	3.56	3.67	3.53	3.63	3.79	
⑩関心	2.85	2.69	3	2.8	3	2.78	2.93	3.45	3.76	2.74	3.09	2.68	3	
⑪予習	3.03	3.38	3.28	3.3	3.26	3.25	3.41	3.32	3.53	3.56	3.32	3.31	3.45	
⑫復習	3.21	3.65	3.25	3.57	3.44	3.41	3.33	3.48	3.59	3.49	3.35	3.51	3.5	
⑬理解度	3.13	3.92	3.43	3.62	3.56	3.68	3.52	3.38	3.41	3.6	3.44	3.66	3.76	
⑭満足度	3.09	3.50	3.31	3.38	3.37	3.35	3.35	3.42	3.57	3.41	3.35	3.36	3.50	
平均														



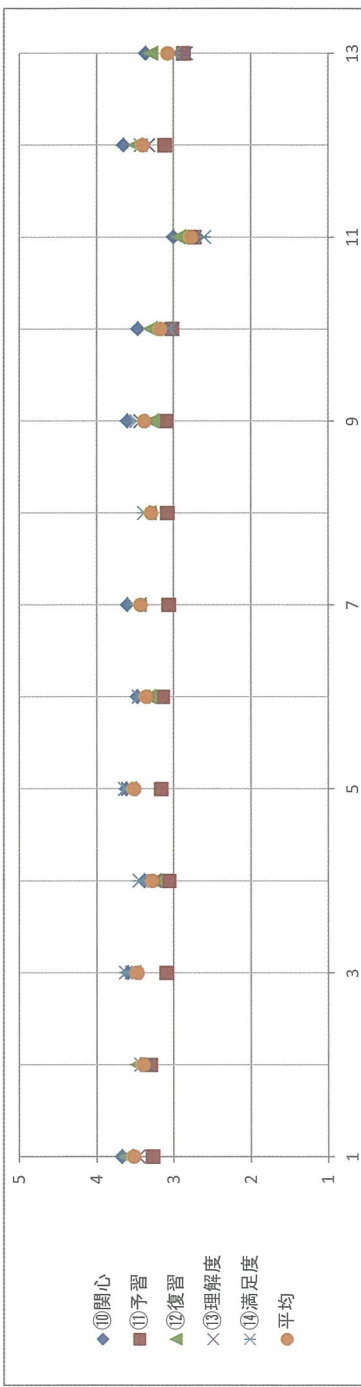
平成29年度 前期 3年生 授業評価(教員評価)①

科目名 クラス	物理化学Ⅲ		病態薬物治療Ⅱ		病態薬物治療Ⅲ		分析化学Ⅲ		物理系演習		食品衛生学Ⅰ		生命科学Ⅲ	
	A	B	A	B	A	B	A	B	全組	A	B	A	B	
①重要ポイント	4.04	3.8	3.96	3.75	3.96	3.79	3.83	3.54	3.87	3.12	3	3.94	3.46	
②難易度	3.65	3.55	3.81	3.5	3.92	3.66	3.6	3.62	3.66	3.29	3.07	3.42	2.92	
③進行状況	3.79	3.65	3.72	3.63	3.94	3.68	3.7	3.38	3.64	3.19	3.07	3.51	2.97	
④工夫	3.71	3.52	3.55	3.63	3.62	3.5	3.46	3.31	3.54	3.07	2.53	3.58	2.85	
⑤熱意	3.86	3.67	3.64	3.56	3.73	3.45	3.59	3.31	3.7	3.22	2.93	3.85	3.24	
⑥進め方	3.89	3.63	3.52	3.5	3.85	3.63	3.68	3.46	3.64	3.06	2.73	3.57	3.08	
⑦話し方	3.89	3.73	3.84	3.63	3.94	3.65	3.62	3.38	3.75	3.16	2.8	3.68	3.59	
⑧黒板・スライド	3.89	3.6	3.84	3.75	4.08	3.82	3.61	3.31	3.73	2.64	2.33	3.72	3.44	
⑨注意	3.63	3.55	3.36	3.44	3.47	3.47	3.44	3.08	3.53	3.93	3.13	3.72	3.54	
平均	3.82	3.63	3.69	3.60	3.83	3.63	3.61	3.38	3.67	3.19	2.84	3.67	3.23	



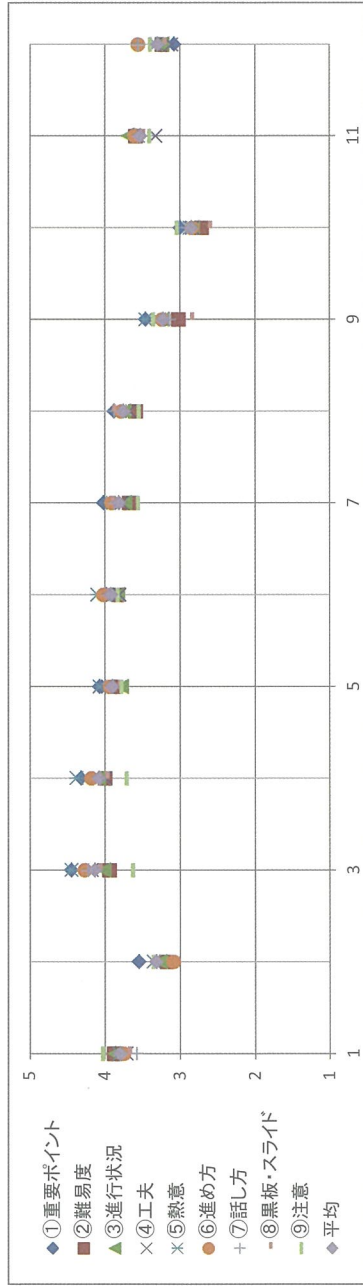
平成29年度 前期 3年生 授業評価(学生自己評価)①

科目名 クラス	物理化学Ⅲ		病態薬物治療Ⅱ		病態薬物治療Ⅲ		分析化学Ⅲ		物理系演習		食品衛生学Ⅰ		生命科学Ⅲ	
	A	B	A	B	A	B	A	B	全組	A	B	A	B	
⑩関心	3.67	3.43	3.59	3.38	3.61	3.47	3.6	3.31	3.6	3.46	3	3.65	3.36	
⑪予習	3.27	3.3	3.09	3.06	3.16	3.14	3.06	3.08	3.1	3.02	2.73	3.11	2.87	
⑫復習	3.61	3.47	3.51	3.25	3.57	3.32	3.44	3.31	3.28	3.3	2.93	3.49	3.29	
⑬理解度	3.46	3.35	3.54	3.25	3.59	3.39	3.52	3.38	3.43	3.01	2.6	3.33	2.84	
⑭満足度	3.58	3.42	3.62	3.44	3.63	3.45	3.52	3.38	3.48	3.07	2.6	3.42	3	
平均	3.52	3.39	3.47	3.28	3.51	3.35	3.43	3.29	3.38	3.17	2.77	3.40	3.07	



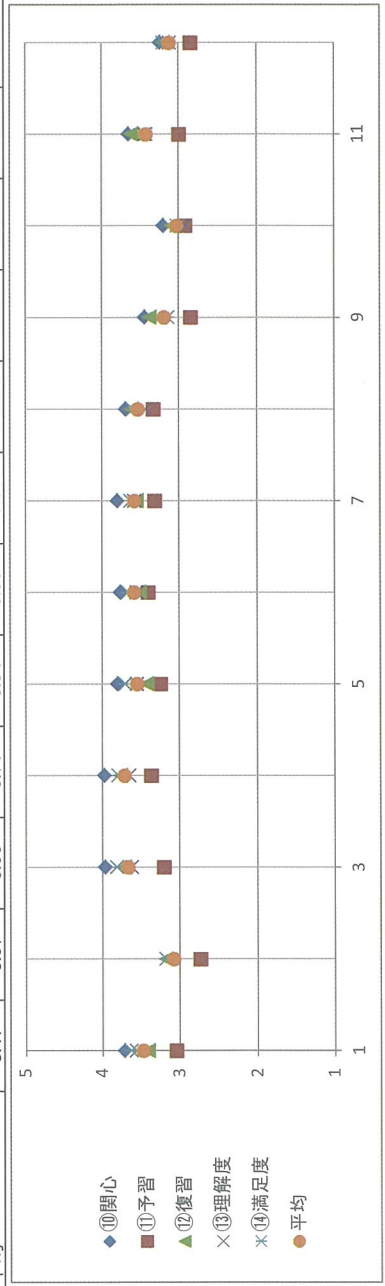
平成29年度 前期 3年生 授業評価(教員評価)②

科目名	免疫学		有機化学V		製剤学I		物理薬理学		環境衛生学II		薬理学III	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
クラス	3.86	3.55	4.45	4.32	4.07	3.98	4.02	3.88	3.46	3	3.62	3.08
①重要ポイント	3.88	3.18	3.94	4	3.87	3.83	3.67	3.59	3.02	2.71	3.59	3.24
②難易度	3.87	3.27	4.02	4.09	3.78	3.83	3.74	3.75	3.24	2.84	3.69	3.24
③進行状況	3.72	3.36	4.18	4	3.96	3.81	3.78	3.67	3.28	2.84	3.33	3.12
④工夫	3.81	3.36	4.45	4.38	4.07	4.1	3.89	3.8	3.46	2.87	3.56	3.32
⑤熱意	3.75	3.09	4.27	4.18	3.93	4.02	3.91	3.78	3.24	2.84	3.6	3.56
⑥進め方	3.58	3.36	4.22	4.06	3.89	3.95	3.87	3.88	3.14	2.91	3.54	3.56
⑦話し方	3.67	3.36	4.06	3.97	3.8	3.93	3.89	3.88	2.84	2.6	3.49	3.2
⑧黒板・スライド	4.03	3.36	3.63	3.71	3.78	3.83	3.56	3.55	3.36	3.04	3.41	3.4
⑨注意	3.80	3.32	4.14	4.08	3.91	3.92	3.81	3.75	3.23	2.85	3.54	3.30
平均												



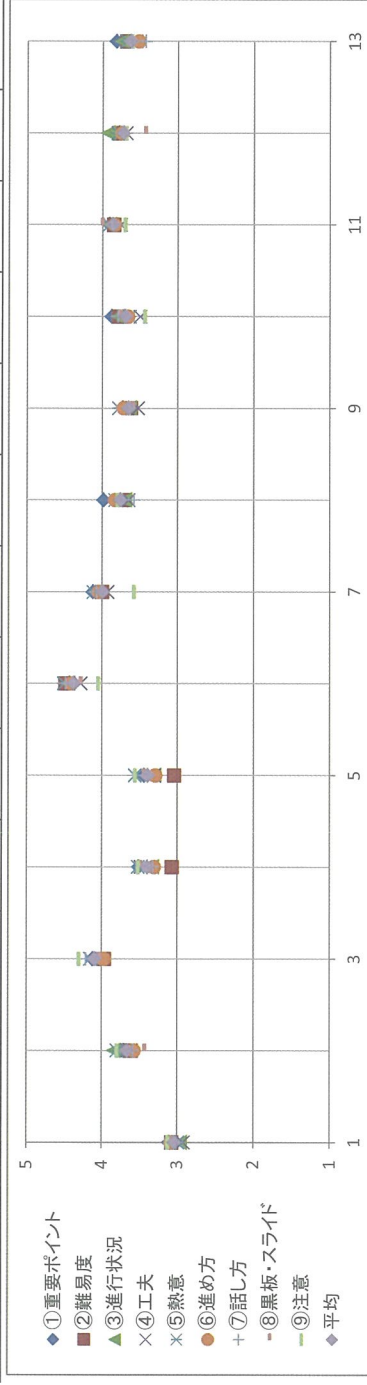
平成29年度 前期 3年生 授業評価(学生自己評価)②

科目名	免疫学		有機化学V		製剤学I		物理薬理学		環境衛生学II		薬理学III	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
クラス	3.71	3.09	3.96	3.97	3.8	3.76	3.8	3.69	3.44	3.2	3.65	3.24
⑩関心	3.04	2.73	3.2	3.36	3.24	3.4	3.31	3.33	2.84	2.91	2.99	2.84
⑪予習	3.41	3.18	3.71	3.76	3.42	3.52	3.55	3.61	3.38	3.09	3.61	3.2
⑫復習	3.56	3.18	3.62	3.65	3.55	3.55	3.58	3.43	3.14	2.91	3.44	3.12
⑬理解度	3.63	3.18	3.81	3.79	3.7	3.66	3.63	3.59	3.14	3.02	3.42	3.2
⑭満足度	3.47	3.07	3.66	3.71	3.54	3.58	3.57	3.53	3.19	3.03	3.42	3.12
平均												



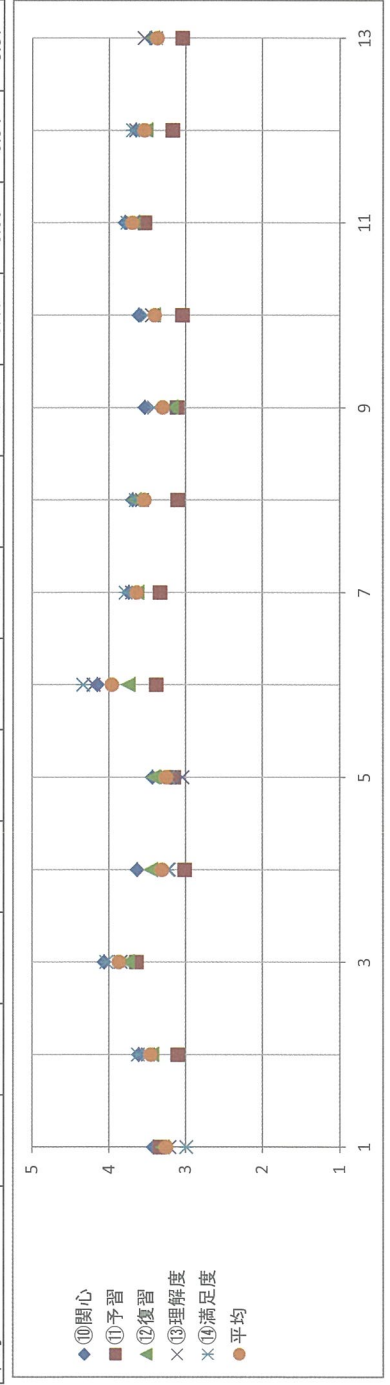
平成29年度 後期 3年生 授業評価(教員評価)①

科目名	構造解析演習		食品衛生学Ⅱ		生命科学Ⅳ		調剤学Ⅱ		薬物動態学Ⅰ		病態薬物治療学Ⅳ		公衆衛生学		
	全組	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
①重要ポイント	3.11	3.71	4.12	3.51	3.44	4.43	4.12	3.98	3.73	3.88	3.91	3.78	3.82	3.82	3.82
②難易度	3.07	3.61	3.97	3.07	3.04	4.48	4	3.72	3.62	3.78	3.85	3.78	3.68	3.78	3.68
③進行状況	2.96	3.84	4.09	3.34	3.31	4.45	4.08	3.7	3.64	3.8	3.91	3.93	3.75	3.93	3.75
④工夫	2.92	3.65	4	3.48	3.31	4.28	3.93	3.65	3.53	3.5	3.76	3.69	3.56	3.69	3.56
⑤熱意	2.99	3.8	4.15	3.52	3.56	4.5	4.11	3.83	3.78	3.64	3.91	3.8	3.68	3.8	3.68
⑥進め方	3.08	3.57	3.97	3.31	3.29	4.4	4.04	3.83	3.72	3.66	3.84	3.74	3.52	3.74	3.52
⑦話し方	3.01	3.59	4.21	3.33	3.58	4.48	4.08	3.58	3.65	3.8	3.88	3.69	3.43	3.69	3.43
⑧黒板・スライド	3.11	3.43	4.03	3.49	3.44	4.28	4	3.75	3.59	3.76	4	3.43	3.62	3.43	3.62
⑨注意	3.13	3.8	4.3	3.52	3.56	4.05	3.58	3.8	3.65	3.44	3.7	3.69	3.61	3.69	3.61
平均	3.04	3.67	4.09	3.40	3.39	4.37	3.99	3.76	3.66	3.70	3.86	3.73	3.63	3.73	3.63



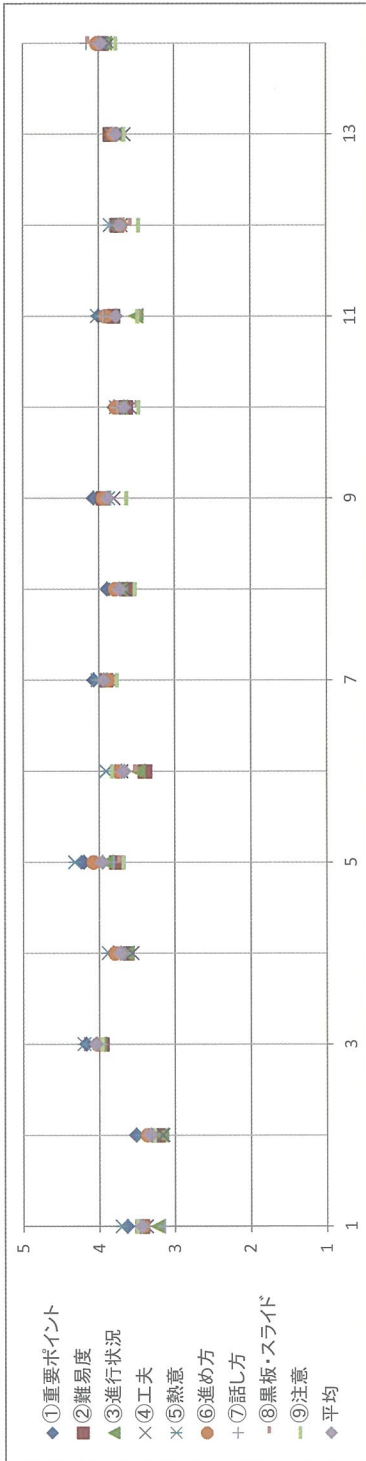
平成29年度 後期 3年生 授業評価(学生自己評価)①

科目名	構造解析演習		食品衛生学Ⅱ		生命科学Ⅳ		調剤学Ⅱ		薬物動態学Ⅰ		病態薬物治療学Ⅳ		公衆衛生学		
	全組	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
⑩関心	3.42	3.61	4.06	3.63	3.43	4.15	3.74	3.69	3.53	3.61	3.79	3.65	3.45	3.65	3.45
⑪予習	3.33	3.1	3.64	3.01	3.15	3.38	3.33	3.1	3.11	3.04	3.53	3.17	3.04	3.17	3.04
⑫復習	3.3	3.44	3.76	3.45	3.42	3.75	3.63	3.67	3.19	3.42	3.69	3.52	3.43	3.52	3.43
⑬理解度	3.21	3.49	3.85	3.22	3.04	4.2	3.7	3.57	3.24	3.44	3.69	3.65	3.54	3.65	3.54
⑭満足度	2.99	3.62	4.03	3.23	3.23	4.33	3.78	3.65	3.41	3.5	3.76	3.69	3.39	3.69	3.39
平均	3.25	3.45	3.87	3.31	3.25	3.96	3.64	3.54	3.30	3.40	3.69	3.54	3.37	3.54	3.37



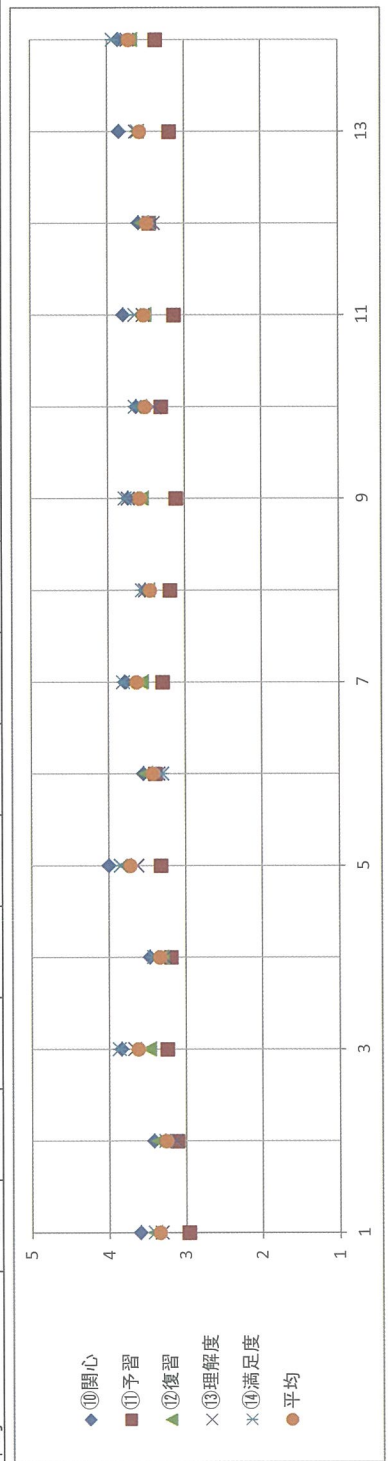
平成29年度 後期 3年生 授業評価(教員評価)②

科目名	感染症治療学		製剤学Ⅱ		天然物化学		医薬品化学Ⅰ		分析化学Ⅳ		有機化学Ⅵ		薬理学Ⅳ	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
①重要ポイント	3.63	3.51	4.17	4.07	4.2	3.7	4.07	3.89	4.07	3.79	4	3.7	3.82	4
②難易度	3.43	3.22	3.96	3.63	3.77	3.39	3.9	3.63	3.94	3.63	3.8	3.75	3.84	3.95
③進行状況	3.23	3.18	4	3.63	3.9	3.48	3.98	3.7	3.93	3.7	3.5	3.75	3.77	3.91
④工夫	3.38	3.16	4.11	3.56	4.15	3.7	3.86	3.67	3.8	3.58	3.8	3.7	3.66	3.86
⑤熱意	3.7	3.44	4.2	3.88	4.32	3.91	4.02	3.78	3.87	3.77	4.02	3.85	3.82	3.95
⑥進め方	3.43	3.36	4.02	3.78	4.07	3.74	3.88	3.78	3.94	3.77	3.91	3.7	3.8	4.02
⑦話し方	3.14	3.33	3.96	3.66	3.8	3.7	4	3.74	3.85	3.74	3.93	3.85	3.73	4.16
⑧黒板・スライド	3.46	3.38	3.98	3.74	3.73	3.52	3.93	3.74	3.89	3.49	3.46	3.58	3.81	4.14
⑨注意	3.5	3.27	3.96	3.71	3.67	3.83	3.76	3.52	3.63	3.47	3.48	3.47	3.66	3.77
平均	3.43	3.32	4.04	3.71	3.96	3.66	3.93	3.72	3.88	3.66	3.77	3.71	3.77	3.97



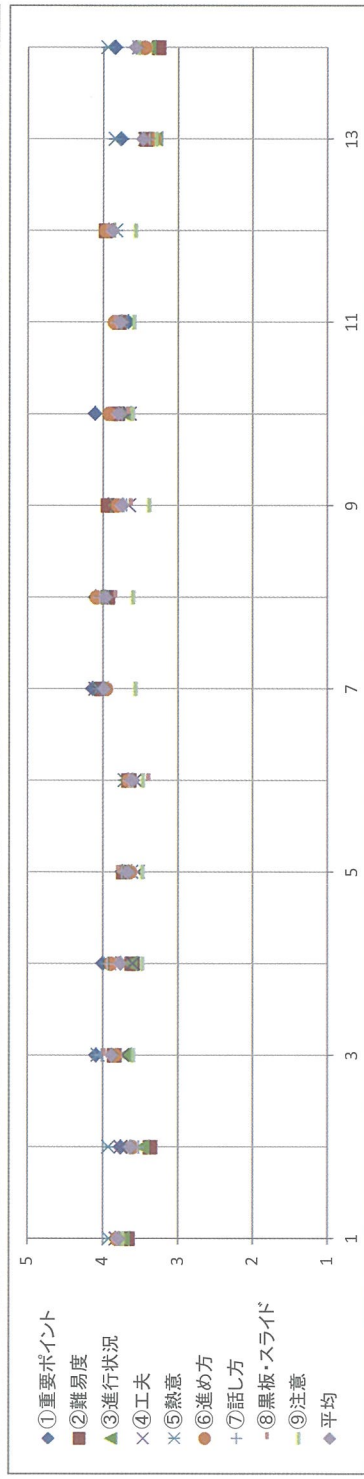
平成29年度 後期 3年生 授業評価(学生自己評価)②

科目名	感染症治療学		製剤学Ⅱ		天然物化学		医薬品化学Ⅰ		分析化学Ⅳ		有機化学Ⅵ		薬理学Ⅳ	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
⑩関心	3.6	3.42	3.84	3.47	4	3.55	3.79	3.52	3.74	3.63	3.8	3.6	3.85	3.86
⑪予習	2.96	3.11	3.24	3.19	3.32	3.39	3.29	3.19	3.11	3.3	3.13	3.45	3.19	3.37
⑫復習	3.41	3.36	3.48	3.31	3.8	3.52	3.57	3.48	3.56	3.58	3.52	3.55	3.61	3.7
⑬理解度	3.32	3.13	3.67	3.28	3.63	3.35	3.69	3.52	3.74	3.4	3.54	3.4	3.63	3.74
⑭満足度	3.41	3.27	3.87	3.42	3.85	3.3	3.81	3.56	3.78	3.65	3.65	3.45	3.61	3.93
平均	3.34	3.26	3.62	3.33	3.72	3.42	3.63	3.45	3.59	3.51	3.53	3.49	3.58	3.72



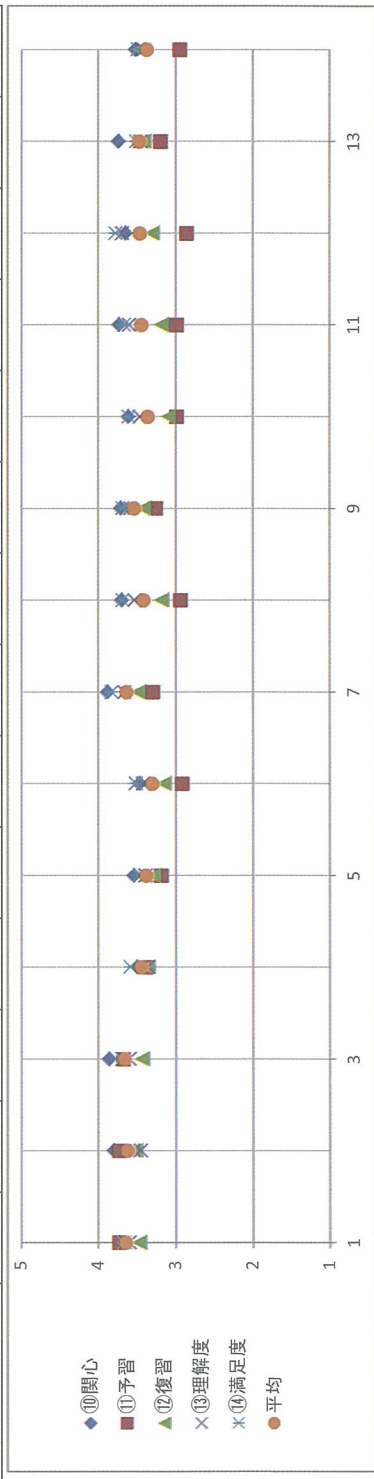
平成29年度 4年生 授業評価(教員評価)①

科目名	臨床薬学英語(教員①)		薬局方概論		医薬品情報学		医療安全性学		薬事関係法規・制度Ⅱ		臨床心理学		薬物治療学Ⅲ	
	1・2組	3・4組	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
クラス	3.83	3.76	4.09	4	3.74	3.67	4.14	4.1	3.93	4.11	3.67	3.93	3.76	3.84
①重要ポイント	3.67	3.37	3.84	3.61	3.72	3.65	4.02	3.93	3.93	3.8	3.78	3.96	3.43	3.26
②難易度	3.73	3.48	3.71	3.64	3.71	3.69	4.02	4.08	3.83	3.72	3.84	3.93	3.31	3.4
③進行状況	3.82	3.76	3.74	3.61	3.54	3.58	4.1	3.98	3.66	3.65	3.75	3.83	3.45	3.53
④工夫	3.92	3.93	4.07	3.91	3.63	3.71	4.05	4	3.81	3.87	3.75	3.83	3.84	3.94
⑤熟意	3.8	3.61	3.84	3.89	3.64	3.65	3.95	4.08	3.8	3.91	3.84	3.96	3.33	3.45
⑥進め方	3.77	3.53	4.02	3.93	3.74	3.64	4	4.03	3.69	3.74	3.8	3.87	3.38	3.61
⑦話し方	3.81	3.6	3.98	3.79	3.79	3.4	3.98	3.83	3.63	3.67	3.82	3.92	3.47	3.56
⑧黒板・スライド	3.73	3.64	3.6	3.48	3.48	3.47	3.57	3.6	3.39	3.61	3.59	3.57	3.29	3.53
⑨注意	3.79	3.63	3.88	3.76	3.67	3.61	3.98	3.96	3.74	3.79	3.76	3.87	3.47	3.57
平均														



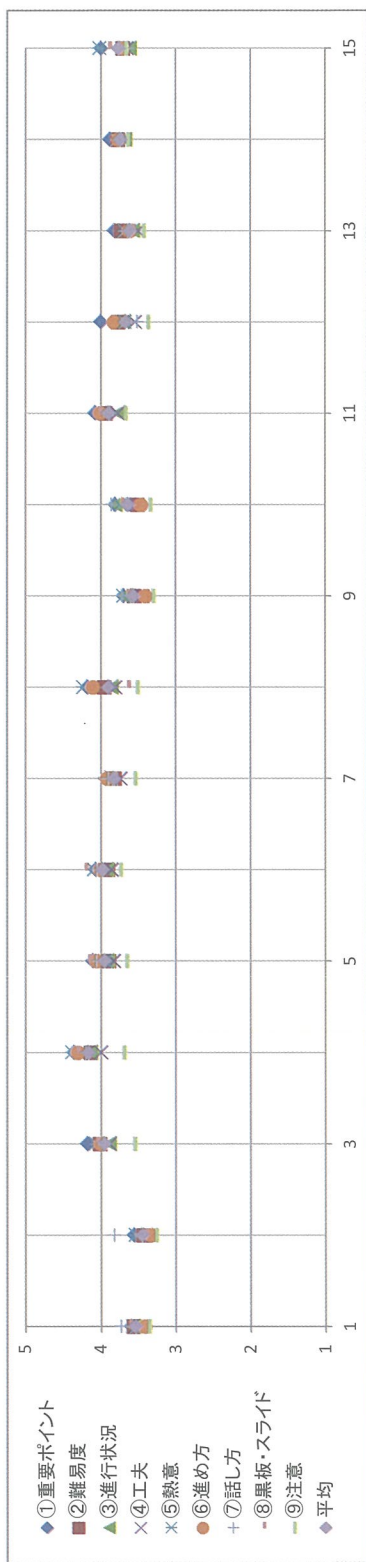
平成29年度 4年生 授業評価(学生自己評価)①

科目名	臨床薬学英語(教員①)		薬局方概論		医薬品情報学		医療安全性学		薬事関係法規・制度Ⅱ		臨床心理学		薬物治療学Ⅲ	
	1・2組	3・4組	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
クラス	3.73	3.8	3.86	3.5	3.54	3.47	3.88	3.7	3.71	3.61	3.73	3.65	3.74	3.52
⑩関心	3.72	3.72	3.67	3.38	3.18	2.91	3.29	2.93	3.25	2.98	2.98	2.85	3.19	2.94
⑪予習	3.47	3.52	3.43	3.36	3.28	3.15	3.48	3.18	3.41	3.09	3.18	3.3	3.41	3.47
⑫復習	3.6	3.45	3.6	3.36	3.39	3.42	3.66	3.53	3.58	3.46	3.6	3.69	3.45	3.41
⑬理解度	3.66	3.56	3.7	3.59	3.47	3.52	3.83	3.69	3.69	3.61	3.67	3.78	3.51	3.49
⑭満足度	3.64	3.61	3.65	3.44	3.37	3.29	3.63	3.41	3.53	3.35	3.43	3.45	3.46	3.37
平均														



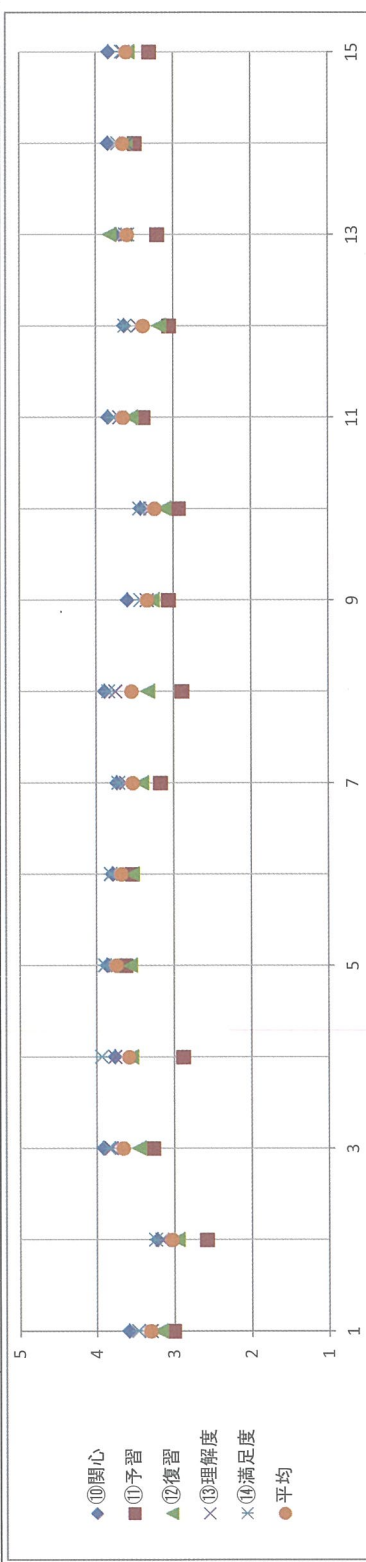
平成29年度 4年生 授業評価(教員評価)②

科目名	薬事関係法規・制度Ⅰ(教員①)		薬事関係法規・制度Ⅱ(教員②)		臨床薬学英語(教員②)		臨床分析化学		臨床薬物動態学		漢方概論		薬学演習		衛生薬学演習		薬物治療学Ⅳ	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	全組	全組	全組	全組	全組	全組
クラス																		
①重要ポイント	3.6	3.56	4.18	4.36	4.11	4.07	3.94	4.18	3.7	3.81	4.08	4	3.82	3.88	4	3.82	3.88	4
②難易度	3.57	3.44	4.02	4.14	3.9	3.91	3.82	3.96	3.56	3.52	3.94	3.77	3.73	3.78	3.71	3.73	3.78	3.71
③進行状況	3.58	3.42	3.89	4.14	3.92	3.93	3.93	3.86	3.69	3.81	3.77	3.7	3.58	3.68	3.62	3.51	3.7	3.66
④工夫	3.52	3.34	3.89	4	3.83	3.86	3.74	3.81	3.45	3.53	3.78	3.55	3.51	3.7	3.66	3.69	3.79	4.02
⑤熟意	3.54	3.54	4.07	4.38	3.95	4.09	3.87	4.23	3.7	3.74	3.97	3.68	3.69	3.79	4.02	3.62	3.77	3.71
⑥進め方	3.42	3.34	4	4.31	4.06	4.01	3.92	4.11	3.41	3.47	4.01	3.83	3.62	3.77	3.71	3.65	3.75	3.65
⑦話し方	3.73	3.82	3.98	4.21	4.07	4.06	3.91	3.88	3.72	3.86	3.88	3.52	3.65	3.75	3.65	3.57	3.74	3.88
⑧黒板・スライド	3.61	3.4	4.05	4.31	4.15	4.2	3.8	3.63	3.63	3.71	4.01	3.67	3.57	3.74	3.88	3.43	3.64	3.67
⑨注意	3.36	3.26	3.55	3.69	3.65	3.73	3.54	3.51	3.3	3.34	3.67	3.37	3.43	3.64	3.67	3.62	3.75	3.77
平均	3.55	3.46	3.96	4.17	3.96	3.98	3.83	3.91	3.57	3.64	3.90	3.68	3.62	3.75	3.62	3.62	3.75	3.77



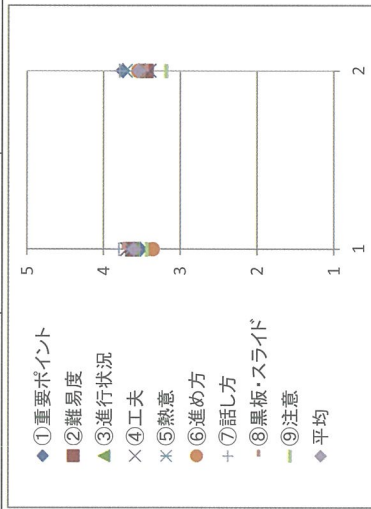
平成29年度 4年生 授業評価(学生自己評価)②

科目名	薬事関係法規・制度Ⅰ(教員①)		薬事関係法規・制度Ⅱ(教員②)		臨床薬学英語(教員②)		臨床分析化学		臨床薬物動態学		漢方概論		薬学演習		衛生薬学演習		薬物治療学Ⅳ	
	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	全組	全組	全組	全組	全組	全組
クラス																		
⑩関心	3.58	3.22	3.91	3.76	3.86	3.79	3.73	3.89	3.59	3.42	3.84	3.63	3.74	3.84	3.83	3.82	3.83	3.83
⑪予習	3.01	2.58	3.27	2.88	3.62	3.53	3.17	2.89	3.06	2.93	3.38	3.05	3.2	3.49	3.3	3.2	3.49	3.3
⑫復習	3.18	2.96	3.45	3.55	3.56	3.53	3.41	3.33	3.27	3.12	3.54	3.18	3.82	3.61	3.58	3.61	3.61	3.58
⑬理解度	3.3	3.16	3.81	3.76	3.76	3.7	3.61	3.75	3.34	3.29	3.69	3.45	3.61	3.6	3.64	3.61	3.6	3.64
⑭満足度	3.46	3.24	3.84	3.93	3.89	3.81	3.71	3.84	3.42	3.43	3.77	3.62	3.58	3.71	3.66	3.58	3.71	3.66
平均	3.31	3.03	3.66	3.58	3.74	3.67	3.53	3.54	3.34	3.24	3.64	3.39	3.59	3.65	3.60	3.59	3.65	3.60



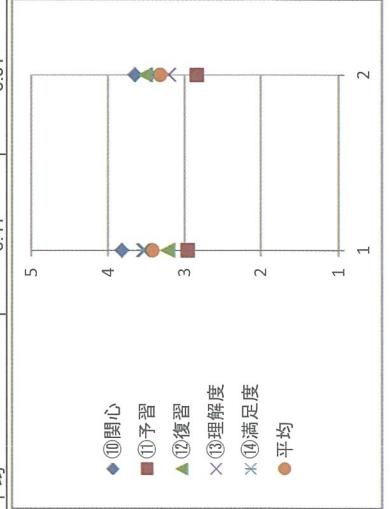
平成29年度 5年生 授業評価(教員評価)

科目名	診療科別治療論	医療統計学
クラス	全組	全組
①重要ポイント	3.52	3.75
②難易度	3.62	3.44
③進行状況	3.62	3.55
④工夫	3.69	3.4
⑤熱意	3.63	3.71
⑥進め方	3.35	3.54
⑦話し方	3.8	3.79
⑧黒板・スライド	3.73	3.44
⑨注意	3.43	3.18
平均	3.60	3.53



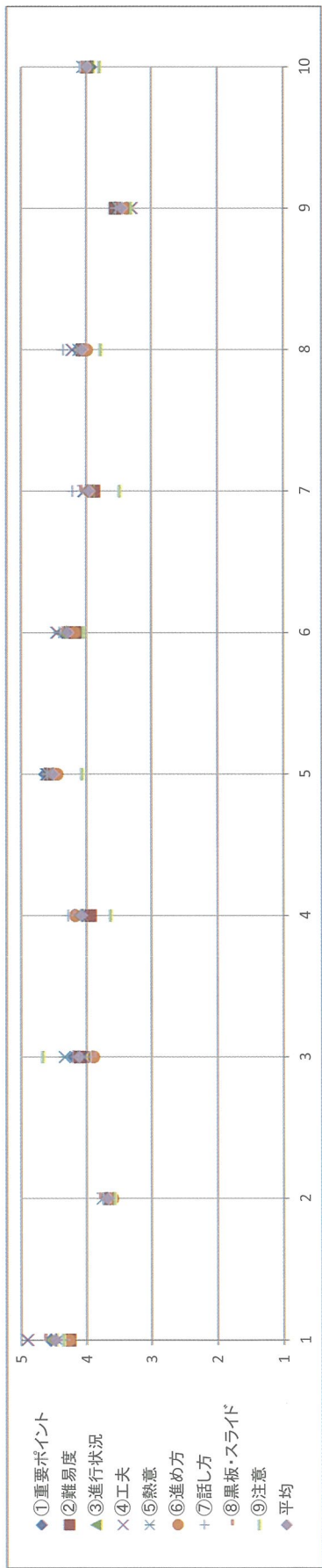
平成29年度 5年生 授業評価(学生自己評価)

科目名	診療科別治療論	医療統計学
クラス	全組	全組
⑩関心	3.82	3.65
⑪予習	2.95	2.83
⑫復習	3.22	3.51
⑬理解度	3.52	3.2
⑭満足度	3.55	3.37
平均	3.41	3.31



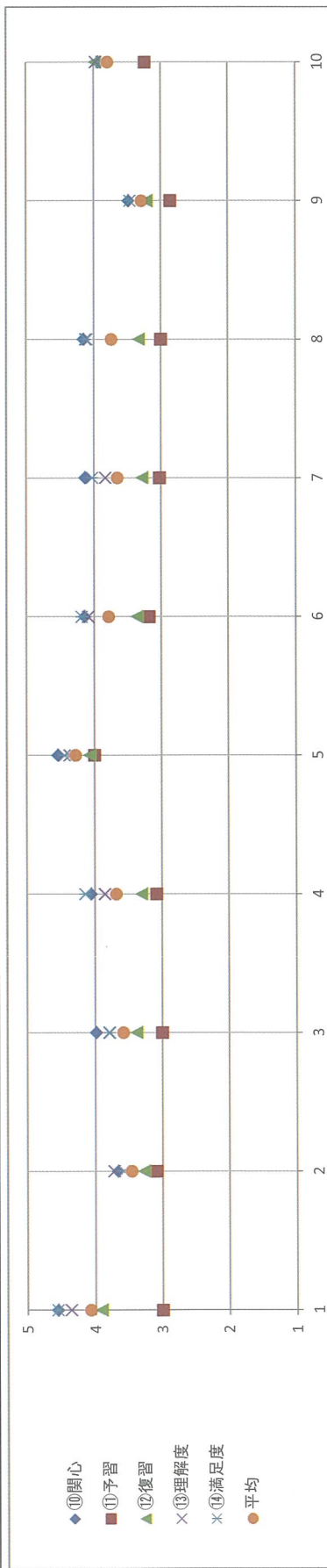
平成29年度 6年生 授業評価(教員評価)

科目名	ゲノム創薬論	疾患治療特論	医薬品開発論	漢方疾患治療論	健康管理学	ターミナルケア論	救急医療概論	地域薬局論	処方解析学	薬学総合演習
クラス	全組	全組	全組	全組	全組	全組	全組	全組	全組	全組
①重要ポイント	4.55	3.7	4.2	4.18	4.63	4.32	4	4.07	3.55	3.93
②難易度	4.27	3.66	4.11	3.95	4.56	4.18	3.98	4.07	3.56	4
③進行状況	4.55	3.68	4	4.15	4.59	4.41	3.98	4.11	3.46	3.98
④工夫	4.91	3.64	4.07	4.08	4.61	4.45	4.04	4.22	3.31	4.05
⑤熱意	4.45	3.75	4.33	4.13	4.59	4.27	4.02	4.11	3.51	4.05
⑥進め方	4.27	3.61	3.9	4.18	4.46	4.18	3.96	4	3.39	4
⑦話し方	4.36	3.75	3.95	4.28	4.61	4.41	4.21	4.35	3.56	4.1
⑧黒板・スライド	4.64	3.8	3.89	4.2	4.54	4.36	4.09	4	3.5	4.05
⑨注意	4.36	3.57	4.67	3.63	4.07	4.05	3.49	3.78	3.32	3.8
平均	4.48	3.68	4.12	4.09	4.52	4.29	3.96	4.08	3.46	4.00



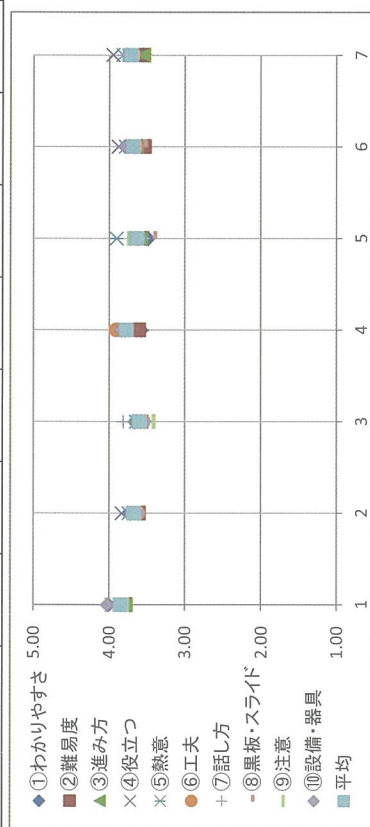
平成29年度 6年生 授業評価(学生自己評価)

科目名	ゲノム創薬論	疾患治療特論	医薬品開発論	漢方疾患治療論	健康管理学	ターミナルケア論	救急医療概論	地域薬局論	処方解析学	薬学総合演習
クラス	全組	全組	全組	全組	全組	全組	全組	全組	全組	全組
⑩関心	4.55	3.66	3.98	4.05	4.54	4.14	4.13	4.15	3.48	3.93
⑪予習	3	3.09	3	3.08	4	3.18	3.02	3	2.86	3.24
⑫復習	3.91	3.27	3.38	3.3	4.07	3.36	3.28	3.33	3.21	3.98
⑬理解度	4.36	3.72	3.79	3.85	4.37	4.09	3.83	4.11	3.46	3.97
⑭満足度	4.55	3.58	3.78	4.14	4.44	4.18	4.02	4.12	3.46	3.87
平均	4.07	3.46	3.59	3.68	4.28	3.79	3.66	3.74	3.29	3.80



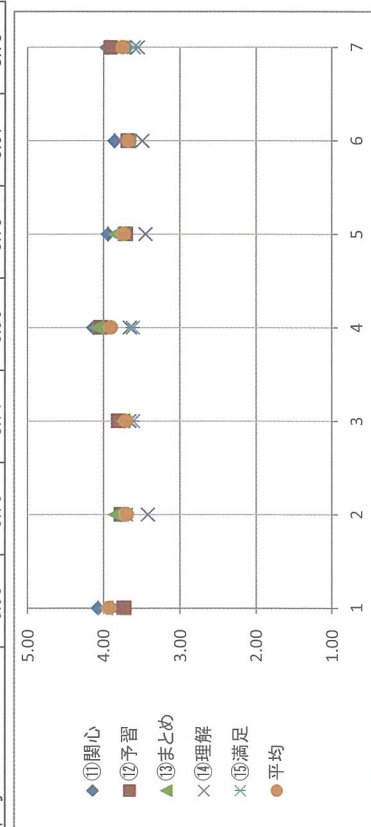
平成29年度 2年生 実習評価(教員評価)

科目名	基礎実習		物理系実習				化学系実習			
	全組	漢方	薬1~10	薬11~16	漢方	薬1~10	薬11~16			
クラス										
①わかりやすさ	3.79	3.71	3.66	3.57	3.48	3.66	3.55			
②難易度	3.79	3.61	3.6	3.61	3.58	3.54	3.55			
③進み方	3.78	3.7	3.67	3.87	3.58	3.64	3.55			
④役立ち	3.92	3.83	3.57	3.78	3.9	3.88	3.95			
⑤熱意	3.96	3.74	3.64	3.77	3.9	3.78	3.82			
⑥工夫	3.84	3.61	3.55	3.91	3.65	3.64	3.68			
⑦話し方	3.84	3.58	3.81	3.83	3.55	3.75	3.82			
⑧黒板・スライド	3.82	3.71	3.6	3.87	3.39	3.52	3.73			
⑨注意	3.76	3.71	3.41	3.73	3.74	3.66	3.73			
⑩設備・器具	4.02	3.61	3.53	3.83	3.61	3.78	3.76			
平均	3.85	3.68	3.60	3.78	3.64	3.69	3.71			



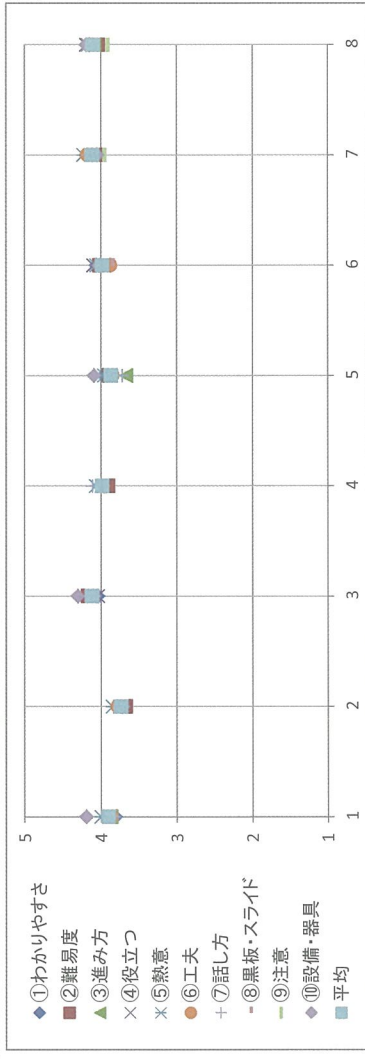
平成29年度 2年生 実習評価(学生自己評価)

科目名	基礎実習		物理系実習				化学系実習			
	全組	漢方	薬1~10	薬11~16	漢方	薬1~10	薬11~16			
クラス										
⑪関心	4.07	3.77	3.71	4.13	3.94	3.85	3.95			
⑫予習	3.73	3.77	3.81	4.04	3.71	3.68	3.91			
⑬まとめ	3.97	3.84	3.74	4.09	3.84	3.67	3.73			
⑭理解	3.88	3.42	3.66	3.65	3.45	3.49	3.55			
⑮満足	3.99	3.7	3.61	3.61	3.72	3.67	3.6			
平均	3.93	3.70	3.71	3.90	3.73	3.67	3.75			



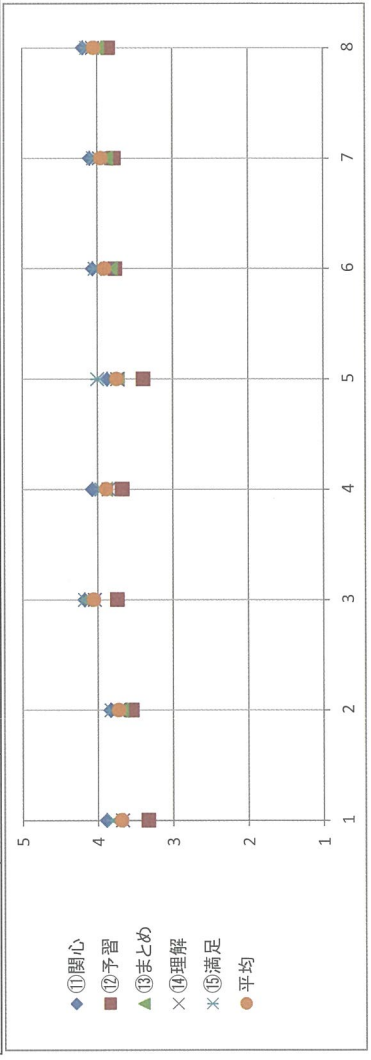
平成29年度 3年生 実習評価(教員評価)

科目名	衛生薬学実習		生物系実習(分子生物)		生物系実習(微生物)		薬理学実習	
	1・2組	3・4組	1・2組	3・4組	1・2組	3・4組	1・2組	3・4組
クラス	3.81	3.73	4.04	3.96	3.96	4.06	4.05	4.15
①わかりやすさ	3.88	3.68	4.17	3.91	3.89	4.02	4.05	4.04
②難易度	3.87	3.75	4.13	4.02	3.96	4.2	4.09	4.19
③進み方	3.9	3.75	4.04	3.96	3.89	4.1	4.13	4.17
④役立つ	4	3.85	4.11	4.07	3.96	4.06	4.23	4.17
⑤熱意	3.87	3.78	4.11	3.98	3.85	3.88	4.18	4.11
⑥工夫	3.83	3.75	4.09	4.11	3.72	4	4.15	4.11
⑦話し方	3.83	3.7	4.11	3.96	3.85	3.84	4.18	4.11
⑧黒板・スライド	3.88	3.67	4.09	3.93	3.83	3.92	3.95	3.91
⑨注意	4.19	3.72	4.3	4	4.09	4.02	4.05	4.19
⑩設備・器具	3.91	3.74	4.12	3.99	3.87	3.99	4.12	4.11
平均								



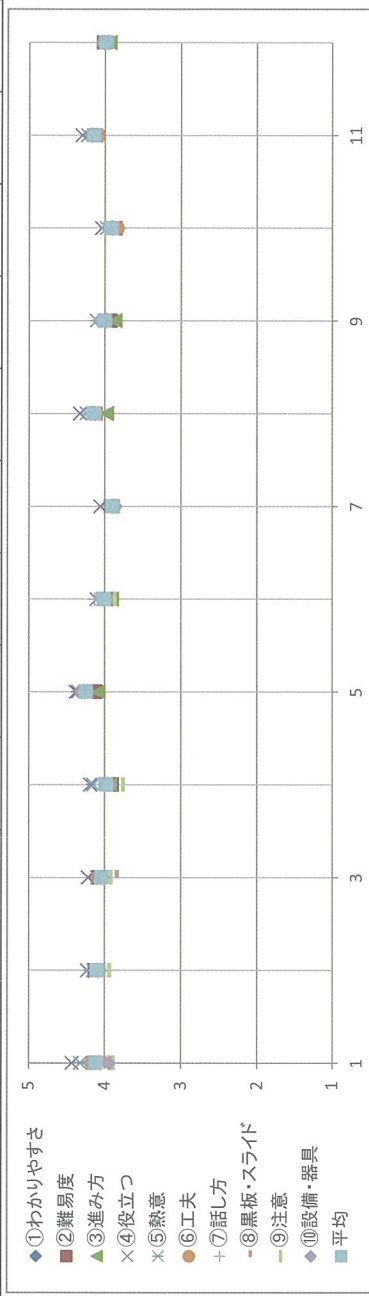
平成29年度 3年生 実習評価(学生自己評価)

科目名	衛生薬学実習		生物系実習(分子生物)		生物系実習(微生物)		薬理学実習	
	1・2組	3・4組	1・2組	3・4組	1・2組	3・4組	1・2組	3・4組
クラス	3.88	3.83	4.17	4.07	3.87	4.06	4.1	4.19
⑪関心	3.33	3.55	3.74	3.67	3.39	3.76	3.78	3.85
⑫予習	3.75	3.69	4.15	3.89	3.73	3.82	3.88	4
⑬まとめ	3.67	3.73	4.04	3.85	3.73	3.86	3.97	4.06
⑭理解	3.79	3.82	4.17	3.95	4	4.03	4.05	4.14
⑮満足	3.68	3.72	4.05	3.89	3.74	3.91	3.96	4.05
平均								



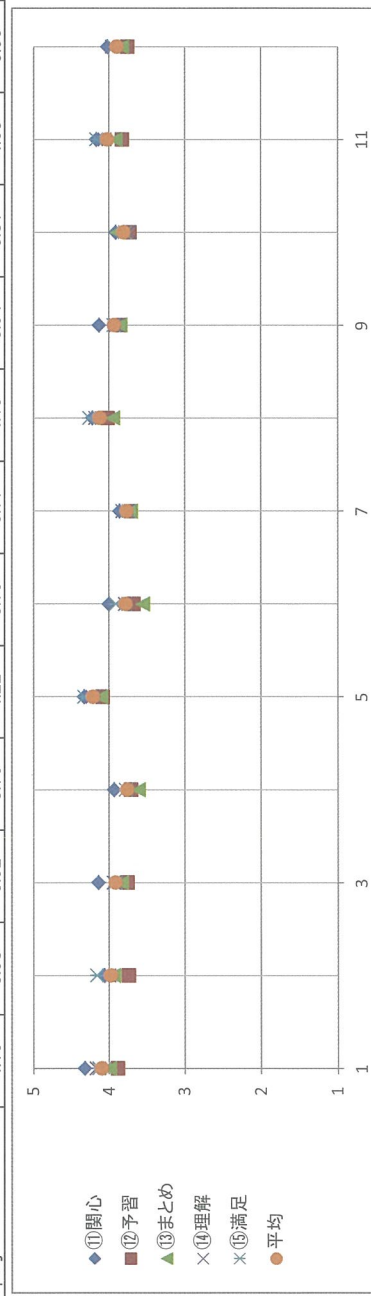
平成29年度 4年生 実習評価(教員評価)

科目名	実務実習事前学習Ⅰ			実務実習事前学習Ⅱ			実務実習事前学習Ⅲ			実務実習事前学習(無菌)		
	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
クラス	4.19	4.09	4.1	3.96	4.26	4.02	3.9	4.13	3.98	3.91	4.17	3.96
①わかりやすさ	4.13	4.13	4.08	3.91	4.13	3.94	3.92	4.13	3.93	3.87	4.15	4.02
②難易度	4	4.09	4.14	3.93	4.09	3.91	3.92	3.98	3.87	3.91	4.13	3.94
③進み方	4.43	4.23	4.22	4.19	4.38	4.11	4.06	4.33	4.11	4.04	4.3	4
④役立つ	4.32	4.15	4.1	4.15	4.35	4.02	3.92	4.24	4.11	3.98	4.23	4.02
⑤熱意	4.17	4.11	4.08	3.98	4.3	4	3.88	4.15	4	3.84	4.09	4.02
⑥工夫	4.17	4.19	3.98	4.05	4.3	4.13	3.9	4.2	4.02	3.96	4.13	4.02
⑦話し方	4	4.04	3.84	4	4.24	4.09	3.86	4.16	3.98	4	4.11	3.96
⑧黒板・スライド	3.89	3.94	3.92	3.76	4.2	3.87	3.82	4.07	4.02	3.85	4.09	3.94
⑨注意	3.94	4.06	4.02	3.93	4.3	4.02	3.86	4.18	4.07	3.89	4.11	4.02
⑩設備・器具	4.12	4.10	4.05	3.99	4.26	4.01	3.90	4.16	4.01	3.93	4.15	3.99
平均												



平成29年度 4年生 実習評価(学生自己評価)

科目名	実務実習事前学習Ⅰ			実務実習事前学習Ⅱ			実務実習事前学習Ⅲ			実務実習事前学習(無菌)		
	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
クラス	4.32	4.06	4.14	3.93	4.33	4	3.86	4.22	4.13	3.91	4.17	4.02
⑪関心	3.89	3.74	3.76	3.71	4.09	3.68	3.71	4.02	3.85	3.73	3.83	3.76
⑫予習	4	3.94	3.84	3.61	4.11	3.55	3.71	3.95	3.85	3.89	3.92	3.83
⑬まとめ	4.17	4	3.94	3.78	4.22	3.79	3.82	4.18	3.91	3.73	4.06	3.96
⑭理解	4.13	4.16	3.92	3.78	4.33	3.91	3.74	4.26	3.94	3.79	4.17	3.94
⑮満足	4.10	3.98	3.92	3.76	4.22	3.79	3.77	4.13	3.94	3.81	4.03	3.90
平均												



3. 学生コメント総括

平成29年度 学生による授業および実習評価アンケートのコメント欄に記載された代表的な内容を以下に記す。

【授業】

<良かった点>	<改善してほしい点>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱意を感じた ・ 聞きとりやすい声、大きな字 ・ 写真や絵、分子模型を使った説明 ・ プリントの配布がある ・ 小まめな確認テスト ・ 宿題プリント ・ 先生が明るく楽しそうに授業をする ・ 補習をしてくれる ・ スライドと黒板を両方使う ・ 例題、演習が多い ・ リフレクションシートやシャトルカードの導入（双方向性） ・ 時事ネタ、例え話など授業内容とつながる雑談 ・ 前回の復習がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スライドがもらえない ・ スライドのアップ時期を早く ・ スライドの作り方（配置、配色、フォントサイズ） ・ ペースが速い（早口、量が多い） ・ 板書方法（位置、チョークの色、消すタイミングなど） ・ 間違いが多い（板書、資料など） ・ 答えがもらえない（レポート、宿題など） ・ 教員が変わる（1科目複数教員） ・ 教科書を使う頻度が低い ・ 講義資料は無料配布でよい ・ 教員間の情報共有 ・ 大切なところを明確に ・ グループワークの際は、能力差を考慮したグループ分けと適正な評価方法で実施

【実習】

<良かった点>	<改善してほしい点>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問しやすい環境（教員数） ・ 事前準備が整っている ・ デモがある ・ 授業で習ったことを体感できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員によって説明が違う ・ 器具の破損、不足 ・ 実習内容と合っていないレポート

【総括】

- ・ 小まめなテストの実施は学生自身が理解度を把握しやすい
- ・ 適量の宿題は自己学習に取り組みやすい
- ・ 関連科目の教員間で情報を共有し、重複や不足、相違点をなくす

教員相互授業参観報告

平成 29 年度

平成 29 年度「教員相互授業参観」実施要領

FD 委員会

1. 目的

教員の講義力向上の一助とするとともに、受講している学生の受講態度等を観察し、教員が授業の現状理解を深めることを目的とする。

2. 要領

本年度は、従来の教員相互形式の授業参観に加えて、昨年度学生より高い評価を受けた授業を他の全教員が参観する一斉参観形式の授業参観も実施する。

(1) 教員相互形式

○実施期間：以下の第 1 回目と第 2 回目の期間中に、年 1 回は参観すること。

第 1 回目：5 月 1 日～6 月 30 日

第 2 回目：10 月 2 日～12 月 7 日

○対象科目：1 年生、2 年生、3 年生、4 年生の講義授業科目

(実習科目や演習科目は除外)

原則として、講座内の教員の参観対象科目(1～4 年次の科目)から、参観したい科目を選ぶこと。センターの教員は、ご自身の講義科目に近い講座内から選択をお願いします。

○手順

手順 1 参観希望者は、前もって E メールなどで講義担当者の許諾を得ておく。

手順 2 30 分以上参観する。

手順 3 参観終了後、感想用紙に感想を記入し、電子ファイルをメールアドレス(安川)：k-yasukawa@daiichi-cps.ac.jp宛てに添付メールで提出する。

○感想用紙：dysv10 → public_new → 委員会 → FD 委員会 → 教員相互授業参観 → 平成 29 年度 → 「H29 授業参観感想用紙.docx」を使用すること。

提出は、第 1 回目は 7 月 6 日、第 2 回目は 12 月 7 日までとする。

(2) 一斉参観形式

○対象科目：下記の 2 科目

物理化学 I の B クラス (2 年次、2 期)

微生物学 II の A クラス (2 年次、3 期)

○手順：1 コマ 90 分参観し、終了後に(1)と同じ感想用紙に感想を記入し、電子ファイルをメールアドレス k-yasukawa@daiichi-cps.ac.jp宛に添付で提出する。

4. 附記

- 提出された感想用紙は FD 委員会(委員長)が保管し、コピーを講義担当教員に渡すものとする。また翌年度の授業参観実施のための参考資料とする。
- 第 1 回目と第 2 回目の感想提出教員のリスト等を、各回提出期限後に行われる教員連絡会議にて連絡する。

平成29年度「相互授業参観」感想用紙

参観日時	月 日 時限	参観者名	
学年・学期・ 講義名	年・ 期・ クラス	講義担当者	

(1) 感想（良かった点・参考になったこと等）のご記入をお願いします。

--

(2) 参観者から見た学生の様子

--

平成 29 年度前半 教員相互授業参観感想

平成 29 年度前半の教員相互授業参観の提出状況

	学年	クラス	参観日	参観者名	講義名	講義担当者名
1	1	薬	2017/5/1	椿 友梨	基礎物理学	田嶋 健治
2	1	漢方	2017/6/30	池谷 幸信	本草学	福田 直通
3	2	A	2017/6/26	窪田 敏夫	基礎統計学	井上 寛
4	2	A	2017/6/28	小武家 優子	基礎統計学	井上 寛
5	2	B	2017/6/16	飯塚 晃	機能形態学Ⅱ	清水 典史
6	2	A	2017/6/20	清水 典史	微生物学Ⅰ	松原 大
7	2	A	2017/6/30	廣村 信	微生物学Ⅰ	松原 大
8	2	B	2017/5/9	原口 浩一	分析化学Ⅰ	藤井 由希子
9	2	B	2017/6/20	藤井 由希子	放射化学	原口 浩一
10	3	B	2017/6/21	井上 寛	物理化学Ⅲ	安川 圭司
11	3	A	2017/6/26	安川 圭司	物理薬剤学	中原 広道
12	3	A	2017/6/29	戸田 晶久	環境衛生学Ⅱ	渡辺 和人
13	3	AB 合同	2017/7/14	村山 恵子	環境衛生学Ⅱ	渡辺 和人
14	3	A	2017/5/15	副田 二三夫	食品衛生学Ⅰ	戸田 晶久
15	3	B	2017/6/19	高露 恵理子	製剤学Ⅰ	村山 恵子
16	4	B	2017/5/17	入倉 充	医療安全性学	香月 正明
17	4	A	2017/5/16	香月 正明	臨床薬物動態学	入倉 充
18	4	A	2017/5/29	城戸 克己	漢方概論	福田 直通
19	4	A	2017/5/16	大光 正男	薬事関係法規Ⅰ	川野 愛
20	4	A	2017/5/31	香川 正太	臨床分析化学	長島 史裕

(1) 感想 (良かった点・参考になったこと等) のご記入をお願いします。「1年」

田島先生 (基礎物理学 ; 薬学科)

全体的に分かりやすい授業だった。かなり基礎の復習からやっていて、とても親切だと思うし、より理解が深まると思う。また、問題集の中でも、重要な問題の番号を言い、学生が取り組みやすくしており勉強の意欲を出させる良い考えだと思う。また指導のスピードも適切だった様に感じる。問題プリントも作成されており、問題集等も含めると十分な問題の数になり、十分内容を把握することができるのではないかと思う。

福田先生 (本草学 ; 漢方薬学科)

パワーポイントと板書による講義で、不足分を配付プリントで補うという形式であった。生薬の代表成分の化学構造式については必ずゆっくり板書し、受講生が自分で書いて覚えるよう工夫されていた。構造式以外の重点事項もノートが取りやすいように大きな文字でゆっくりと板書されていた。最後列の受講生でもはっきり聞こえるよう一定速度で丁寧に講義されていることが印象に残った。学生は講義内容を聞き取りやすく感じていると思われる。プリントには講義のポイントが記載されており、受講生は講義内容をその都度プリントで確認していた。毎回の授業の最後には、その日の重点事項を確認するため小テストを行っていた。自分の講義と照らし合わせ、私は話す速度が早すぎるので、本講義での丁寧な話し方が今後の自分の授業方法に大変参考になりました。

(2) 参観者から見た学生の様子「1年」

田島先生 (基礎物理学 ; 薬学科)

大多数が真面目にきいていたと思う。しっかりメモをとったり、教科書を読んだりしていた。

福田先生 (本草学 ; 漢方薬学科)

講義開始時から受講生の聴講態度は良く、おしゃべりする受講生はなく、聴講していた。受講生は、講義中の重点事項をプリントで確認したり、ノートをとるなどして熱心に聴講していた。

(1) 感想 (良かった点・参考になったこと等) のご記入をお願いします。「2年」

井上先生 (基礎統計学 ; A クラス)

○声の大きさ、話す速度も適切で聞きやすかった。

スライドは使わず板書を中心として講義であったが、黒板の使い方が参考になった。黒板に記載する時は、3~4行に収まる分量であるため、一番後ろからも楽に見ることができた。また、黒板を3分割して使用し、順番に消していくため、ノートに書き写し損ねることがないように配慮されていた。

学生が試験で間違いやすいポイントをはっきり示しており、理解しやすくなっていた。

【良かった点】

(1) 板書形式

・板書の文字が大きく、後方までよく見えていた点。(縦: 3~4行、横: 1/3分割で2巡程度の板書量)

・学生のペースに合わせて、ノートへの筆記時間を待っていた点。

・重点ポイントについては、色やマークで、明確に示していた点。

(2) 授業の構成・展開の方法

・導入(5分): 前回講義の復習を踏まえて、今日の講義とのつながり、さらに臨床的な場面での統計学の用いられ方について説明している点。

・今日の主たる講義内容(50分): 今日の内容については、前回の講義内容と対比させながら、理解を促していた点。

・演習(15分): インプット後のアウトプットの機会を講義中に設けていた点。

周りとのディスカッションしながら解くことも許可していた点。

・演習の解説(10分): 問題文から計算に必要なキーワードの拾い方および用いる計算方法を丁寧に説明していた点。

・質問時間(残りの時間): 質問対応の時間を設けていた点。

(3) 「暗記すべき点」と「理解すべき点」の明示。

【参考になったこと】

・上記の良かった点は、すべて参考になったが、特に、板書形式について勉強になった。いつも自分では、パワーポイントを使用しているので、必要に応じて板書も用いてみたいと思った。

・2年の基礎統計学の学習内容を理解したことで、翌年自分の担当する3年次「公衆衛生学」での「疫学」講義での課題が見つかり、大変参考になった。

清水先生 (機能形態学II ; B クラス)

プリントを使って、複雑な心筋の電位活動をわかりやすく説明していた。

1年次の復習も取り入れながらの講義で、私にとってはとても理解しやすい講義だったと負

います。板書も大きな文字で Key になるものを、表示できていたと思います。声も聞きやすく、講義に集中できる環境づくりができていたと思いました。

松原先生（微生物学 I ; A クラス）

○本日の講義の SBO が最初のスライドに明記されていた。講義の始めに、新規抗生物質「シユードウリジマイシン」が開発されたというトピックスを紹介し、学生の興味を惹いていた。講義開始後、しばらくしてから座席表を使用して出席確認を行い、無断で後方に移動した学生を座席表通りの席に戻していた。講義は、教科書を使用し、学生の理解度に合わせてゆっくりと進行していった。適宜スライドおよび板書での説明を交えて理解度の向上を図っていた。

○出席は電子カードだけでなく、座席表を用いた黙視による出席も行っているため、ピー逃げの学生はいないようであった。講義は教科書の読み込みを 30 分ほど行い、重要なポイントにマークさせていくものであった。その後、重要ポイントやイラストなどを挿入したスライドを明示しながら、説明（板書も併用）するスタイルであった。講義で書き写した資料や、マークされた教科書の内容は、復習の際に理解しやすいものになっていると思った。感染症問題など最近のトピックも取り入れられており、大学の座学で学んでいる知識が、現在の社会における問題を考えることができるように工夫されていた。学生も単に丸暗記すればよいという認識にならないのではないかと感じた。

藤井先生（分析化学 I ; B クラス）

酸・塩基平衡のなかで緩衝液についての概要を説明し、独自のプリントを用いた計算演習を組み入れて授業がなされた（406 教室）。プロジェクタ、マイク音量とも良好であった。パワーポイントを用いて丁寧にかつ、わかりやすく説明しており、要点資料を配布しながら適切に説明している点が参考になった。

原口先生（放射化学 ; B クラス）

パワーポイントで解説を行いながら、黒板に板書を行い、また適宜教科書を読むなど、学生の集中力を意識した授業で理解しやすかった。パワーポイントもまとまっており、非常に見やすく学生にとっても復習がしやすいと感じた。

(2) 参観者から見た学生の様子「2年」

井上先生（基礎統計学；Aクラス）

○基礎統計学という難しい内容であるが、多くの学生が井上先生の話聞き、板書をノートに写しており、授業にまじめに取り組んでいた。ただ、一番後ろの2名の学生は講義の始めから、ほとんど聞いておらず、寝ており、もったいないと感じた。

○遅刻(30分遅刻、女子学生：1名)、居眠り(女子学生：2名)、中途退出(トイレだったのかすぐに教室に戻ってきた、男子学生：2名)の学生がいたが、概ね学生は皆、真面目に集中して講義に取り組んでいた。後方からの授業参観だったので、はっきり確認出来なかったが、前方の学生は、疑問点を先生に直接質問しており、さらにコミュニケーションがとれていたように見えた。

清水先生（機能形態学Ⅱ；Bクラス）

数名を除き、熱心に受講できていると思えました。残念ながらことに、後ろの席ではスマートホンの操作をしていたり、講義には参加もしていない学生が散見されました。

前の方の学生は、寝たり、雑用をしたりしている学生はいないようでした。内容を理解できているかは別として、受講態度はよい学生が多い感じがしました。

また、机の上には飲み物がでている学生は講義に参加していない漢字を受け、飲み物を講義中に飲んだりしていました。飲み物とスマートホン・携帯は講義中は扱えない環境にするといいと思えました。

松原先生（微生物学Ⅰ；Aクラス）

○学生は終始講義に集中していた。これは、座席表通りに着席させたことが大いに影響していると思われる。

○Aクラスということもあったのか、学生は一生懸命教員の講義を聞いている様子であった。スライドや板書に書かれてなく、教員が話をしている内容に関しても、ノートに書き留めている学生が散見された。

藤井先生（分析化学Ⅰ；Bクラス）

演習問題に学生は真剣に取り組んでいた。携帯電話を使用している学生が見られたが、居眠りや私語はなかった。

原口先生（放射化学；Bクラス）

教科書忘れ等もなく、学生は開始時間にきちんと着席していた。後方の学生を含め、見える範囲のすべての学生が前を向いてしっかりと聞いており、良い授業態度であった。

(1) 感想 (良かった点・参考になったこと等) のご記入をお願いします。「3年」

安川先生 (物理化学Ⅲ ; B クラス)

講義内容は、小テスト (15分) 小テストの解説 (15分) 講義 (60分) の内容で行われた。全体を通して、丁寧な口調で、はっきりとゆっくり学生の理解度に合わせて話していたことが、非常に印象に残っている。また、小テストの解説も非常に丁寧な解説をしていたことが参考になった。講義に関しては、スライドを中心に進められた。使用されていたスライドは1ページ1ページコンパクトにまとまったスライドで、大きな図を用い、学生にわかりやすいように、ジェスチャーを含めて説明をしていた。

私の担当している講義 (基礎数学Ⅰ・Ⅱ・基礎統計学) では、あえてスライドを使用することなく講義を進めている。今回の講義をみて、基礎統計学ではスライドも併用して講義計画を考えても良いかもと思っている。

中原先生 (物理薬剤学 ; A クラス)

この講義では完全に座席が固定されており、4人1組のグループ番号が割り振られ、その座席表が講義開始前に、プロジェクタに投影されていた。座席は前方に固定されており、講義中に確認試験も実施されるため、集中して講義を聞く環境ができている。

講義はまず前回の講義内容を5分程度で復習した後、主にスライドを用いて講義された。スクリーンに投影されたグラフの曲線などを手で示しながら、ゆっくりした口調で、丁寧に授業を進められていた。スライドだけでなく、板書でも大きく図示しながら補足説明がなされていた。合間に演習とグループ学習を取り入れており、各自で問題を解いて、先生から解答を聞いた後、グループ内で話し合っていた。学生もスムーズに取り組めており、非常に参考になった。

小分子間に作用するファンデルワールス力とコロイド粒子間に作用するファンデルワールス力の違いといった、難しい物理化学的現象についても具体例を挙げて説明し、国家試験によく出題される問題や注意点を詳しく話すなど、学生に理解してほしいという熱意がとても伝わる講義であった。

渡邊先生 (環境衛生学Ⅱ ; A クラス)

授業は、板書を中心として進められ、適宜教室の学生に語りかけながら実施されていた。教室の後方から授業を参観させて頂きましたが、マイクの音量、話し方、進行速度、文字の大きさなど全てが適切であり極めて参考になりました。また、教科書のページ数を説明しながら講義が進められており、学生には分かり易くとても工夫された講義であったと思いました。個人的に、特に参考になったのが、話し方です。めりはりのある言い回しと優しい口調が好感を持たれるものと思います。この点に関しては、自分自身には無い物を感じました。今後は、自分の担当授業にも取り入れていきたいと思っています。

(同 AB 合同クラス)

講義の中で、反応のデモ実験を行い、結果を学生に回して、内容に対する興味と理解を深めることができると思いました。先生の声は大きく明瞭で、聞き取りやすい講義でした。黒板の板書も非常に大きな文字で書かれるため、講義室の後からでも見やすく、渡辺先生の文字の大きさを拝見して、これ位大きく書かなければならないのかと参考になりました。私も大きく書いているつもりでしたが、時々学生からもっと字を大きく書いてくれと言われ、これ以上は難しいと感じていましたが、これからは気をつけて書こうと思いました。ほぼ、教科書と参考プリントを用いて、板書しながら講義をすすめられるため、速度が適切で、重要なポイントを何度も繰り返しおっしゃるので、非常にわかりやすい授業だと思えました。私は、板書とPPTを併用していますが、PPT中心になりがちなので、板書中心の講義が学生にとって、理解しやすい授業であることがわかりました。

貴重な講義を拝聴させていただきありがとうございました。

戸田先生（食品衛生学 I ; A クラス）

板書を用いた講義であり、教科書を用いて重要なポイントを丁寧にわかりやすく講義されていました。

また、国家試験に出題される内容なども含めて講義されており、とても参考になりました。板書の字も大きく、一番後ろからでも見やすい文字でした。

配布プリントが全員に行きわたっているか確認されていました。

適宜、教室を巡回して学生の様子を確認されており、参考になりました。

村山先生（製剤学 ; B クラス）

講義のおわりにアンケートをとり、次回の講義で再度説明したり、小テストを行うことで理解を深めている点が非常に参考になりました。また、実際に使用されている製剤を学生に見せることで、イメージが付きやすくなると感じました。

クォーターにより、講義のスピードが速くなった分、学生の疑問点を早期に対処することや理解を深める工夫は重要であり、自身の講義に取り入れたいと思いました。

また、私自身、早口になる傾向があり、講義の話すスピード等もとても参考になりました。

(2) 参観者から見た学生の様子「3年」

安川先生（物理化学Ⅲ；Bクラス）

講義開始直後に小テストがあったため、休み時間も含めて、学生全員が過去の講義資料等を見て勉強をしていた。小テスト終了後も、各学生が問題の解答に関してのディスカッションをしていたことが、印象的である。また、講義中も多少寝てしまう学生もいたが、総じて講義の説明についていこうと熱心に聴講していた。小テスト・解説・講義の講義計画のバランスが非常にいいため、学生も集中力を落とすことなく、勉強に取り組むことができているのだと思う。

中原先生（物理薬剤学；Aクラス）

学生は皆、配付資料にメモを取りながら、集中して講義を聞いていた。グループ学習では、教科書などを見ながら、互いに教え合ったりしている様子であった。

渡邊先生（環境衛生学Ⅱ；Aクラス）

○Aクラスの授業ではあったからか否かは分からないが、後列の学生を含めて殆ど全ての学生は授業に集中しており、ノートを懸命に取っていた。ただ、後方のほんの一部ではあるが、あまりノートを取らず話をしている学生も見受けられた（2～3人程度。但し、授業の後半は講義に集中していた。）。自分自身の講義でも恐らくこのような学生についての状況を確認することは困難であると思われる（前方からだ状況の判断が極めて難しい）。何れにしても、全体的には、学生は熱心に授業を受講しており、申し分のない受講状況であったと思われる。

○後方に座っている学生の中には、教科書も出さず、ノートもとらず、ずっと座っているだけの学生もいました。私の授業でも同じですが、非常に学習意欲が低いと感じました。こんなに面白い授業なのに、もったいないと感じています。ABクラス合同授業で、いつもと異なる教室だったためだと思いますが、開始から10分頃までは、後方の学生が出たり入ったりして、ざわざわしていました。授業開始前に出て行って、戻ってこない学生が数名いたのではないかと思います。私の授業もBクラスの学生は、出席をとっただけで、授業を受けずにいなくなる学生が数名いると思っています。全体としては、後方の一部の学生を除けば、私語をする学生もほとんどおらず、学生は、熱心にノートを取り、先生の話聞き、教科書を見ていました。

戸田先生（食品衛生学Ⅰ；Aクラス）

私語もなく、ほとんどの学生が熱心に授業を聞いており、板書の内容をノートにメモしていました。教科書を持参していない学生が散見されました。教科書は持参しているが、先生がページ数を言っても開かない学生もいました。

村山先生（製剤学；Bクラス）

Bクラスであったが、寝ているものや私語等もなく、集中して聞いていた。

(1) 感想 (良かった点・参考になったこと等) のご記入をお願いします。「4年」

香月先生 (医療安全性学 ; B クラス)

臨床で使用される医薬品の写真を提示し、医療現場での教員自身の経験に基づく事例を紹介しながら、わかりやすく説明していた。スライドと配付資料を基に授業を進め、学生にとっても理解しやすい工夫がみられた。演習問題を解かせ、解説を交えて進めていた。学生も熱心に取り組んでおり、効果的であると感じた。

入倉先生 (臨床薬物動態学 ; A クラス)

講義開始数分前から板書をされており、席についている学生の半分ぐらいはノートに記入していました。中には入倉先生の板書が終わって携帯で、板書内容を写真に撮る学生もいました。スライドのみの講義ではなく、適宜板書で説明を加えながら実施されていたため、良かったと思います。

福田先生 (漢方概論 ; A クラス)

前回に行っている確認試験の解説を行い、要点を覚えさせているところ。漢方処方の解説は、スライドを用いながら教科書での確認を行っているため、教科書を見ることで処方の復習を行うことができる。各漢方処方を系統づけて教えているので分かりやすい。漢方処方を構成する生薬に関しても、ポイントを教えていることで生薬の知識も身につけることができる。

川野先生 (薬事関連法規 I ; A クラス)

講義の要点をパワーポイントにまとめて説明されていた。教科書と薬事衛生六法を併用して説明されていて、条文を読むことの重要性を伝えてあった。現場での経験談を踏まえた講義をされている点がわかりやすく良かった。講義終了後には、dysv07 に講義資料をアップしてあり、学生も復習しやすいようだ。

長島先生 (臨床分析化学 ; A クラス)

毎回、小テストを行っている様子で、その小テストに向けての講義が行われている様子だった。板書が去年同様にわかりやすく、色分けや国試対策を考慮して、システムティックにまとめられていたので、生物系の私でも容易に理解することが可能であった。先生の声も大きく、学生に刺激を与えられる解説を行っておられて、同じ形式の講義を行う私としては、今後の講義の参考になった。板書の講義は、学生が主体でノートに書きながらの講義であったので、居眠りする学生もおらず、皆が集中して、先生の「声」と「板書」に刺激されながら講義を受けている感じを見受けた。学生が飽きずに講義に参加している様子から、この「声」と「板書」は今後の講義に取り入れたいと思った。

(2) 参観者から見た学生の様子「4年」

香月先生（医療安全性学；Bクラス）

きわめて静粛な環境で、携帯などを操作するような学生もいなかった。ただし、授業開始 15 分後に女子学生 2 名、25 分後に男子学生 2 名が遅刻して入室した。

入倉先生（臨床薬物動態学；Aクラス）

授業開始数分前までは私語をしている学生が多く見受けられましたが、板書を開始するとノートを出して書き始める学生が多く見受けられました。講義が開始されると私語をしている学生はほとんどおらず、ノート記入とスライドの説明を聞いていました。板書を行っているため、携帯のシャッター音がたまになると、気になっている学生もいるようでした。

福田先生（漢方概論；Aクラス）

学生全体は、数名寝ているものいるが静かに講義を受講している。

また、数名の学生が遅れて教室に入ってきたがその後の受講態度は悪くなかった。

川野先生（薬事関連法規 I；Aクラス）

学生は静かに聴講しているが、居眠りしている学生が数名見受けられた。説明が少し早いところがあって、学生が戸惑っていることが、時々あった。

長島先生（臨床分析化学；Aクラス）

学生は前述したとおり、居眠りや私語をする学生はおらず、板書を写したり、先生の声を書き写すなど、集中している学生を多く見受けた。学生の理解度に沿った教え方だったので、学生も退屈せず、真剣に講義に取り組む姿勢が見受けられた。

平成 29 年度後半の教員相互授業参観の提出状況

学年	クラス	参観日	参観者名	講義名	講義担当者名	
1	1	AB 合同	2017/9/16	白谷 智宣	基礎生物学	都築 稔 清水 典史 香川 正太 濱村 賢吾
2	1	AB 合同	2017/9/25	松延 千春	基礎生物学	都築 稔 清水 典史 香川 正太 濱村 賢吾
3	1	AB 合同	2017/10/2	長島 史裕	基礎生物学	都築 稔 清水 典史 香川 正太 濱村 賢吾
4	1	A	2018/1/18	櫻田 司	機能形態学 I	清水 典史
5	1	B	2017/12/2	田畠 健治	機能形態学 I	清水 典史
6	1	B	2017/12/2	小松 生明	機能形態学 I	清水 典史
7	1	B	2017/12/7	小山 進	機能形態学 I	清水 典史
8	1	B	2017/12/9	岡崎 裕之	機能形態学 I	清水 典史
9	1	B	2017/12/14	エップ デニース	機能形態学 I	清水 典史
10	1	AB 合同	2017/12/4	有竹 浩介	機能形態学 I	清水 典史
11	1	B	2017/12/12	森永 紀	理論化学	中原 広道
12	1	B	2017/12/12	小川 鶴洋	理論化学	中原 広道
13	1	B	2017/12/18	門口 泰也	有機化学 II	白谷 智宣
14	1	A	2018/1/19	森内 宏志	英会話 II	エップ デニース
15	2	A	2017/10/18	中原 広道	無機化学	安川 圭司
16	2	B	2017/10/9	大渡 勝史	無機化学	安川 圭司
17	2	A	2017/10/2	小川 和加野	薬理学 II	小松 生明
18	2	漢方	2017/11/27	福田 直通	漢方薬効免疫学	城戸 克己
19	2	漢方	2017/12/4	森山 峰博	漢方薬効免疫学	城戸 克己
20	2	A	2017/12/4	古賀 貴之	環境衛生学 I	副田 二三夫
21	3	A	2017/12/9	三嶋 基弘	公衆衛生学	小武家 優子
22	3	A	2017/12/14	有森 和彦	公衆衛生学	小武家 優子
23	3	A	2017/12/14	松山 賢治	公衆衛生学	小武家 優子
24	3	B	2017/12/14	高口 寛子	公衆衛生学	小武家 優子
25	3	B	2017/12/14	古賀 多津子	公衆衛生学	小武家 優子
26	3	B	2017/10/10	松原 大	食品衛生学 II	戸田 晶久
27	3	B	2017/12/12	渡邊 和人	製剤学 II	村山 恵子
28	3	A	2017/11/7	荒牧 弘範	病態薬物治療学 IV	小山 進
29	3	A	2018/1/19	吉武 毅人	感染症治療学	森山 峰博
30	3	A	2017/10/5	濱村 賢吾	薬理学 IV	有竹 浩介
31	3	A	2017/10/9	横山 さゆり	有機化学 VI	門口 泰也
32	3	A	2017/10/13	増田 寿伸	有機化学 VI	門口 泰也
33	3	B	2017/10/23	長 普子	有機化学 VI	門口 泰也

(1) 感想 (良かった点・参考になったこと等) のご記入をお願いします。「1年」

都築先生、清水先生、香川先生、濱村先生 (基礎生物学 ; AB 合同クラス)

○グループワークを実施する際の事前準備がよく練られており、このようなグループ学習をあまり経験がないものもいるかと思うが、スムーズに導入できていた。コミュニケーションをとりながらディスカッションをしてゆけるように課題構成がされていて、学生も役割分担を決めながら楽しんで学習しているように感じられた。グループごとの人数も適切で、全員が相手の顔を見ながらできるようになっているのでやりやすいように思えた。

○その日のうちにコメントを書き返却するのは大変だが、シャトルカードを提出させるのは学生とのコミュニケーションがとれて良いと思った。you tube を利用し、視覚的に内容を理解させる工夫がされていた。

○学生にテーマを与え、それぞれのグループでSGDを行い、プロダクトを作成し、発表することになっており、対照講義は発表の時間であった。採点は全学生が行いルーブリックを用いて採点であった。採点に関して、一般的に発表側に加点することが多いが質問者側にも加点が加えられ、回数も2回に抑えられており、特定の学生のみにならないように配慮がされている点は、今後のSGD後の発表などの時に参考になった。質問者にも加点されるため、評価点を上げたいと思う学生にとっては良いルールであるし、質問も活発になるので良かったと思う。学年が上がっていくと、質問者加点ルールがどうなるか興味があります。

清水先生 (機能形態学 I ; A クラス)

機能形態学の「血液」に関する講義を参観した。

- ・パワーポイントと配布プリントを使用しながらの講義で、板書を加えての講義であった。
- ・パワーポイントは、表や図を折り込み、見やすいものであった。
- ・講義中の声の張り、大きさ、話の速度などいずれも適切であった。
- ・講義は、学生の理解度を確かめるように様子を見ながら実施していた。
- ・板書の字の大きさは適切で明瞭で、後部座席からでも十分読み取れるものであった。

以上より、学生に対し丁寧でわかりやすい工夫を心がけて講義をしているように感じた。

(同 B クラス)

○講義スライドを印刷したプリントを配布し、穴埋めを行っていた。プリントの記述を音読みし、重要な箇所を丁寧に説明していました。適宜、板書を交え、学生が集中力を切らないようにする工夫が見られた。板書は、大きく書かれており、とても見やすかった。講義内容は、他の講義の関連で、一年生はまだ詳しく習っていない箇所も含まれていたが、わかりやすく説明されていました。

また、問題演習用のプリントを配布し、その勉強法を説明し、学生が復習しやすいようにしていました。

○細胞の構造と興奮伝導に関する授業を参観しました。パワーポイントや板書や配布プリ

ント様々な媒体を併用しながら丁寧に進めていく授業でした。声の大きさもスピードとも丁度よく、聞き取りやすかったと思います。また、重要なところは配布プリントに穴埋めをさせながら、何度も強調して説明しており、わかりやすい授業でした。大変工夫されている授業だと思いました。

○レジメとスライドを組み合わせて、効率的な授業構成となっていた。レジメは書き込み式であるため、学生の進捗を確認しながら、丁寧に授業を進行させていた。板書も適宜行い、授業への情熱を感じた。重要箇所を特に強調するなど、メリハリの効いた授業の工夫がなされていた。

○プリント配布後、スライドと板書を併用しながら受容体や神経、筋肉等の説明を進めていた。図表の重要な点、特に覚えておくべき点については色分けして示されていたため、わかりやすかったと思う。後に続く科目の基礎になる内容であるため、そこを強調した説明がされていたため学生の真剣度が高かった。

○There was good use of the screen, especially since it is small and quite low in Room 403, but using it for the diagrams worked well. There was no writing on the screen other than what was on the handouts as well.

The handouts were detailed and easy to follow along. Students were writing on the handout, highlighting it, and writing in their notebooks. There were fill-in-the-blank areas where they students needed to listen and then write the answer. These answers were also written clearly on the board.

Dr. Shimizu speaks clearly and at an easy-to-understand pace. He clearly points out the necessary information, telling the students to "remember this point" or clarifying that they do not have to memorize all the terms in the diagrams.

I thought I could learn how to improve the learning in my classes by better use of handouts too.

(同 AB 合同クラス)

興奮性・抑制性神経伝達に関する説明に、動画を含むスライドや配付資料を用いてわかりやすく説明されていた。要点、或いは難しい点について、予め注意を喚起しているので、学生にとってメリハリが付きやすいようでした。

中原先生 (理論化学 ; B クラス)

○前回の復習とポイントの説明が明確であった。何が難しいのかを話した上での講義内容の説明は分かりやすい。理論化学で何を学ぶべきかが学生に伝わりやすい話し方、スピードであった。今、この時期にしか学ばないこと、ここで理解出来なかったら、次は CBT や国家試験対策の時だと学生に伝え、学生の講義への取り組み方、集中具合やモチベーションにつながるものだった。

○分子軌道の領域であり、一般的に学生にとって理解しづらい点が多いが、前回のまとめを

導入として入れており、理解を促していると考えられる。

スライドとハンドアウト主体の講義であるが、スライドも文章一辺倒なものではなくほとんどが図であり、より視覚的に学生の理解を促すようにしていると感じられた。

覚えておくべき点については、今後どのような点で重要かという点を教授しており案ずるべき点と考えて理解すべき点を明確にしていると感じられた。

白谷先生（有機化学Ⅱ；Bクラス）

最初に、「本日の授業のアウトライン」を示されていた。聞き手の学生にはその日の演題とポイントが端的に分かるよい方法だと思った。

前回までのまとめで今回のポイントとなる「S_N1 反応と S_N2 反応の違い」について、表を用いて丁寧に説明されていた。各項目の違いが、化学的な根拠に基づいて詳しく話されていたので、学生の記憶に残りやすい印象を受けた。

また、有機化学の本質にも関わる勉強法についても説明があった。今回の範囲では、原料であるハロゲン化アルキルやその反応を主体として、教科書ではまとめられているが、実際の有機化学の現場では、生成物がほしいのであって、生成物からみたまとめも今の時点で作成しはじめておくとよい。ノートを1冊用意して、例えばアルコールの合成方法のページを作っておいて、今回の反応をまず記載する。今後の授業でアルコールの合成についてでできた際に追加していく。3年の有機化学の授業が全て終わった段階でアルコールの合成法のまとめができていく。アルコール以外の官能基の構築方法についても同様にまとめる。国家試験やCBTの勉強にも役立つはずであるとの説明もされていた。よい勉強方法だと思った。

理論的な説明が一通り終わった後、問題演習で学生の理解度を確認されていた。重要点が明確になるように非常に丁寧に解説されていた。学生がなぜ間違った解答に誘導されるのか、心理的要因にも触れられていた。

エップ先生（英会話Ⅱ；Aクラス）

はっきりとした大きめの声で講義をされている。薬剤師と患者の会話を学生同士で行わせ、受動的でなく能動的な参加型のクラスになっている。学生が自分で考えて、会話を成立させる演習問題を講義中に行っている。英語の学習に大切な1) 読む、2) 書く、3) 聞く、4) 喋る、の要素がすべてクラスの中で勉強出来ている。

(2) 参観者から見た学生の様子「1年」

都築先生、清水先生、香川先生、濱村先生（基礎生物学；AB 合同クラス）

○課題の選択からグループ分け、自己紹介などグループワークを楽しんでいるようであり、SGD 後のプロダクトの出来も非常に期待が出来るものであった。講義を受けるだけでなく、このような形態は、学生の自主性と協調性を養い、学習に好影響を与えることが出来るのではと思われます。ありがとうございました。

○事前説明もきちんと聞き、グループワークも全体的には滞りなく進んでいる様子だった。

○学生も真剣に発表者のグループの講演を聴き、採点を行っていたように思う。全体的に私語もなく静かであった。グループに対しての質問も活発に手を挙げ質問を行っていた。質問者の加点ルールが有効に働いているものと考えられた。

清水先生（機能形態学 I；A クラス）

講義中は、私語や居眠りする学生は見当たらず、非常に静かに受講していた。多くの学生が、板書をノートに書き写したり、配布資料にマークを入れるなどしながら聴講していた。15 分の遅刻者 1 名いたが、静かに着席し受講していた。後部座席で 1 名の学生がスマホを操作していた。

（同 B クラス）

○B クラスであったが、各自が座席表通りに着席しており、整然とした雰囲気を保っていました。講義中も、ほとんどの学生が講義に集中しており、携帯電話などをいじっている学生も見受けられませんでした。

○生徒は全員、授業にまじめに取り組んでおり、板書した内容をワークシート形式の配布プリントに記載することに集中していました。また、講義終了後に演習問題を用いて知識を確認させることは、学生も達成感を感じるだろうと考えられました。

○授業中、私語をしている学生や眠っている学生はおらず、全員がしっかりと授業を聴いていた。

○53 名(+遅刻 1 名)の出席

403 教室で学生の人数に対して広い部屋であったが、前方の席に座り講義に真面目に取り組んでいた。プリントへの書き込みや色塗りに集中するあまり、スライドでここが大事、と示されているときにスライドを見ていない学生が見受けられたのが心配だった。

○It was interesting to see that the student responses are the same in other classes as in mine. The same students who were playing games on their phones, texting, sleeping, are doing so in my classes too.

The majority of the students were listening and taking notes, though.

This is a lecture style of class and note-taking is limited. There was only listening expected, and the students seemed to be listening.

I wondered if there could be more active learning activities incorporated in the class,

like some researching on their phones to find some details, like about the dopamine and Parkinson's, for example.

(同 AB 合同クラス)

厚生会館で行われていた講義であったが、後ろの席の学生まで比較的熱心に聴講し、また配付資料に書き込んでいる様子であった。

中原先生 (理論化学 ; B クラス)

○居眠りもなく、皆よく、手が動いていた。1つ1つの説明をとっても真剣に聞いている様子であった。座席を前から詰めている配置であり、前方スライドや先生の説明に集中している様子であった。

○おおよその学生は居眠りをするなどの態度は見られなかったため、講義を集中して聞いていると考えられる。しかし、数名講義開始以後に入室し、教員と学生の間を通り着席した学生もいた。この点に関しては、専ら学生の態度を改善させる必要があると感じた。

白谷先生 (有機化学Ⅱ ; B クラス)

途中から数人の学生は寝はじめたが、概ね熱心に受講していた。

エップ先生 (英会話Ⅱ ; A クラス)

受動的な講義でなく、“参加型”の講義のため、寝るような学生も無く、全員集中して考え続けているようで、良い雰囲気であった。学生同士の英語の会話の時は、まだ1年生でお互い知り合えてないせいか、照れたような表情で小声で会話を行っていた。

(1) 感想 (良かった点・参考になったこと等) のご記入をお願いします。「2年」

安川先生 (無機化学 ; A クラス)

講義と問題演習を交互に実施されていたので、理解しやすかったと感じました。講義は、パワーポイントではなく、事前に配布したプリントを基に、板書中心で行われていた。板書の文字も大きく、書くスピードもちょうど良かったので、学生はノートを取りやすかったと思います。パワーポイント資料を事前に学生に配布しておく、安心感から学生の集中力が低下する恐れがあるが、板書中心だと、常に集中しておかなければならず、学生の理解度向上に繋がると感じました。

(同 B クラス)

プロジェクターを利用しない講義形式を採用しており、学生はその分手元のプリントやテキストを集中してみているようだった。板書について、最後列からでも十分に見やすい大きな文字で書かれてあり、疲れにくく良いと感じた。情報量は少なくなるが、半面ずつ消しながら支障なく運用していた。また、マイクの音量も十分であると感じた。教科書も利用していたが、主に要点を絞ったプリントを中心に講義が進められていた。限られた時間で規定の進行度を達成するには、良い方法だと感じた。

小松先生（薬理学Ⅱ；Aクラス）

全般に非常に分かりやすい講義だった。パワーポイントではなく板書で行っている。プロジェクタで邪魔をされないため、黒板をフルに使える点と学生が手を動かさず速さで板書ができるのは良い。ただ、自分ではこの大学の黒板の上まで手が届かないので黒板の面積が1/3ぐらいは使えないかとも思う。教科書を学生に読ませようという意図が感じられた。教えた内容についての演習問題を解かせて確認するというスタイルを2セット行っていた。その場で問題を解かせるというのはこの大学の学生には良いかもしれないと思った。板書の文字が小さいわけではないが、最後列から見ると判読しづらい文字があった。これは決して小松先生のせいではなく、教室のつくりと設備の問題である。将来改装等を計画する場合、縦長の教室には黒板を投影するような設備を中間に設けることを検討して欲しい。

城戸先生（漢方薬効免疫学；漢方薬学科）

○前週の説明（陰陽など）を講義中に入れ各週の関連を保っている。中医学と漢方医学の違いを生薬の違いで示し、また生薬の確認試験を簡単に説明するなど、他の生薬学などを含む科目との連携を行っている。このことにより、上の学年になれば総合的に漢方の知識が身につくと思われる。人参、防己、細辛などよく使われる生薬の説明があり、細辛では腎毒性があるアリストロキア酸の説明などがあり、知識を幅広くする工夫が見られる。

○漢方薬学科の「漢方薬効免疫学」の講義に興味を持ったので、城戸先生の了解を得て授業参観した。スライド講義で、図や表を示して、学生に理解させようと努力されているのが感じられた。できるだけわかりやすい言葉使用して説明されていた。途中で最新の漢方系トピックスを紹介し、学生の気を引く上で非常に良いと思う。授業中の話し方や声の大きさには、学生がわかるように留意されていた。

副田先生（環境衛生学Ⅰ；Aクラス）

プリントの配布がありましたが、要点をしっかりと押さえたプリントで、しかも配置がとても見やすかったです。また、教科書では文章でしか書かれない検出反応の色調変化も、スライド中にカラーで実際の色を示していましたので、学生にとって視覚的に覚えやすい内容であったと思います。説明も強調すべきところ・覚えるべきところは繰り返す、ゆっくりしゃべるなど、この科目の肝を学生に認知してもらえらるための話し方が参考になりました。

(2) 参観者から見た学生の様子「2年」

安川先生（無機化学；Aクラス）

上述の理由で、居眠りの学生は見当たらなかった。また、スマートフォンを操作している学生もいなかったのので、講義に集中できていると感じました。

（同Bクラス）

プリントへの書き込みに集中できており、時々ページを戻って内容を再確認している様子も見られた。

小松先生（薬理学Ⅱ；Aクラス）

概ね真面目に聞いている。板書は書き写しているが、残念なことに教科書を読んでいる時に教科書を目で追っている学生はあまり見られなかった。後ろのほうの学生だったからかもしれない。自分もできるだけ教科書を使おうと努力しているところなのだが、もしかしたら、同じことが自分のクラスでも起こっているのかもしれない。

城戸先生（漢方薬効免疫学；漢方薬学科）

○時間で始まり、24人と少ないが、静かに講義を聴いていた。

○学生は、関心を持って授業を聞いていて私語などはなかった。授業時間が4限目ということもあり、後半は少し疲れている学生がいた。

副田先生（環境衛生学Ⅰ；Aクラス）

基本的に皆先生の板書やスライドを書き写す・しっかり先生の話の聞くといった、いわゆる真面目に授業を受けることを実践しており、私語等は見受けられませんでした。また、上述のように、学生は副田先生が強調する箇所がこの科目の肝だと認識しているためか、先生の強調した箇所のペンの動きがより活発になり、マークをつけるなどの所作も行っているようでした。

(1) 感想 (良かった点・参考になったこと等) のご記入をお願いします。「3年」

小武家先生 (公衆衛生学 ; A クラス)

○今回は特別な授業形態を参観させてもらった。国試にも良く出題されるオッズ比の計算関す講義であった。授業形態として、面白かったのは、学生を3グループに分け、まずは問題を各自で解かせ、ある程度時間が来たら、グループでのディスカッションを促す。意見が集約したのを見て、それぞれの代表者が板書し、プレゼンテーションをさせる。最後には、先生によるまとめの解説があり、より一層の理解度を上げる工夫がなされていた。計算問題に対して、このような方法を取ると、理解度も上がり、記憶にも残りやすいと感じた。なかなかユニークな授業であり、わたしの講義でも取り入れられるか、検討してみたい。

○感染症とその予防について、教科書に沿ってではあるが、重要ポイントにラインを引いて、学生にどこが重要であるかわかるように講義されていた。また教科書にはない最新の情報についても資料を追加して話されていた。余った時間に国家試験問題について、講義の復習として解説を加えられていたので、学生は理解をより深めたのではないと思われる。

○まず最初に本日の講義とシラバスの対応を明確にした後に、国家試験問題をプレテストして授業のポイント在学生に周知させる点は良い。その後到達目標を示しながら授業にはいるなど考えられた構成になっている。教科書をUSB化したものをパワポで講義するかたちになり、学生の使用している教科書を重視した構成で、重要な個所にはマーカーが入っているなど、試験時を含めて教科書の要点を明確にした点が斬新である。

ただ、パワポが少し小さいのが難点で、随時、拡大するなどの措置が望まれる。授業の後半は、冒頭のプレテストを再度、確認テストとして解説する講義方法は良い。最終学年になって、この国家試験問題を印象的に記憶しているだろう。

学生の学修を中心に良く考えられた授業でA評価です。

(同 B クラス)

○学習内容を初めに提示されることで、学生がその日の授業のポイントを把握しやすい工夫が行われていたと感じました。また、その日の講義内容に関連した国家試験問題を授業の初めに紹介し、講義後にその日の講義内容を含めて解説を行う方法は、学生自身が習熟度を確認出来るため良いと思いました。

○講義会場：本館3階、310講義室。本日の講義は、公衆衛生学 第8回目でした。

本日は、急をお願いを致しましたのに快く授業参観をさせて頂きましてありがとうございます。また“授業資料”や“教科書のコピー”までご用意して頂き、御礼申し上げます。今日は感染症と予防についての授業でした。9時になるとすぐに授業がはじまりまして、今日の授業目標を話し終わるとプレテストの解説が始まりしっかり先生の話聞いていないとついていけないような勢いがありました。学生も先生の指示に合わせてペンを持ちかえてマークしていて、いい緊張感であると思いました。公衆衛生は薬剤師の業務にも直結しておりますので、授業で丁寧にポイントを押さえて教えて頂けると国試だけでなく仕事に就いてからもきっと役に立つことと思います。

基本的なことを整理して正確に暗記し記憶することがアウトプットに大事であるからと、感染の成り立ち、病態、使用する薬、出てくる用語等、何を知らないといけないのかについて、ゆっくりと解説されていました。私も心がけたいと思いました。常に情報を更新されておられ、小武家先生らしい語り口の講義で、楽しい時間でした。本日は、誠にありがとうございました。

戸田先生（食品衛生学Ⅱ；Bクラス）

講義スライドを事前に学生に提示して事前学習を促していた。講義の初めに該当する教科書のページを提示していた。後方座席の学生に対して、前方に移動するように指示を出して、学習参加を促していた。教科書とスライドの内容を説明して確認することで、より理解を深めるようにしていた。重要ポイントを示し、試験などで求められることを具体的に示していた。以上、学生に対する配慮がいたるところに工夫がなされており、参考になった。

村山先生（製剤学Ⅱ；Bクラス）

PowerPoint および板書を併用した講義であった。講義は選択的な薬物送達についての内容でBクラスの学生に対してであったが、内容がきれいに整理されており、話すスピードや口調、話し方など学生の理解度を確認しながらの分かりやすい講義であった。講義内容の中で重要な点などは、学生に指摘しながら進められていた。また、最後列で聴講したが、板書の文字の大きさや図示の内容も理解しやすいように配慮されていた。

講義全体を通して学生目線での講義が行われており、理解しやすい講義であった。

小山先生（病態薬物治療学Ⅳ；Aクラス）

前回の確認試験を講義前に実施していたこと。講義のレジメをプリントして渡していたこと。講義のスライドを使って、説明し、最後に、レジメに戻って要点を確認していること。話す口調、スピードも聞きやすい。スライドで示した個所を、PCのカーソルで示していたが、後ろからは見づらいので、ポインターなどの工夫が必要だと思います。

森山先生（感染症治療学；Aクラス）

講義開始時、学生は着席済みであった。講義の声の大きさ・速さは適切であった。学生の理解を助ける工夫として、様々な取り組みを行っていた。授業用のテキストを印刷して配布し、それに基づいて授業を行っていた。テキストには最新の治療ガイドラインが盛り込まれており、最新の知見を教えていた。学生達も、テキストに記入したり、マークを付けていた。

有竹先生（薬理学Ⅳ；Aクラス）

配布資料が分かりやすく、スライドと連動させ、不足分は板書をしていた点が良かったと

思います。病態や生物等、他の科目とのつながりを説明されていた点は参考になりました。話すスピードが程よかったです。309 講義室のワイヤレスマイクでは、前方は問題ないと思いますが、後方の学生はエアコンや換気扇の音で聞こえづらそうな学生も見受けられました。

門口先生（有機化学Ⅵ；A クラス）

○授業の初めに、前回の内容を復習していたので、学生にとっては学習の振り返りが出来て非常に良いと思う。パワーポイントは使用していないが、板書がゆっくりなので、学生にとっては板書だけに手一杯にならず、どこの部分を説明しているのかがわかりやすい。板書の文字が大きく、講義室後方までしっかりと読み取れる。説明の後に例題を出して、暗記するのではなく、理解させて記憶させるように説明していた。さらに、以前の反応とリンクさせながら、比較して記憶できるように工夫していた。

○講義開始のチャイムが鳴ると、先ず、教科書（ソロモンⅡ）ページを言いながら前回までの講義内容の確認が行われた。学生は該当する教科書ページをめくり、チェックしていた。芳香族第一級アミンのジアゾ化の項では、つい先日化学系実習で行った確認試験のことを思い出させ、この反応が呈色試験として利用されていることを、またスルホン酸とアミンとの反応では構造式を板書しながら、酸性の強さまでさかのぼって、本当に丁寧に説明されていた、構造式も黒板に大きく書いてあり、学生はこれを書き写していた。ホフマン脱離の説明では、1年次で学んだハロゲン化アルキルの脱離反応と比較され、反応の違いを理解できたと思う。基本的に板書しながらの講義進行で、学生はこれを書き写すことにより、化学構造式に慣れていく気がした。また、説明の声も明瞭であり、加えて関西弁のアクセントもあって、講義進行はメリハリがあった。

（同 B クラス）

講義の始めに前回の講義内容をふりかえって、学生の記憶をよみがえらせておられた。スライドは使わず板書による説明であったが、最後尾の席からでも見えるよう構造式や文字も大きく書かれており、スピードも適切でノートが取りやすいようで学生はほとんどがノートを取っていた。いくつかの反応についての説明では、（すでに授業で行った）何ページに詳細が記載されているかを黒板に逐次書かれ、とてもいねいな誘導をされていた。学生が理解しているかどうか時々確認しながら講義をすすめておられた。自習用の問題を配布されており、随所に工夫がみられた。

上記のように参考になる点が多々あったので、私の講義にも活かしたいと思っている。

（2）参観者から見た学生の様子「3年」

小武家先生（公衆衛生学；Aクラス）

○講義時間をフルに活用しており、先生も教室を不定期的に回っており、学生は講義に集中していた。3グループに分かれて、グループディスカッションをするはずだが、なかなか慣れていないこともあり、討論に加われない学生が少なからずいた。もっと、1・2年生の時にSGDを経験させることが大切かも知れない。

○学生は真剣に講義を聴いているようであった。教科書には小武家先生が重要ポイントに示された箇所にラインを引き、勉強していた。

○遅刻する者もなく、まじめな授業態度でした。ただ終盤にかけて居眠り学生が3名いたのは残念である。

（同Bクラス）

○学生は、スライドに示されているポイントを教科書に書き込むなど真剣に授業に取り組んでいました。1時間目だからか、授業に遅れてくる学生が5、6名ほどいました。

○9時ぎりぎりに数名の学生が教室に入ってきて着席しておりました。

低学年とは異なり私語をすることなく、すぐ授業態勢にはいり問題ありませんでした。

9時5分にふたり、9時10分にふたり、9時15分にひとり、遅刻して参りました。

何れも私語はありませんでしたが、授業は教科書の説明のところまで進んでおり着席してもすぐに授業には入れませんのもったいない気が致しました。

後方から3列までに3名学生が着席しておりましたが、一人は最後まで真剣に授業に参加しておりましたが、二人は途中から本を開いたまま終わりまで寝ていました。

学生は、教室の前方から後方までまんべんなく着席しており、でもどっぷり机に寝てるような学生はいなくて、大体が緊張感を持って真剣に授業に参加していました。

戸田先生（食品衛生学Ⅱ；Bクラス）

Bクラスということもあり、進行が比較的ゆっくりしたペースであったので、ほとんどの学生は真剣に受講していた。また、講義に参加できるように、先生自ら教室内を移動して、教科書やプリントの場所を提示していたので、理解しやすい様子であった。

村山先生（製剤学Ⅱ；Bクラス）

遅刻の学生がかなりいたが、聴講態度は大部分の学生が集中しているようであった。講義時間を通して眠っている学生はほとんどいなかった。

小山先生（病態薬物治療学Ⅳ；Aクラス）

Aクラスで、皆静かに聴講していた。レジメなどを配布していて、それに書き込む作業もあり、携帯など使っている学生もいなかった。

森山先生（感染症治療学；Aクラス）

Aクラスということもあるのか、講義中のスマートフォン使用者はなく、静かに受講していた。講義中居眠りをしている学生は見当たらなかった。皆、テキストを持参しており、教員の話す内容を熱心に記入していた。

有竹先生（薬理学Ⅳ；Aクラス）

問題を解く時間は、きちんと解いているように見受けられました。薬理学という薬剤師免許取得の上で必須の講義のためか、学生はおおむね真面目に講義を受けている印象を持ちました。Aクラスだったからか非常にまじめな学生が多く、講義終了後に質問に複数人が来ておりました。

門口先生（有機化学Ⅵ；Aクラス）

○3名ほど、授業中に出入りをしていたが、概ね集中して授業を聞いていた。授業の途中から、後方の学生が2～3名ほど寝ている学生も見受けられた。

○板書しながらの講義進行で、学生は目、耳、手を使って受講していた。そのため講義室は静かで、無駄話をする姿もなかった。

（同Bクラス）

補講ということで受講者が少なかったが、出席している学生はしっかり聴いており、ノートもきちんととっていた。（すでに合格している一部の学生は参加していないとのことである）また授業中の雰囲気も良かった。

平成 29 年度 一斉参観形式 教員相互授業参観感想

① A クラス 2 年生 3 期 微生物学Ⅱ 小川和加野

参観者 44 名 (五十音順)

飯塚 晃	小武家 優子	福田 直通
池谷 幸信	小山 進	増田 寿伸
井上 寛	櫻田 司	松延 千春
入倉 充	清水 典史	松原 大
大光 正男	白谷 智宣	松山 賢治
大渡 勝史	副田 二三夫	三嶋 基弘
岡崎 裕之	田嶋 健治	村山 恵子
香川 正太	長 普子	森内 宏志
香月 正明	椿 友梨	森永 紀
城戸 克己	戸田 晶久	森山 峰博
窪田 敏夫	中原 広道	門口 泰也
高口 寛子	長島 史裕	安川 圭司
高露 恵理子	濱村 賢吾	横山 さゆり
古賀 貴之	原口 浩一	渡邊 和人
古賀 多津子	廣村 信	

② B クラス 2 年生 2 期 物理化学Ⅰ 田嶋健治

参観者 46 名 (五十音順)

荒牧 弘範	高露 恵理子	福田 直通
有竹 浩介	古賀 貴之	藤井 由希子
有森 和彦	古賀 多津子	増田 寿伸
飯塚 晃	小武家 優子	松延 千春
池谷 幸信	小松 生明	松原 大
井上 寛	小山 進	松山 賢治
入倉 充	櫻田 司	三嶋 基弘
大光 正男	清水 典史	森内 宏志
大渡 勝史	長 普子	森永 紀
小川 鶴洋	椿 友梨	森山 峰博
小川 和加野	戸田 晶久	門口 泰也
香川 正太	中原 広道	安川 圭司
香月 正明	長島 史裕	横山 さゆり
城戸 克己	濱村 賢吾	渡邊 和人
窪田 敏夫	原口 浩一	
高口 寛子	廣村 信	

(1) 感想(良かった点・参考になったこと等)のご記入をお願いします。

① Aクラス 2年生3期 微生物学Ⅱ

○微生物学Ⅱを受講した。毎回の小テストで、講義内容を確認させていた。理解を意識した講義内容でとても参考になった。歯切れもよく、学生に質問しながらの講義で、寝たりする時間を与えない、内容の濃い講義だと思う。ポイントも的確であり、学生にもわかりやすい講義だったと思う。すべてパワーポイントを使っただけの講義であったが、学生に渡すプリントの要所要所に書き込みをさせるスペースを作ったりして、工夫が見られた。この方式は今後、私の講義資料にも利用させてもらおうと思った。ウイルスに関する講義内容であった。私自身もウイルスに関する研究を10年以上していたが勘違いをしていたことなど、新たに認識したことがあり、受講してよかったと思う。

○前回の授業内容の確認として、授業の初めに10分間の確認小テストが行われ、受講生が重要事項を小テストで確認するという工夫がなされていた。講義の中で、学生が覚えなければならない事項については、「しっかり覚えて下さい」と、重要事項は「重要」「覚えなければならない」「試験に出る」のコメントを付けられ、学生が覚えなければならない事については、優先順位をつけていた。また、スライド内容の重要度に応じて、スライドの中に星印の数を変えられ(2~3個)ていたのが印象的で、私も利用しようと思います。授業が進み、受講生に飽きが出始めたところに休憩時間を取り、学生が常に集中できる工夫がされていた。重要事項の説明では、例(菌は熱に弱いことの例として、爆弾型の細菌爆弾はうまくいかなかった。乳幼児にハチミツが危険なことの原因として、ボツリヌス菌による筋弛緩がおこる)を上げ、学生に印象が残る努力がされていた。見習うべき点であった。

○講義は、最初5~10分は小テストで、前回の講義の内容を学生に復習させていた。その後、配布資料に基づき、プロジェクターメインの講義であった。講義に関しては、スライドごとに重要度がはっきりわかるように工夫されていたことが印象的である。そのために、学生は非常に講義を受けやすく、見やすいのではないかと感じた。また、確認事項に関して、積極的に学生に質問し、重要なところを再確認していたことも印象に残った。大事なポイントとあまり大事でないポイントの説明に、強弱があり、非常に参考になった。

○開始時に小テストの実施。スライドを替える際に注意喚起し、学生に確認する。スライドに★が記載されており重要度が星の数でわかる。重要な語句をくり返し述べる。時々学生に個別に問いかける。スライドに問題をはさみ学生を退屈させない。途中で小休憩を設けリフレッシュ。ボツリヌス毒素の医療や美容領域での利用性を例示し、学生の理解を助ける。全体としてとてもわかりやすい授業であった。

○小テストで前回の確認をされていた点。スライドに星マークをつけて重要度の違いがわかり参考になった。途中で休憩タイムを設けてメリハリをつけていくことは良いことだと感じた。

○前回講義分の復習プリントを用意してあった。個人的にもプリントや口頭での確認など、前回分を振り返ることは必ずやるべきだと考えており、参考になった。はっきりとした聞きやすい発声で講義されており、傾聴しなくても自然に聞き取れるため聞き疲れしにくいと感じた。暗記すべき単語が多い内容だったが、講義の進度を確保するため、特段解説の必要がない部分はきっぱりと解説せず省略し学生に調べさせるやり方は、効率が向上し、良いと感じた。プリントを穴抜きにし、用語を書き取らせることで授業に集中する仕組みを作っていると感じた。この書き取りが発生することで全体的に進行が速いとも感じたが、学生にゆったりする時間を与えないことで良い緊張感が生まれていると感じた。代わりに途中で5分の休憩を入れられており、この形式の方が効率が良いと感じた。

○前講義の復習に小テスト(記述式)を実施し、採点上重要な点を強調することで講義ごとの学生の理解の助けとなっていた。スライドと板書の併用で講義は進められていたが、重要項目の記入や色変えなど、手を動かす作業も加える配慮がなされていた。スライドも見やすく作られていた。

○最も参考になったのは、「重要なワードを繰り返す」ことであった。国家試験や定期試験に重要なワードを先生から何度も耳にすることで、注意しながら講義を聴くことができているのは、その環境をうまく作っている先生のご尽力であると思い、今後の講義に生かしていきたいと思った。また、スライドの進捗を学生に確認しながら時間調整できていたことも参考になった。これを行うことで、学生一人一人が講義内容に遅れることなく付いていくことができている。途中休憩を入れ、学生のリフレッシュを図っていたことも良かったと思う。学生の集中力がなくなりかけていることを察知し、うまく休憩をはさんでいることで、学生の気分の切り替えがスムーズにできていたと思う。

○常に学生の状況を確認して、スライドの説明、板書、説明を行っていたので学生はついていけないということはないと思います。また、最初にテストを実施し、授業の最後に解説を行っていたので復習もできているのではないかと思います。授業の進行はかなりゆっくりでひとつひとつ確実に学習をしているという印象でした。講義中は学生のテストの進捗、質問を出して解答させるなど、講義室を歩いて見回りされていたので、よい緊張感を与えてことが出来ているのだと思います。

○情報量を絞っており進行がゆっくりで、スライド、黒板、教科書を使用し講義もスムーズに進行されている。確認問題を記述として考えさせる力が養える。402教室を使用していたが、学生の座席位置によっては、黒板やスライドの文字が見づらい位置があるようであった。

○配布したプリントに重要度に応じた★の数がつけてあり、どこに気を付けて講義を聞けばいいか学生が分かりやすい工夫がしてあった。話し方はゆっくりで、大事なところは繰り返し（2回）伝えることで、重要なところが分かりやすかった。

○授業の初めに小テストを行い、前回の授業の振り返りをさせた後、授業を開始している点が参考になりました。ポイントを押さえて学ぶという意識を持たせるのに役立っていると思いました。また、大事なところを繰り返し説明し、覚えて欲しい点を繰り返し書かせていたため、学生がポイントをつかみやすいと感じました。

○下記の点が非常に参考になりました。小テストに記述を行っていたが、書かなければならないポイントを示している点。授業内容だけでなく、その菌由来の話題になった病気などを話しており、学生に様々な角度から講義を行っている点。

○授業開始前に小テストを配布していたが、その問題の形式が「～を説明しなさい」という論述式の設問でした。さらに、その後に論述問題を解答する際の注意点や採点ポイントの解説をなさっていました。私自身、過去に論述式の問題を極端に不得手としている学生を多数見受けておりましたので、日頃の小テストにて論述式の問題に取り組ませたり、その解答作成の際のコツや注意点を刷り込ませたりするのはとても有用だと思いました。また、「(単なるプリントの模写となっているレポートに対して)手の体操ではないものはいらぬ、意味がない」などと厳しい言葉をかけて諫めているのも良かったと思います。次のスライドに移る際などには、スライドを変える旨をその都度アナウンスしていたのが、わかりやすかったです。

○講義会場：本館4階、402講義室。本日授業参観は、微生物学Ⅱでした。本日は、先生の貴重な授業を参観させて頂きましてありがとうございました。また、緊張もされたと思います。大変お疲れ様でした。

良かった点：

微生物学は覚えることがもりだくさんではありますが、先生の授業スライドと説明は、大事な所を示しながら進められており、またゆっくりとはっきりした口調は聞き取りやすくとてもわかりやすい授業でした。次に進むときも、どの学生にわかるように丁寧に

声掛けをしたり間を取ったり、気配りされてありました。授業開始のテストも点数だけでなく、今日は良く書けているなど褒めてあったので次回はもっと頑張っ勉強するだろうなと感じました。

参考になった点：

スライドに記述問題の書き方について6項目しめしてありました。報告書、レポートが書けないまま5年になり、実務実習で日誌が記載できない学生がいます。低学年のころから6項目をきちんと守って書く習慣が出来ればよいなと参考にしようと思いました。本日は、誠にありがとうございました。お疲れ様でございました。

○【良かった点】

(1)小テスト

- ・アウトプットの練習をしていた点。
- ・記述問題で得点を稼ぐコツについて教授していた点。
- ・講義終了前に、小テストの答え合わせをして、フィードバックしていた点。

(2)板書とスライドの併用

- ・板書では、スライドにない図を示して、比較対照していた点。
- ・スライドでは、星(★)の数で、重要度を視覚的に示していた点。またスライドでは、写真やイラストなど多用し、視覚的に分かりやすい工夫がなされていた点。

(3)「覚えるべき点」のポイントの明示。

- ・感染症の分類など、覚えるべき点のポイントを明示していた点。

(4)具体例や最新のニュース等のトピックスの提供

具体例や最新のニュース等のトピックスを提供して、学生の理解を深めていた点。

【参考になったこと】

・小テストの実施、板書とスライドの併用、「覚えるべき点」のポイントの明示、トピックスの提供について、いずれも大変参考になりました。私の担当する3年4期での「公衆衛生学」の「感染症」の講義との連続性が分かり、講義準備の参考になりました。

○教科書とポイントを示したスライドを組み合わせて、効率的な授業構成となっていた。学生の進度を確認しながら、丁寧に授業を進行させていた。「語りかける」感じの口調が、大変聞き取り易かった。間違いやすい箇所を特に強調するなど、メリハリの効いた授業の工夫がなされていた。

○講義冒頭に13分程度の小テストで始まり、講義はプリント、教科書、パワーポイントを用い、板書による説明も加えていた。このようにいろいろなツールを講義の中に用いることは、90分間講義を受ける学生にとって飽きを感じることなく受講できるものと感じた。講義中の声の大きさ、口調、板書の字のサイズについては適切なものであった。

講義中、学生への問い掛けも時折見られ、適度な緊張感をもたせるよう配慮していると感じた。パワーポイントスライドは学生側の目線で作成され明瞭でわかりやすくまとめていた。講義のポイントとなる部分はしっかりと伝えた中で、少々の余談を交え学生の注意を引きつけていた。最後の小テストの解答・解説もパワーポイントスライドで丁寧な説明を加えていた。本講義では、学生にとっては中間試験に向けてすべきことが明確となり、やる気を促すに十分であったと感じた。板書に関しては、講義室が縦長い構造のせいか、後方座席からは暗く見えにくいようであったが、黒板側のライトを点けることにより解消できるものと思われる。

○講義開始時に小テストにより前回講義の理解度を確認させていた。また、小テストは記述式であり、記述問題の記述法（コツ）も伝えていた。スライドを進めるときは、常に学生にそのことを伝え、学生に心の準備をさせていた。特に重要なポイントは、配布資料に書き加えられるように空白を設けていた。適宜、学生と対話することで、講義全体の緊張を保っていた。

○常に学生の状況を把握しながら講義を進められているところは大変参考になりました。自分としては十分気にかけていたつもりですが、例えば、スライドを送る際に学生に次に行くよと声をかけたり、板書を消す際にも学生に消してよいか確認して、時間をとるなど、自分はいそこまで徹底していないので大変参考になりました。ありがとうございました。

スライドの構成も重要なところは星の数で視覚的にわかりやすくしてあり、学生目線にたった資料になっているところは自分もぜひ取り入れさせていただきたいと思います。先生の授業を拝見させていただき、いかに自分の講義が独りよがりであったことがわかりました。大変勉強させていただきました。ありがとうございました。

○スライドに星（☆）がつけてあり、重要度が高いものほど、☆を多くしていた点。スライドを次に進める時、学生に伝えていた点。学生に適宜質問をしており、説明の際も語りかけるように優しく話していた点。強調したい事項は、学生に呼びかけて何度もスライドを見せていた点。重要度が低い事項は、簡単に触れる程度にしており、メリハリをつけていた点。学生の様子を見ながら、適宜対応していた点（例えば、メモをとっている間、説明を休止する。学生が疲れた様子であれば、休憩をとるなど）。

○パワーポイントを用いて講義を行っているが、スライドのプリントを学生に配布し、重要な個所を記入させることで、学生の意識が散漫にならないように工夫されていた。用いたスライドも、適当な情報量で見やすく、重要度が星印で示されており、理解しやすいものであった。講義中も学生への質問を適宜入れたりするなど、学生とのコミュニケ

ーションを取りながら講義を進める手法は、今後自分が講義をする上で参考になった。

○スライドの内容がすっきりとしているため、見やすく解かりやすい。またスライドには重要度を星印（★印）の数で示しておられ、分かりやすかった。講義のはじめに約 10 分間の小テストを行い（採点などはしないで）、先生が最後に答えを説明しながら示されていたが、工夫されておりこれは効果的であると思った。声の大きさ、説明のスピードも適切で、ゆったり落ち着いていくことができた。学生の理解度も対話しながらチェックされており、参考になった。最初に出ていたスライドは記述問題の対応として、“どうすれば点数を稼げるか”の「コツ」を示して下さっており興味深く見させていただいた。

○全体的に分かりやすい授業だった。とても見やすいスライドだった。スライドの右上に★★★が示されており、重要度が分かって、めりはり付けて勉強しやすいなど思った。また、小テストの解説も、記述の採点ポイント等を細かく指導されており、試験勉強しやすい工夫がされていた。進度も比較的ゆっくりめで、理解しやすいはやさだったと思う。大切なことを複数回繰り返して言うなど、頭に入ってきてやすい授業だなど思った。

○授業の内容に入る前に資料プリント（B4（裏表刷り）、8枚）を配布し、始めに本日の講義内容に対する適切な導入的な話をしていた。次いで、小テスト（B5、1枚）を実施し、授業の最後にその詳細な解説が行われた。授業は、パワーポイントを用いて進められ、適宜教室の学生に語りかけながら実施されていた。教室の後方から授業を参観させて頂きましたが、マイクの音量、話し方、進行速度など全てが適切でありとても参考になりました。特に話し方はテンポ良く、学生には分り易く工夫された講義であったと思いました。個人的に、特に参考になったのが、この話し方です。学生に対する厳しさと優しさが同時に伝わる話し方であったと思います。この点に関しては、自分自身には無い物を感じました。今後は、自分の授業にも努力して取り入れていきたいと思います。また、自分の講義でも既に取り入れていますが、小テストの実施は、学生の学習意欲・効率の向上に有効な手段となっていると思います。

※この教科を参観させて教務的に良かったこととして、自分の担当教科との関連性（重複している項目やその他の関連性項目など）を確認できたことが良かったと思います。

○基本的にパワーポイントで授業をされていたが、スライド毎に重要度を示していたので、学生にとっては復習しやすいと感じた。また、滑舌よく、繰り返し話されていたので、トークの内容が聞き取りやすかった。最近の事例を随所に取り入れながら、講義を進行されていたので、記憶に残りやすいと感じた。講義が1時間経過したところで、5分弱の休憩時間を設定されていた点も、非常に良いと思った。

○パワーポイントを使って講義は、速くなりがちですが、学生がプリントに書き込む時間に余裕をもたせて講義をされていたのは、見習うべきだと思いました。つつい講義のパワーポイントなどで講義をすると、つつい早くなりスライドの送りも早くなるので自身の講義でも注意したいと思います。また、講義の途中で空き時間を作り学生に一息入れさせるのも、学生に集中させる意味でも良い時間だと思います。また、大事なところは繰り返し話をして、学生に注意を向けさせ、パワーポイント中にも大事な箇所は星マークで重要度を示された所は、講義に取り入れたいところでした。

○講義はじめに話をやめるよう何度も指示していた点は見習いたいと感じました。配布資料が分かりやすく、スライドと連動させ、不足分は板書をしていた点良かったと思います。講義はじめに小テストをしており、記述方式で採点基準まで細かく解説をされており参考になりました。病態や薬理等、他の科目とのつながりを説明されていた点は参考になりました。話すスピードが程よく、スライドを移る際は必ず次に行く旨を伝えており親切だと思いました。

○トキソプラズマ感染症に関して、スライドを用いての講義であった。スライドを用いてポイントを解説しており、Aクラスの学生を意識した授業であった。スライドの内容は座席の中間の位置にある中間モニターでも見ることができてよかった。授業の内容は専門外であるが、スライドの纏め方が工夫された授業で参考になった。

○講義の最初の10分間を利用して記述式の復習テストを行っていた。その際、記述での解答方法のポイントも説明し、学生がどのようなポイントを記載すれば良いかアドバイスしながら進めていたことは良かったと思う。また、その答え合わせを、講義の最後10分ほどで行い、何が書けていれば良いか、具体的に説明されていたので、学生も問題の解き方だけでなく、理解（覚える？）していくポイントが把握しやすかったのではないかなと思う。スライド+教科書での講義であったが、スライドの項目で重要な内容には星印（三ツ星制度）をつけてあり、学生も復習の際、どの内容（項目）が特に重要なのかわかりやすくなっていた。

○第一薬科大学の学生が覚えにくい科目の1つなので、どのように教えるのか興味がありました。良かった点などを以下に箇条書きにします。

- ・小テストで確認しながら授業を進めるので、学生は時間把握をしやすい。
- ・はっきり話し、重要なところは繰り返すので内容を把握しやすい。
- ・プリントに書き込む必要があるのも、しっかり聞いていないと書き込むことができないので居眠りの学生がいな。

- ・レポートの書き方をただ写すだけではだめで、理解がなぜ重要かを考えさせている。
- ・学生が覚えやすいように様々な工夫をしているなど参考になりました。

○講義開始に小テスト (B5 一枚) が行われた。前回の講義内容の確認で、文章問題であった、ここで文章問題の解答方法がスライドで再度確認される。たとえば、1) 何を問われているのか? 2) 主語を必ず確認する。3) 解答文章は簡潔に... など。記述式の問題に対しての重要な観点を何度も指示している様である。このように、何度も学生へ提示することにより、評価者が読める、そして学生が理解して解答しているかどうかを評価されている。この小テストを通して、考えて解答する学修習慣を身に付けることができるものと感心した。その後、印刷された資料 (B4 白黒両面印刷 8 枚) をもとに講義が開始されたが、カラースライドとのギャップを感じた。また、講義中、教科書 (シンプル微生物学) が登場しなかった。教科書は使用されていないのだろうか?

講義スライドを変えるとき、学生の様子を見ながら“次のスライドに変わります”と確認しながら操作されているのは良かった。また、重要なところに☆マークで強調してあるのは工夫があると感じた。

講義終了後、小テストの解説があった。記述問題ということで、解説文字が並んでいたが、少し見づらい気がした。講義前半と後半でレポートの提出もあるようである。

○記述式の小テストを実施し、記述式で得点につながる書き方を示したり、授業の最後にどうということが記載されていれば得点になるのかを示したりと学生が記述式に慣れる工夫がされていた。スライドが次に移る際には「スライド変えます」と言われていたので、話の切り替わりがわかりやすかった。学生の興味がわきそうな内容+αの余談を適切に挟んでいた。ところどころで復習も兼ねた簡単な質問を学生に問いかけており、記憶を思い返す工夫がされていた。

○授業の初めに、前回行った講義の確認小テストを行っていた。そして、小テストを講義の最後に回収して学生のコメントを確認することで、理解度を把握し、次の講義の参考にしていた。講義スライドを事前に学生に提示して事前学習を促していた。講義の初めに該当する教科書のページを提示していた。板書した内容を転記するまで、全体を確認しながら、進行していた。講義室を移動して学生の理解力を把握していた。以上、学生に対する配慮がいたるところに工夫がなされており、参考になった。

○基礎生物学を中心に解説して病態医療までを視座にいれた解り易く為になる授業でした。まず最初に課題を渡し、学生にポイントを意識させた後で、授業にはいるなど考えられた構成になっています。渡されたプリントならびにパワポも簡潔に解り易くなっていて感心しました。また、各スライドにおいて、国家試験でしょうか、その重要度をス

ターマークで添付するなど、学生にポイントを解らせる努力は素晴らしかった。参考になりました。ちょうど70分時点で4分ぐらい小休止を与えて、学生をリラックスさせた後に重点事項を講義する方式は印象に残り易く、私も大きく参考になりました。学生の学修を中心に良く考えられた授業でA評価です。

○講義開始前に出席取り忘れへの注意喚起を行っていた。小テスト（記述式）を10分＋αで実施していた。試験中は巡回し、質問等にも対応していた。解答解説は講義終了前に行き、記述で正解となるポイントを○や網掛で示していた。講義の進行は、パワーポイントで行われており、板書も時折活用していた。パワーポイントは良くまとめられており、事前に配布された資料の空欄を埋めていくようになっているようであった。重要度に合わせて、★の数が増えたり、重要項目には複数の色を使用していた。良く通り声で滑舌も良く適度なスピードの話し方であった。それぞれの微生物と感染症に関して、エピソードなどを交えながら、印象に残るような内容にしようとする情熱が感じられた。学生が復習する時に、思い出せるような話の内容であった。4期制における学生の講義に対する消化不良を解消するために中間試験を自主的に行っているのではないかと思った。

○先生の声は大きく明瞭で、話す速度が適切で、聞き取りやすい講義でした。重要なポイントを何度も繰り返しおっしゃるので、非常にわかりやすく、重要なポイントが記憶に定着しやすい授業だと思いました。また、PPTの画面に星印があり、その数が多ければ重要度が高いことが明確にわかり、学生の自習の際などにもポイントをおさえた学習ができると思いました。小テスト、プリント、教科書、黒板と教材をバランスよく使用して、学生の学習効果を高めていると感じました。30分頃にどうでもいい話があったので、1時間頃に何かあるのかなと思いました。休憩があったのが斬新でした。学生の集中力を維持し、高めるのに非常に効果的だと思いました。重要なポイントがわかりやすく、PPTで説明するだけでなく、プリントへの書き込みや授業途中での設問など、学生にとって非常にわかりやすく、興味深い授業で、Aクラスで高評価を得ていることもうなずけます。私は授業の中で、ミニテストを除けば、学生に書かせるという作業を行っていないので、今後取り入れていきたいと思いました。また、適度な気分転換も取り入れたいと思いました。貴重な講義を拝聴させていただきありがとうございました。

○授業開始時の元気な声。学生に話しかける様な喋り方。眠くならない。パンチのあるはっきりした大きな声で話される事。学生がついて来易いように、少しゆっくり喋る事。大事な所は2度繰り返して喋る事。学生の頭をリフレッシュするために、1時間くらいで5分程の休憩を入れておられる点。スライドを進める時に書き取り済んだかどうか、学生に尋ねておられる点。

○スライドに、☆マークの数で、重要度を示しており、赤色と青色の文字で、ポイントを明確に示してあり、教室後方からも分かりやすかった点は参考になった。講義初めに15分間の記述式の確認テストを実施し、講義終了10～15分前を使用して確認テストの得点ポイント解説は学生の理解度を上げる効果がありそうだと参考になった。

○授業開始10分間は前回の復習の小テスト、今日の授業内容の説明で、目的意識を明確にしているのは良いと思う。スライド講義で、図や表を示して、わかりやすい言葉や身近な例を上げて丁寧に説明されていて、学生に理解させようと努力されている。また、途中で最新のトピックスを入れてあったのは学生の気を引く上で非常に良いと思う。授業中の話し方や声の大きさには、学生がわかるように留意されていた。授業中、学生への問いかけなどで学生の授業への参加を心掛けてあった。

○スライドを使ってゆっくりと丁寧にお話されており、非常に分かりやすかった。

授業の最初に5分程度の時間を与え、前回の授業の復習問題を解かせていた。復習をしていない学生もいるので、この方法はすべての受講学生に確実に復習させる良い方法だと思った。スライド中あるいは口頭でも、知っておくべき重要ポイントが明確に示されており、学生は授業に集中できているようだった。また、一部のスライドの説明においては、各自で調べたり確認するように指示が与えられており、学生が積極的に自習するように工夫されていた。さらに、学生が疲れてきたと判断したら、5分程度の休憩時間を設けたり、学生にとって集中して勉強しやすい環境を与えられている印象を受けた。

○講義の冒頭に小テスト（表の空欄埋めと記述式）を実施し、前回の講義内容の理解度を確認していた。小テストを配布した直後に、私語をやめて小テストを始めるように注意し、教室を回りながら学生の出来具合を確認していた。講義で使用していたスライドの右上には、星印の数で重要度が一目瞭然になっており、学生にとって勉強しやすいように感じた。指示棒で指しながら「ここを先に見てください」とスライドの中でも注目してほしい箇所を明確に示して、ゆっくり説明されていたので、とても理解しやすかった。特に重要な項目は「しっかり覚えてください」と繰り返して丁寧に説明され、記憶に残る講義であった。

○授業始まってすぐの小テストによって、前回分の学習の振り返りを行い記憶の定着を促していた。さらに、内容説明の記述形式の小テストであり、記憶が曖昧だと正確な解答ができないため、学生自身が学習の理解度を把握できて非常に良いことだと思う。滑舌が良く、マイクからの音も非常に聞き取りやすい。授業スライドは、すっきりと分かりやすくまとめてあり、覚えて欲しいスライドには、星印が付けてあり、重ねて口頭で

も重要であることをはっきりと伝えているため、重要なポイントが非常に明確でわかりやすい。授業スライドを次に進めるときに、2回復唱し、状況を見ながら、次のスライドをめくっていた。授業中もスライドの前から動かないのではなく、学生に質問をしたり、学生座席側に歩いて行ったりして、学生の意識の集中を図っていた。授業の最後に、その日の小テストについて、記入内容のポイントを一つ一つ丁寧に説明されていたところなど、学生にとって、内容のポイントを再確認できるのが非常に良い。

○PowerPointを使用した講義であったが、内容がきれいに整理されており、写真も適宜入れ、分かりやすく纏められていた。重要項目は星印で示し、再確認や繰り返し説明したり、また、スライドの画面を変えるときにも学生に確認するなど配慮がされていた。予め、講義内容のスライドの内容の基本事項は、プリントで配布されているようで、講義の内容をそれに学生自身に追加記載させるようであった。良い方法だと感じた。また時折、講義内容に関連した具体的な社会的事例も入れて興味を持たせるようにも考えられていた。途中で5分程度の休憩時間を入れるなど工夫もされていた。良く纏められた講義であった。

(2) 参観者から見た学生の様子

① Aクラス 2年生 3期 微生物学Ⅱ

○すべての学生が講義に集中している感があった。休む余裕を与えない、内容の濃い講義に感じた。お茶などの飲み物を出している学生が散見したので、注意したほうがよいと思った。

○ほとんどの学生がプロジェクターを見ながら熱心にノートをとっていた。授業と関係の無い行動をとっていた学生は見当たらなかった。時々眠ってしまう学生が1名いたが、重要事項をノートにとる際は、起きてきちっとノートをとっていた。学生から質問が出なかったので、内容を全て理解できたかどうかはわからなかった。

○総じて学生は、一生懸命講義を聞いていたと思う。配布資料が、穴埋めになっているので、先生の話をちゃんと聞き、穴埋め箇所に記入していたと思う。

○開始時に静粛を促した。終始静粛な環境で授業が進められた。遅刻者が1名いたがそれ以外は開始時刻までに着席した。居眠りをするような学生は見受けられなかった。多くの学生が話を聴きながらノートをとっていた。

○学生はまじめにノートをとっているように見られた。

○全員が最後までしっかりと学習する姿勢を見せており、先生の講義手法が成功していると感じた。

○4名ほど遅刻者がいた。後方の学生には、教科書のページを指定されても机に教科書すら出していない学生が数名見られた。講義始めの小テストに対する取り組みは全体的にしっかり行っているようだった。

○先生と定期的にコンタクトを交わしており、居眠りをする学生は1人も見受けなかった。また、私語をする学生もいない状態で、皆が集中して講義を聴いていた。

○寝ている学生はほとんどおらず、スライドが出されると事前に配布されているプリントに書き込みや蛍光ペンでマークしている学生が多くいました。教科書のページ数も口頭で説明があっていたため、教科書、スライド、配布プリントを有効に使って講義を聞いていると思います。

○学生は、私語もなく静かに授業を聞いていた。本日の天候が雨であることと1限目と

いう事も有り遅刻してくる学生がいた。

○授業中に寝ている学生やまったく授業を聞いていないような学生はおらず、講義を聴いている様子であった。

○次のスライドに移る時に声かけをされていたので、学生があわてずにメモをとり、授業のスピードについていけていたようです。学生が先生の話にひきこまれている様子でした。

○寝ている学生もおらず、みな一生懸命取り組んでいた。

○授業の配布プリントは一部空白になっていて学生自身に記入させる形式になっていたのは良かったと思います。ただ、どこが空白か一目ではわからないため、学生は記入箇所を探すためにスライドとプリントの比較に躍起になっていたように見受けられました。そのため、先生の話をちゃんと聞かず、比較に気をとられすぎている学生もいたので、記入箇所には括弧をつけるなどして、一目で記入箇所が分かるようにすれば、その分先生の話聞くゆとりもできるのではないかなと思いました。寝ている学生もおらず、みんな真剣に授業を受けているように思えました。

○ほぼ全員が、静かに真面目に集中して授業を受けている様子が伝わってきました。学生が、メモをとっている様子がよくみえました。後ろの方に座って授業を受けている学生や、机に伏せている学生の姿はありませんでした。本日参観のAクラスの授業は、理想的でよい雰囲気でした。

○遅刻(8分遅刻女子学生：1名、13分遅刻女子学生：1名、14分遅刻女子学生：2名)、手鏡を見る(女子学生：1名)、中途退出(トイレ男子学生：1名)はいたが、概ね学生は皆、真面目に集中して講義に取り組んでいた。遅刻に関しては、雨の天候不良による交通機関の影響があったのかもしれない。講義後も男子学生1名が熱心に質問していた。

○授業中、私語をしている学生や眠っている学生はおらず、全員がしっかりと授業を聴いていた。

○遅刻者が4名ほど見られたものの、私語もなく概ね静かに講義に集中していた。中間試験が近いうちに実施されるせいもあり、講義冒頭の小テストにもしっかりと取り組んでいる様子が見てとれた。学生の受講の姿勢は良好であった。

○終始講義に集中しており、寝ている者や内職をしている者は見当たらなかった。

○配布資料が緻密に練られていたようで、学生は非常に集中して講義を聞き、資料に書き込んでいたところが印象的でした。先生の講義スタイルに学生も非常になじんでいるようで、意思の疎通がうまくいっているように感じました。

○先生の講義を良く聞いており、適宜メモをとっていた。居眠りする学生もいなかった。

○今回、参観した講義はAクラスの授業であったが、ほとんどの学生は授業に集中しており、適度な緊張感が感じられた。

○ほとんどの学生が熱心に聴いているようであったが、多くの先生方が後方にて授業を聴いていたため、学生さんは緊張しているように思われた。私語をしている学生は見当たらなかった。全体の雰囲気としては大変良かったように思う。雨降りのためか、数名の学生が時々遅れて入って来ていた。しかしすぐに授業に入っていた。中間テストが近づいているからか、私から少し離れたところでは他の科目を勉強しているらしい学生もいた。

○居眠りをするような学生もおらず、しっかり真面目の授業を聞いている学生がほとんどだったと思う。

○Aクラスの授業だからと決めつけた見方をしているわけではありませんが、後列の学生を含めて殆ど全ての学生は授業に集中しており、ノートを懸命に取って集中して授業に参加していた。ただし、ほんの一部ではあるが、あまりノートを取らず時にスマホで何か確認している学生も見受けられた（2～3人程度。なお、授業の後半は講義に集中して受講していた。）。何れにしても、全体的・最終的には、全ての学生は熱心に授業を受講しており、申し分のない受講状況であったと思われる。

○土曜の1講時目ということが原因かもしれないが、大幅な遅刻者が1名いた。学生は、基本的に集中して講義を聴いていた。スライドに書かれていることを熱心に転記しているようだった。私語等はなく、静寂な環境で授業が進行していた。総合的には、真面目に講義に臨んでいたと判断できる。

○静かに講義を受講していたように思います。講義中に指摘された箇所などを駒目に書き写していた様子でした。居眠りをしている学生は少ないようでした。

○問題を解く時間は、きちんと解いているように見受けられました。Aクラスだったから非常にまじめな学生が多く、講義終了後に質問に複数人が来ておりました。

○Aクラスの学生が受講しており、適度な環境での講義であった。スライドの内容は後方座席からも見えるが、中間に設置されたモニターよりも黒板のスクリーンの方が見やすく感じた。特に私語や携帯を使う学生は見られず、全体的に聴講の雰囲気はよかった。

○学生は、小テストへの取り組みや講義への取り組みは一生懸命であった。中間テスト前でもあったためか、学生は、教員が話す内容をよく聴いていたように思う。

○レポートの解き方を分かり易く説明しているのので、学生は静かにノートをとっていた。

○配布された講義資料を目と手を使って書き込んでおり、また時に学生に質問したりして、ほとんどの学生が講義に集中していた。

○スライドを見ながら静かに受講していた。寝ている人もほとんど見当たらず、みな真摯に取り組んでいるようにみえた。

○Aクラスではあるが、進行が比較的ゆっくりしたペースであり、また、1時間時点で休憩をとったりしていたので、ほとんどの学生は真剣に受講していた。

○遅刻する者もなく、まじめな授業態度でした。あてられた学生も正しく答えを出すなど、授業効果を裏付けるものでした。

○Aクラスということもあったのか、受講態度は非常に真面目であった。私語をすることもなく、居眠りをすることもなく、講義メモを取っていた。小テストで資料を見て解答している学生が3分の1程度はいたように思えた。資料を見なくても解答できるような意識付けが出来る方法はないかと思った。

○後方に座っている学生もほとんどが真面目に授業に参加していました。寝ている学生は2名だけでした。全体としては、私語をする学生はほとんどおらず、学生は、熱心にノートをとり、先生の話聞き、教科書を見ていました。1時間で小休憩がありましたが、トイレに行く学生もおり、まわりと話をする学生もおり、全体ですぐにリラックスできる状況があり、授業になれば静かになり、小川先生がクラスをよくコントロールされていることが感じ取れました。

- 眠っている学生は見受けられず、皆講義を真剣に受講している模様だった。
- 通常は途中で休憩時間があるようで、眠っている学生はなく、最後尾の学生もしっかり聞きながら、ノートに記入していた。学生の講義への参加度が高いように伺えた。
- 授業の最初から中盤までは、学生は関心を持って授業を聞いていたが、後半は少し集中が欠けていた学生さんがいた。小テスト中、あまり書いていない学生がいたので、小テストでの学生さんの結果を知りたいと思う。そうすれば、学生さんの理解度がわかり、授業に反映できるのではないか。
- ほぼ全ての学生はまじめに受講していた。寝ているもの、退出するものもスマートフォンを出しているものもいなかった。
- 学生の後方から見ると、学生は皆集中して講義を聞いており、明らかに寝ているような学生は見受けられなかった。小川先生の話し方が明瞭で頭に入りやすく眠気が起こりにくいのと、講義の進行に伴う学生の集中度の低下を敏感に察知し、途中で5分程度の休憩を挟んでいたことに因るものと思われた。
- 遅刻者もなく、集中して授業を聞いていた。
- 予め、講義内容のスライドの内容の基本事項は、プリントで配布されているようで、ほとんどの学生が講義の内容をそれに追加記載しており、私語や眠る学生もなく、集中して受講しているようであった。

(1) 感想(良かった点・参考になったこと等)のご記入をお願いします。

② Bクラス 2年生2期 物理化学I

○まず、前回の復習を演習形式で行っていたことは良かったと思う。全体的にソフトな口調で講義がなされており、学生にはわかりやすいと思った。講義では、黒板、パワーポイント、配布資料などを使って、行われていたが、教科書との対応、資料と講義説明との対応が不十分であったと考える。

○毎回、講義で理解できなかったことを用紙に質問させ、次回の講義でそれに答える形式は良い方法で、私の講義にも取り入れたいと思いました。課題について、どうしてこの講義が必要かについて、“化学反応速度論が“薬学”にどうして必要か“を例に挙げて説明している点が良い。化学反応速度論は、どうしても取っつきにくい内容であるが、低学年の学生にはハードルを下げてもらえる。

○学生にわかりやすく丁寧にゆっくり理解させるよう講義されていた。毎回小テストを行い、理解度を確認している。まず、復習をやり、前回の講義を思い出させてから新しい内容の講義を行う。演習には、少し時間をかけて考えさせ、考える時間を与えた後、模範解答の説明を行う。半減期や薬の服用回数など、薬物動態を理解する上で、反応速度の基礎は学生に参考になると思われる。

○45年ぶりに物理化学の講義を拝聴させていただいた。すっかり過去の学問で、当初は全く理解できなかったが、講義の終わりのころには何となく理解できるようになった。微積など今の私の分野には全く使用経験のない数学なので、記憶をたどりながらの聴講であった。小テストを出して、その回答を解説しながらの講義であったが、板書とPCを活用して比較的簡単に理解しやすい講義であると思った。板書も大きな字で、後方の席からも見やすい文字であった。薬を飲んだ時の血中濃度の推移など、具体的な事例を示しながらの講義であり、勉強する意味も学生に理解しやすかったのではないかと思った。

○前回の授業内容の確認として、授業の初めに前回授業の確認小テストが行われ、受講生が重要事項を小テストで確認するという工夫がなされていた。その日の授業のポイントを授業の初めに話され、受講生がその日の重点事項を確認できる工夫がされていた。授業の途中で、学んでいる事が薬学上どのようなことに結びつくのかを話され、現在学んでいる事項が薬学上どのように活用されるのかを受講生が理解できる工夫がされていた。授業がすすみ、受講生に飽きが出始めたころに小テストを行い、再び受講生の緊張感を持たせる工夫がなされていた。ゆっくり、はっきりとした話し方や、「ここは覚えておいてね」という講義の仕方は、受講生のことを考えた講義方法として、私の今後の講義の参考と致します。

○小テストに前回の講義の復習と今回の講義内容の演習問題が含まれていて、学生が今日までにできていないといけないところと、今日できるようになるところを明確になっていた。学生にわかりやすくポイントを教えるために、非常にバランスの良い講義だったと思う。

○授業は、当たり前のことだが定刻に開始された。最初に前回授業の復習小テストを実施し、学生の理解度を確認した。小テストには学生の理解度を知るために、講義中の内容で理解できなかったことや小テストや補習で取り上げて欲しい内容について自由に記載でき、次回講義で回答していた。黒板を消す際には、学生に断りを入れる。反応速度論の授業であったが、わかりやすいたとえ話があった。他の科目(薬剤学)とのつながりについても説明されていた。スライドにフリーハンドでの手書き加え、わかりやすかった。授業の途中で練習問題を解かし、効果的に学生の気分転換を図っていた。板書する際には、黒板の照明を点灯し学生に対する配慮が見られた。学生に確認しながら、ノートを取る時間を確保していた。全体にとっても丁寧でわかりやすい授業が展開されていた。

○前回講義の小テストを最初にされ、前回の復習に繋がっていて良かったと思います。黒板の板書とパワーポイントに書き込んでいながら併用されていたので、分かりやすく説明されていました。最初に SBO の掲示をされて、本日の内容について学生に周知されると目的がわかってよいかと思います。

○前回授業のフォローアップからスタートし、質問も受け付けて講義の流れに合わせて関連したタイミングで説明をしており、理解しやすいと感じた。板書が簡潔で見やすく、全体をうまく使っていると感じた。言葉での解説が困難な反応速度論について、図画を多用してわかりやすくしていた。スライドをそのまま並べて印刷したものではなく、B版のプリントにあった形式にレイアウトされており、使いやすく見やすい。また、書き込みもできるように十分に余白が取られていた。解説に使用するスライド表示にタブレットを用い、画面に直接ペンで書き込める形式にしてあることは、講義に柔軟性を出しやすく、良いと感じた。

○最初にポイントとなる用語をスライドで示しており、どのあたりに注目すべきかが端的に解るようになっているので参考になった。また、最初に前回の復習および今日の範囲の問題を配布し、前回の復習をして継続的な学習を可能にしている点は非常に学生にとって良いと感じた。加えて、他の教科への発展性(重要性)や、どのようなところと結びつけることができるのかを途中で補足しており、高学年時等で散見される縦割りでの丸暗記を打破しようとする点が見られたことも非常に参考になった。

○復習のための問題、今日これから行う内容の予備知識となる問題、たった今習ったことの演習問題を取り揃えて講義内で行っているのは計算が必要な物理化学としてはとてもよい。

同じことを記憶系科目で応用できるかどうかは別問題であるが、最後に小テストを回収してわからなかった点などを書かせているのも良い。ペンタブは自分も講義に取り入れたいと考えているものなので、機種等を聞いてみたい。ゆっくりと話しているが、それなりに緩急、抑揚がある話し方なので分かりやすかった。部屋の大きさに対してスクリーンの大きさがあっていない。406室のスクリーンと黒板を併用できるつくりはよいが、部屋が縦長なので後方席からはスクリーンがかなり小さくなる。他の講義のためにも設備、あるいはレイアウトの更新はあったほうがよい。20人もの教員が一度に参観するというのは、授業する側としてはやり難そうだった。一種の講義妨害のように感じた。

○以下の点を今後の授業の中に組み込んで、工夫を凝らした講義にしようとする。

- ①小テスト解答用紙に学生が書き込む授業の不明点を、学生自身にしっかりとフィードバックしていたこと。
- ②授業の目的（到達目標）が明確に記されていること。
- ③逐一、学生の様子や理解度をしっかりと確認しながら、授業・小テストを進行させていたこと。
- ④反応速度論のイメージの例えが非常に理解しやすかったこと。
- ⑤常に学生に目配りし、居眠りしそうな学生に声をかけていたところ。
- ⑥その時々に必要な小テストを入れ込みながら授業を展開していること。

○講義の最初は前回の復習テストから開始され、問題数は少ないため、すんなり講義に入っているようでした。物理化学という学生の多くが苦手とする科目でしたが、何とか理解しようとしている意欲が伝わる講義風景でした。講義は板書、スライド、スライドに書き込み、口頭での説明が行われ、非常によいリズムであると感じました。また、板書、問題を解く時間、説明の時間など全て「書き終わった?」、「解けた?」など学生に声かけを行いながらの講義であり、学生も反応していたので大変いい方法だと感じました。

○前回行った授業の確認テストを講義の初めに行っており前回の講義も思い出すことが出来き、本日の内容にも入ることが出来る。小テストの解答用紙に答えと講義内容に対する質問を記載する項目を取り入れており授業内容で分からないところとその都度確認できる点。基礎科目であるがこの科目が薬剤師として必要なところも説明を行っている点。講義途中でも問題を解きながら解説を加えており講義のメリハリが出来ている。スライドと黒板をうまく使用している。

○声の大きさ、話す速度も適切で聞きやすかった。スライドはあまり使わず板書を中心として講義であったが、板書は一番後ろからも楽に見ることができた。学生が試験で間違いやすいポイントをはっきり示しており、理解しやすくなっていた。スライドで写したパワーポイ

ントに電子ペンで書き込みながら説明をしているのは、ただスライドをポインターで示すより分かりやすかった。ただ、色によってはどこを示しているのかが分かりにくかった。

○学生が授業についていくことが出来ているかを確認しながら進めている点、前回の授業後学生から出た要望に対して授業中に回答し早期改善に努めている点など、学ぶ部分が多くありました。区切りがいいところで関連する問題を解かせてメリハリをつけている部分は大変参考になりました。また、授業で教わった知識で解ける問題を解かせて、学生に解けたという自信をつけさせている点も素晴らしいと思いました。

○下記の点が非常に参考になりました。小テストによる前回講義の復習とその日の講義の復習ができる点。スライドのはじめに重要語句が明記してあり、目的がわかりやすい点。スライドが見やすく、直接書き込めることで学生にどこを教えているのか、またどこに注目（重要であるか）すれば良いかわかりやすい点。

○なにより、パソコンの活用方法が上手だと思いました。先生はプリントを配り、同じものをスライドに映し出した上で、そこに文字を書き込み、その書き込みが学生に見えるようにしていた点がとても参考になりました。私もプリントを配りスライドに映し出すことまでは致しますが、先生の方法では、学生と同時に同じもの書き込むことで、学生もどこに書き込むのか等の情報共有もし易く、かつ何が大事なのかの理解がより一層スムーズになるのではないかと思います。また、授業の冒頭に本日の授業内容のキーワードを提示しているのも学生の理解の手助けになっているように思いました。キーワードが事前に分かっているため、そのキーワードに関連する項目が出てきたときには、学生はより一層集中して理解に努めているように見受けられました。加えて、学生への配慮も大変勉強になりました。練習問題の解説や講義中の板書等の際に学生がついてこれているかななどを、常に見渡したり、時々声をかけたりすることによって、学生の理解状況の把握に努めているのが勉強になりました。見渡すなどの行為は私も行っていますが、そのやり方などを改めて振り返ってみると、田島先生と比較してまだまだ不十分だったように思いました。

○講義会場：本館4階、406講義室。本日の講義は、物理化学Ⅰ、第8回目でした。

本日は、たくさんの先生方が参観されての授業でしたので田島先生はいつも以上に気を使われとても緊張なさっていたと思います。大変お疲れ様でした。そんな中でも学生や参観の先生方に気遣いされているのが先生らしく感じました。いつも通りには運ばなかったのかもしれませんが、教室の中は、勉強しやすい落ち着いた雰囲気醸し出されていました。私たちの分のプリントもご用意下さったので、学生目線で、授業を受けさせて頂きました。授業は前回の授業の復習となる小テストから始まり、その解説と今日の授業につながる大事なポイントを押さえてから、新しい章に入るように組んでありました。説明がとても親切なのが

特徴で、本当にゆっくり、はっきりした口調で聞き取りやすくわかりやすいものでした。言葉に配慮を感じました。そしてまたちょっとした間もとってあり考える時間もあり、難しいと思っていた物理化学もすっと頭に入ります。本当、上手だなと思いました。大事な所は必ず念を押され、板書も大きく、学生が見える位置に見やすい字で書かれます。先生の授業は、親切で丁寧です。先生のお人柄だと思います。相手に敬意を払っている姿勢が見えますので、自ずと物理化学が好きでない学生も受けてみようと思う授業ではないかと感じました。人気の所以だと思います。

○【良かった点】

(1)小テスト

- ・アウトプットの練習をしていた点。
- ・質問等のコメントの記載を書かせて、フィードバックしていた点。

(2)板書とスライドの併用

- ・板書では小テストの答え合わせをしていた点。
- ・スライドでは、スライドに書き込みが出来るツールを用いていた点。

(3)「暗記すべき点」と「理解すべき点」のポイントの明示。

- ・数式に関しても丸暗記ではなく自分で導けるようにポイントを明示していた点。

【参考になったこと】

- ・小テストの実施、板書とスライドの併用、「暗記すべき点」と「理解すべき点」のポイントの明示について、いずれも大変参考になりました。

○パワーポイントや板書を併用しながら丁寧に進めていく授業でした。声の大きさもスピードとも丁度よく、聞き取りやすかったと思います。また、重要なところは配布プリントに穴埋めをさせながら、何度も強調して説明しており、わかりやすい授業でした。学生の理解度を確認するために、各項目を説明後、すぐに問題を解かせることで、理解度・記憶の定着率を高めていると思いました。今後、自身が講義する上で大いに参考になりました。大変工夫されている授業だと思いました。

○学生に小テストを実施させながら、「反応速度論」の本質を鮮やかに展開していた。参観している自分の知的好奇心が否応なく刺激される「わくわくする」授業であった。同じ授業料を払って、有意義な講義が聴ける本学の学生は恵まれていると感じた。また、スライド、板書、タブレットなど、あらゆる視聴覚ツールを駆使して、熱をもって授業を行っている姿に大変好感が持てた。個人的なことですが、現在、中一数学の難問を毎日1問選んで娘に解かせています。田島先生の微分方程式の解法を聴きながら、自分の中で何かスイッチが入ったのではないかと思います。早速、岩波新書の「数学入門(上)・(下)」(遠山 啓 著)と「算数・数学用語辞典」(武藤 徹、三浦 基弘 著 東京堂出版)を買ってきて読みま

した。30年以上無縁だった数学が意外に面白いことに気づき、高校数学を再学習してみようかと思えるようになりました。参観させていただき、ありがとうございました。

○講義開始時間を正確に守っていた。講義の冒頭、本日の講義内容の説明がなされていた。前回の講義の復習のために問題を配布し、問題を解かせ、後に解答・解説をしていた。講義は、パワーポイントに加え説明に板書を随所に織り込んで丁寧であった。また、パワーポイントスライド中に自筆で書き入れながら説明するなどの工夫も見られた。また、板書を書き写す時間にも配慮して講義を進めていた。板書の文字の大きさは十分で見やすく、また話の速度、声の大きさや張りも良好であった。温和な口調で聴き易いものであった。講義中、学生の反応、様子を見ながら、時折問掛けるなどの配慮がなされていた。学生に問題を解かせている間は、講義室内を歩き廻り、進行状況の把握に努めていた。過去の薬剤師国家試験問題を意識させながら講義していた。次回の講義内容についての案内があった。以上、薬学生としてやや取り組みにくい物理化学の講義をしっかりと、丁寧にこなしている印象が強く、講義担当者の模範となるものであった。

○講義の始めに前回の講義内容の問題演習を実施することで、前回の内容を思い出してから講義に入るように工夫されていた。配布プリントに重要語句や対応する演習問題集のページが記載されており、学生が復習しやすいよう配慮されていた。配布プリントを映写したスライド上に文字や絵を記入する方式を利用することで、学生が配布プリントにメモしやすい講義となっていた。講義の途中に問題演習を実施して、学生の理解を深めながら講義を進めていた。声は明瞭で、板書の文字も大きく見やすかった。

○随所に工夫が見られる。

例えば、講義と併用するかたちで問題を解かせて理解度をみている。しばらく時間をおき、先生が解答を黒板に書き説明されていた。学生の反応も何度も確かめられていた。上記の問題用紙(プリント問題)の最後に本日の分かりにくかった部分や改善したほうがよい点を書かせていた。Bクラスであり、数学が苦手の学生にかなりの配慮した説明であった。声の大きさは適切である。

演習に近い講義であったが、科目特性としてこのやり方は妥当である。少しスローペースであると感じたが、分かりやすい説明であった。(このペースで予定をすべて終われるかが少し気になったが・・・)私の科目、医薬品化学とは本講はかなり異なるが、今後授業する上でいくつか参考にさせていただきたいと思った。

○分かりやすい授業だった。例えなどを使って説明をしていて、理解しにくいところもだいぶイメージしやすくなったのではないだろうか。また指導のスピードも適切だった様に感じる。

○授業の内容に入る前にプリントを配布し、小テストを実施して詳細な解説が行われた。授業は、板書とパワーポイントを用いて進められ、適宜教室の学生に語りかけながら実施されていた。教室の後方から授業を参観させて頂きましたが、マイクの音量、話し方、進行速度、文字の大きさなど全てが適切でありとても参考になりました。また、教科書のページ数を示し、他の教科との関連性や国家試験における重要ポイントなどを説明しながら講義が進められており、学生には分かり易くとても工夫された講義であったと思いました。個人的に、特に参考になったのが、話し方です。学生に対する優しさが伝わる授業であったと思います。この点に関しては、自分自身には無い物を感じました。今後は、自分の担当授業にも取り入れていきたいと思います。また、毎回の小テストの実施は、学生の学習意欲・効率の向上に有効な手段となっているのかもしれない。自分の教科に毎回取り入れるのは難しいかもしれないが、今後少しずつ取り入れていこうと思う。

○今回は反応速度の単元の講義だった。学生からすると微分積分の能力が問われてくる内容なので理解の難しい内容である。田島先生の講義では、問題演習に40～50分の時間を割いていたので、学生の理解度が向上していると考えられる。特に、式の丸覚えではなく、導出過程も大事にされていたので、学年進行と共に修得しなければならない、物理、分析、薬剤の難解な計算問題の理解にも有益であると思う。パワーポイントと板書の割合が絶妙だったので私の講義でも意識していきたいと思う。

○ノートパッドを使った講義は良かった。また、直接に大事なところノートパッドに書き込みながら、黒板の代わりに使用している講義は良かったと思います。できれば、講義に取り込んでみたいです。また、講義の初めに今日やる講義の部分の問題を解かせ、講義最後に確認問題を解かせて、講義の復習をさせることは良いことだと思います。

○私が学生のときに聞いたかったなと思えるくらいに、分かりやすい講義だった。講義のはじめに小テストを実施し、前回の復習を行っていた。小テストの下に学生が分からない事項を自由記載する欄があり、前回分をすぐにフィードバックしていた。問題集のどこを解けば、今回の範囲を復習できるかをプリントに記載していた。Bクラスに対しての講義は、意識的にスピードをゆっくりしていた。その分は毎週の補習で問題演習をしているとのことであった。薬剤師として今回勉強することが、将来どう役に立つかアウトプットを示していた。持参PCを用いて、スライドに直接書き込んでいた。学生にとっては、プリントのどこが重要か言葉だけより通じると思う。

○微分・積分反応速度式に関する講義で、演習問題を混ぜながら、解説された。板書とスライドをうまく使い分け、板書内容も丁寧であった。要点をまとめたプリントと小テスト問題

を配布し、解説された。学生に解く時間を与え、分かりやすく解説しており、Bクラス学生のレベルを意識した授業であった。小テスト問題を解答させ、解答用紙を回収している。また、アンケート形式で今後取り入れてほしい内容を記入させ、回収後、次の授業に取り入れる工夫をされており、大変参考になった。「放射化学」では、放射能と半減期の関係を1コマ(2期5コマ目)取り入れ補習などで計算演習をしているが、Bクラスに理解させるにはまだ時間が足りない。今回の物理化学の授業で半減期の基礎を教えられているので、放射化学の授業を工夫したい。

○スライドを主に使用する講義スタイルでしたが、はじめに講義内容に重要語句(4 words)を提示していたことは、学生も講義の中でもポイントがわかりやすいものになるのではないかと感じた。講義開始の20分ぐらいを、小テストおよび解説にあて、前回の講義の復習にあてていることは、学生の知識定着につながるものではないかと思う。スライドを使った講義であったが、タブレットを使用しスライドの中に書き込むスタイルであった。学生も同じプリントが配布されており、教員が書き込んだ箇所に、学生も書き込むといった流れであり、ただスライドを写すだけではないので、学生も能動的参加できる講義であった。スライドなどを使って講義をする場合の参考になった。スライドには記載されていない内容(前回の内容や、補足部分など)は、必要に応じて板書により解説を行っていたので、学生も講義内容の理解に繋がっていたのではないかと思う。反応速度の内容であったが、薬学のどの科目や内容と関連しているのかも紹介しながら講義を進めていたことは、学生にとって、今学んでいる意味が伝わっていたのではないかと感じた。

○第一薬科大学の学生が苦手な基礎系科目の1つなので、どのように教えるのか興味がありました。良かった点などを以下に箇条書きにします。

- ・その日の内容を最初に示し、小テストで確認しながら授業を進めるので、学生は時間把握をしやすい。
- ・ゆっくり話し、重要なところは繰り返すので内容を把握しやすい。
- ・板書の字が大きく、大きな教室の最後尾からでもよく見える。
- ・今日は反応速度論で、把握し易いように、“天神から高宮まで乗ったとしたら”とかの例えを用いて式を説明するなど、うまいと思います。
- ・“国試の問題で”とか、“ここを、こう覚える”とか、“次週の分ですが”などと重点を繰り返し、さらにスライドに絵をうまく使い、学生が覚えやすいように工夫をしているなど、様々なことが参考になりました。

○授業の初めと授業中の適切な時間に問題を解かせており、学生の集中力を意識した授業で理解しやすかった。また、前回の復習に十分な時間(30分程度)取っており、丁寧な授業で見習いたいと感じた。配付資料もまとまっており、非常に見やすく学生にとっても復習が

しやすいと感じた。

○講義開始のチャイムが鳴ると、先ず、小テスト（問題、解答用紙各1枚B5）と講義資料（1枚B4）が配布され、前回講義の確認小テストが約20分間実施された。毎時間に小テストを実施するのは、講義内容を確認する上で有効と感じた。小テスト終了後、講義（反応速度論）が開始された。重要なキーワードが4つ提示されたが、配布された講義資料は反応速度に関する微分、積分式が並んでおり、参観者にとってはすでに難解なものであった。しかし、化学平衡論と反応速度論の違いが簡潔にまとめてあり、学生はその点了解したものと思われた。講義進行に従い、速度式の説明がおこなわれた。物理化学というより数学という感じで、1年次の基礎数学で微分・積分を履修しているとはいえ、不得意な学生にとっては厳しい学修領域であると感じた。それでも、たとえ話を交えながら、また問題を解きながら理解させようとする積極的な姿勢が見られた。時折、スライドや板書事項の数式に符号の違いなどがあり、訂正する場面があったのは残念であった。

○説明をしてその内容の問題を解くという流れだったので、授業内容がどのような設問として問われるのかを学生が把握しやすいと思った。ペンタブ(?)を利用してスライドに書き込みをしながら説明をされていたので、どこを説明しているのかが明確でわかりやすい。また $+ \alpha$ の説明も追加しやすく、学生もどこに何を書き込めばいいのかが視覚的にわかって助かっていると思う。小テストにプリアンケートがついていたので、学生の授業に対する意見を次の授業から反映できる。

○授業の初めに、前回は行った講義の確認小テストを行っていた。そして、小テストを講義の最後に回収して学生のコメントを確認することで、理解度を把握し、次の講義の参考にしていった。講義スライドを事前に学生に提示して事前学習を促していた。講義の初めに該当する教科書のページを提示していた。板書した内容を転記するまで、全体を確認しながら、進行していた。コンピュータのスライド上に、書き込みができるものを使用していた。以上、学生に対する配慮がいたるところに工夫がなされており、参考になった。

○冒頭に小テストを使って、本日の講義ポイントならびに授業に対するポイントを把握させる講義は、効果が実際にわかり、私の授業にも大いに参考になりました。物理式において、ボルツマン分布式について、その説明を具体的かつ詳細に解り易く説明されており門外漢の私でもなるほどと思わせる効果がありました。板書の文字は大きくて大変解り易いことが実感されました。また、講義に於いて通常のパワポではなく、タブレットPCのパワポを使用しておられ、授業中随時文字入力、それも色を変えて講義されるなどパワポが黒板のような効果があることが実感されました。総括的に本講義は大変良いと判断します。

○パワーポイントに今日の講義ポイントが掲示されていた。重要語句も挙げてあり、理解を高める工夫がされていた。配付プリントに工夫がされていた。1枚目は小テスト問題。2枚目は小テスト解答用紙。3枚目は講義用プリントであった。小テストのうち2問は過去2回分の講義の復習テストであった。残りの2問は今日の講義内容を理解させるための問題であった。30分位かけて前回講義の復習に充てていた。このような方法もあることを知って参考になった。板書の字の大きさは見やすかった。声の大きさや速さも聞きやすかった。パワーポイントでの説明では、画面に直接書き込めるソフト(?)で説明するなど、個人的な工夫をしていた。大学で全教員が使えるようになると便利だと感じた。是非、購入(?)して欲しい。理解度をチェックするために、学生への問いかけを心がけていた。国試や3年次以降の教科目と関連づけて講義をしていた。理解させようと例示を色々と工夫がされていた。全体を通して、解ってもらおうと言う熱意が感じられた。

○板書の字が一番後ろの席でも見やすい程大きく書かれていた。話の口調がゆっくりとして聞き取りやすかった(ついていきやすかった)。重要ポイントの説明の時に言葉の繰り返しがされていた。先に必要な高校レベルの数学の基礎を復習した上で、大学の講義を行っている。(公式を自分で作って長期記憶ができる準備をしている)

○反応速度に関して、公式を丸暗記ではなく、イメージを持たせながら、且つ、理論的に分かりやすく説明されていた点が大変良かったです。学生が眠くなるような場面では、適時、声掛けしながら、演習問題を解かせたり、教室内を移動しながら見回っておられて点は参考になりました。学生の理解度を提出型の演習問題で実施されており、学生の理解度をしっかりと確認されながら進めているおり、さらに、分かりにくい専門用語がないか、記載できるようになっている点は、学生の理解状況を最大限に把握されながら講義を行っていることが分かり、大変素晴らしい教授方法と思いました。

○当日の授業内容および重要語句をプリントに記載してあったのは良いと思う。緊張されていたが、話し方。声の大きさ、黒板の書き方はわかりやすかった。授業内で演習問題をさせるは理解度を把握するためにはベストの方法であり参考になったが、進行度が遅くなるので自分の講義ではなかなかできない。

○学生が講義に飽きないように随所に工夫がなされていた。まず、前回の授業の確認試験として最初に時間(10分程度)を与え問題を解かせた後、黒板を使って詳細に解説された。学生に実際に手を動かさせることでしっかりと復習させると同時に、確認試験が今回の授業の導入にもなっていた。この確認試験用の用紙に今回の授業用の問題も含まれていることも工夫の一つで、各単元での解説終了後に問題解答のための時間が割かれていた。学生は20分程度の短い期間講義を聴いたあとすぐに自らで確認することになる。授業に対する集中力の

持続と知識の定着が期待される、素晴らしい方法だと思った。スライドの併用もうまく機能していた。スライドに書かれていることの多くは配布プリントにも示されていたが、先生がスライド中に書き込みを入れて説明されていたので、学生も考えながらスライドをフォローしプリントに書き込みを加えることができる。どのような方法でスライドに書き込みを入れたり消したりしていたのか、教えてもらおうと思う。また、講義は全般的にゆとりをもってゆっくり丁寧に進められているため、聞き漏らすことがない、安心して受講できる授業だと感じた。

○授業の開始時に小テスト（前回講義の復習）を行い、その解説を黒板で行った。その後、ppt スライドとその重要点をまとめた配付資料を元に講義が行われた。黒板の字が大きく、後方からでもよく見えた。文字を消す際にも、書き写したかどうかを学生に尋ねるなど、配慮がなされていた。講義の冒頭に、重要語句をいくつか列挙し、今日の講義でどのようなことを教わるのかが一目瞭然であった。聴講側の精神的負担の軽減に良いと感じた。今日の講義内容は反応速度の基本（0次、1次、2次）であり、教科書的説明だと微分方程式の解説がメインになってしまう。ところが、田島先生は0次、1次、2次反応を身近な現象で例示して学生にイメージを持たせてから、スライド・配付資料で、数式展開をコンパクトに説明して、結論（積分型速度式）を導出できるように指導し、その直後に演習も取り入れ、知識の定着を図っていた。また、学生が理解できていそうかどうか、様子を気に掛けており、時には学生に共感する言葉もかけていた。

限られた時間の中でBクラス学生の学力を向上させるためのヒントをいくつも見つけることができ、自身の講義にも反映させたいと感じた。非常に有意義な教員相互授業参観であった。

○講義の初めに小テスト解答用紙を配り、問1を解かせて、前回の授業の理解度の確認をし、前回分のアンケートの回答を行っていた。同時にその日の授業の問題を解くように作ってあるので、学生の理解度の把握と自分の講義の改善点の両方が確認できるので、非常に良い使い方だと思った。パワーポイントと黒板をうまく使い分けて時間の調整がされていた。時間を有効に使えるようにパワーポイントを使い、スライドに赤のペンで記入することでどの部分のことを言っているのか明瞭になって解りやすかった。問題の解説には黒板を使って解りやすく解説がされていた。黒板の文字は、大きく書いてあり、後の席からでも十分はつきりとわかった。マイクの音量ならびに話すスピードが大変聞き取りやすいように調整されていた。例え話を盛り込みながら、また言葉をかみくだいて説明することで学生が理解しやすいように工夫されていた。一方的に講義をするのではなく、学生の様子を見ながら講義を進めていた（黒板を消すタイミング、間の取り方、学生の表情の確認など学生への配慮が伺えた）。

○その日の講義の要点をキーワードとともにプリントにまとめ、その内容にしたがって丁寧に分かりやすく、内容を確認しながら学生に講義をされた。また、講義に先立ち前回の講義内容に関連した問題を小テストとして行い、学生の理解度が高まるように工夫されていた。板書の文字および口頭での説明の話し方およびスピード共に適切で聞き取りやすかった。また、小テスト解答用紙に、講義中に疑問が残った点、理解不足の内容や項目などを記入して提出させ、次回の講義で補足説明を行い、復習や講義内容の理解を深めるような対策も取られていた。この点は、学生の理解度をはかり、また理解度を高める上で参考になりました。

(2) 参観者から見た学生の様子

② Bクラス 2年生 2期 物理化学 I

○大雨が降ったりしていたので、欠席者が多かったように思えた。出席者については、前席の学生は真面目に聴講している様子が伺えた。しかしながら、後席では、寝ている学生が数名いたが、注意していなかった。また、携帯をいじっている学生が1名いた。

○ほとんどの学生が集中していたように見えた (理解度は不明)。

○将来、薬剤師になったときに、服薬指導を行う際の基礎知識を学ぶ上で参考になる内容であり、学生もまじめに受講している学生が多かった。ごく少数居眠りしている学生がいて、物理化学の理論は、数式があり、学生によっては苦手になっている者がいると思われる。

○1限の講義であったが、開始から寝ている学生が1名いた。他の学生は田嶋先生の講義を比較的集中して聞いているようであった。

○大多数は黒板を見ながらノートをとっていたが、2~3人の学生が寝ていた。講師もそれ

に気がつき、受講生にコメントしていた。授業後に、2名の学生が講師に質問に来て、それに対して熱心に解説されているのが印象的であった。

○あれだけの人数の先生方が参観されているのに、寝てしまう学生がいたことが、非常に印象的だった。

私もこのクラスを基礎統計学で担当しているので、注意しようと思います。

○遅刻する学生はいなかった。全員静粛に授業に取り組んでいた。30分程度経過した時点で数名の学生が居眠りをしていた。前方の学生に注意を与えていた。下を見ている時間が長く、スライドや板書をあまり注視しない学生がいるのが気になった。

○プリントを準備されてまとめられていてとても良かったと思いますが、学生が一度も教科書を開く機会がなかったので、学生が復習する時にどの部分のことであったかがわかるように、教科書のどの部分ということも確認されながら進めていかれるとより良かったと思います。

○一限目ということもあり、眠そうにしている学生が数名見られたが、全体に落ち着いて集中して臨んでいると感じた。

○僅かに傾眠している学生がいるものの、教員自身が把握しており、かつほとんどの学生は真面目に聴講しているように見えた。

○しっかり聞いている学生もいるが寝ている学生もいる。学生としては普通の姿だと思う。

○学生は居眠りする様子をあまり見受けなかった。復習の小テストの際も、前回渡したプリントやノートを見ながら各自で復習している学生を見受けた。私語はなく、真剣に授業に取り組んでいる学生が多かったように思えた。

○九州地方の豪雨のため、開始5分前になっても着席している学生は数名でした。しかし、私語をしている学生はおらず、何かしらの勉強をしている様子でした。また、眠そうにしている学生は数名いましたが、携帯電話を触っている学生はほとんどいませんでした。

○途中から寝てしまっている学生も数名みられたが、ほとんどの学生は、まじめに静かに講義を受講している。講義内容も自分のプリントに記載していた。

○多くの学生が田島先生の話聞き、板書をノートに写しており、授業にまじめに取り組

んでいた。

○学生同士の私語もなく、授業に真剣に取り組んでいる様子でした。

○みな集中して講義に参加していた。

○机に突っ伏すなどの寝ている学生はさほど見受けられず、皆一様に先生の板書やスライドに集中しているように思えました。一部後方の学生が寝ている場面もありましたが、練習問題を解かせている時間に田島先生が見回って起こしていました。また、私語やスマートフォンで遊ぶという行為も見受けられず、良い授業雰囲気だと思いました。

○時間が経つと寝はじめた学生も少しおりましたが、講義室の後ろにたくさんの先生の姿を見て、さすがに堂々と寝る学生はいなかったようです。私語もなく、多くの学生はノートを取り真面目に授業を受けていました。

○遅刻(5分遅刻女子学生：1名、8分遅刻女子学生：1名、44分遅刻女子学生：1名)、居眠り(女子学生：1名→田島先生に起こされる)、中途退出はなかったが、概ね学生は皆、真面目に集中して講義に取り組んでいた。遅刻に関しては、豪雨による交通機関の影響があったのかもしれない。

○生徒は、授業にまじめに取り組んでおり、板書した内容をワークシート形式の配布プリントに記載することに集中していました。

○レストランのフルコース料理や老舗和食店の懐石料理のような授業をふるまわれても、どれだけ学生が堪能できるかは未知数だと思います。Aクラスの成績上位者にとっては、間違いなく面白い授業ではないかと思います。参観したBクラスの学生は、授業についていくのに苦労している印象を受けました。Bクラスの学生に対しては、以下のような枠を狭める、限定するといった工夫をされてみてはいかがでしょうか。

(1) 授業ツールを板書と小テストに絞る。

(2) 0次～2次反応で提示するグラフを1種類にして、それらの相違を繰り返し強調する。

(3) 学生の進み具合をみながら授業をすすめていくのは魅力的で効果があると思いますが、「これは、こうだ」と言い切り、リードすることで、Bクラスの学生は安心して次のステップに進めるのではないかと思います。

○月曜日の1限目ではあるが、遅刻者はいなかった。私語は無く、先生の板書を写すなどして熱心に講義を聴いていた。前回の講義内容に関し復習テストを実施していたが、しっ

かりと取り組んでいるように見えた。講義の後半になると、やや集中力が欠け、うつむいたり、机に伏せたりする学生数名が見られた。講義担当者は、こうした学生に対し注意・喚起を促していた。

○学生は静かに講義を聞いており、演習問題にも真剣に取り組んでいた。

○ほとんどの学生が授業をまじめに聞いていた。1名前方の席の学生がしばらくの間寝ていたが途中から起きて聴き始めた。(本日は多くの先生方が見ていることもあり、いつもより真面目にしていたかもしれない) 学生さんの講義時間の雰囲気は良かった。

○問題を解くべき時間には問題に取り組み、授業も比較的真面目に聞けていたと思う。

○Bクラスの授業だからと決めつけた見方をしていけないが、後列の学生を含めて殆ど全ての学生は授業に集中しており、ノートを懸命に取っていたのには少し驚いた。差別をしない分かりやすい講義だからと思われる。ただ、後方のほんの一部ではあるが、あまりノートを取らず話をしている学生も見受けられた(5~8人程度。但し、授業の後半は講義には、ほとんど集中して受講していた。)。自分自身の講義でも恐らくこのような学生についての状況を確認することは困難であると思われる(前方からだ状況の判断が極めて難しい)。何れにしても、全体的には、学生は熱心に授業を受講しており、申し分のない受講状況であったと思われる。

○Bクラスの学生だったかもしれないが、寝ている学生が多かったように思う。天候も雨でじっとりとしていたので本日が特にひどかったのかもしれない。その中の大多数は、この1, 2年で留年していくと思うが、大学全体として低学年のモチベーションをあげる対策を講じねばいけないのではないかと感じた。

○大荒れの天気の影響で公共交通期間が麻痺している機関もあってか欠席している、もしくは遅刻してくる学生も見受けられたが、学生は一様に静かに講義を受けていたように思う。

○教員が数十名後方で拝聴していたこともあり、まじめに聞いていたように思う。寝ている学生をきちんと注意していた点はよかったと思う。

○教室で約60名Bクラスの学生が受講しており、適度な環境での講義であった。配布されたプリント問題を真剣に取り組んでいる。特に私語や携帯を使う学生は見られないが、数名が板書事項のノートに書き留めていない。前列の学生は熱心である。

○前回の復習の小テストは皆一生懸命取り組んでいる姿勢が伺えた。中には、前回の講義資料を見返しながら問題を解いている学生も散見された。スライドに書き込むスタイルのためか、学生は教員の説明に沿って真摯に取り組んでいた。また、教員が話した内容（口頭のみ）までも、講義資料に書き込んでいる学生も見られた。全体の中で、3回ほど講義内容の復習問題を解く時間が与えられていたが、どの問題も、まじめに取り組む学生の姿が散見された。

○問題の解き方を分かり易く説明しているので、学生は静かにノートをとっていた。

○遅刻の学生が数名いたが、授業当日は福岡県内で大雨警報の地域が有り、仕方ないと思われる。その他の学生は時間どおりに着席しており、私語もなかった。

○今回の講義内容が反応速度論ということもあり、数学が不得意な学生にとって物理化学という科目は難解なものと感じている学生は多いと思われる。実際、全く手を動かしていない学生も散見された。補習などを利用して、数学、物理化学など不得意な学生に対する学力向上支援を地道に行う必要があると思われ知らされた。

○居眠りをしている学生も見受けられたが、全体的には静かに授業を聞いている様子だった。

○OB クラスということもあり、進行が比較的ゆっくりしたペースであったので、ほとんどの学生は真剣に受講していた。計算問題の方法などメモを取りやすい状況であったが、やはりメモを取らずにいたり、寝ていたりする学生が数名いた。

○遅刻者ゼロで、冒頭の小テストに真剣に取り組んでいたことが印象的です。しかし、講義の中盤の化学反応論や微分方程式を用いた説明に入るや、後列の学生に、居眠りをしている学生が散見された。しかし、90%は注意力を持続させながら聴講していましたから、採点すれば良という判断が下されます。

○OB クラスの学生ではありますが、居眠りする学生も2・3名程度であり、講義を良く聞いていた。適度な板書のスピードや話しかたなので、メモを取るのも取りやすかったのではないかと思う。授業後質問をしている学生もおおり、質問しやすい雰囲気であった。

○眠っている学生は、ほとんどおらず、熱心に聞いてノートを取っている学生が多い様子であった。質問をする学生がほとんどいなかったが、全員が全部理解しているとは思えない

いので、ついて行けなくなった時にすぐに手をあげて尋ねてほしい。または、教員側からくぎりくぎり手をあげさせるとよいのかもしれない。

○居眠りする学生もほとんどなく、教室の後ろの方までしっかりと講義を受講していました。提出型の演習問題は、皆、真剣に取り組んでおり、空白の学生は見渡した感じではないようで、演習型の講義に取り組む学生の様子を伺うことが出来ました。

○学生さんは、授業内容が「物理化学」の速度反応論の項目で少しわかりにくかったのか、話を理解できてなくて退屈そうにしていた学生が数名散見された。演習問題をどの程度の学生さんが解けているのかはわからない。

○ほとんどの学生はまじめに受講していた。退出するものもスマートフォンを出しているものもいなかった。感想欄でも示したように、授業で講義と演習を繰り返すことは、学生の集中力の維持ならびに知識の定着に有効だと感じた。

○わずかに眠っている学生もいたが、ほぼ皆、配付資料にメモを取りながら、集中して講義を聞いていた。小テストや演習問題の解説の時には、黒板の文字を書き写している様子であった。

○内容が解り辛い科目のため、Bクラスであれば、授業についていけずに寝てしまう学生が多いと予想されるが、後の席の2名ほどが寝ていたくらいで、それ以外の学生はしっかりと先生の授業を聞いていた。

○大部分の学生は、真剣にかつ真摯に講義に取り組んでいた。ただし、多くの教職員が参観中でありながら、一部の学生は、講義に集中できない、あるいは講義中の大部分を寝ている学生も数名いた。講義がBクラスであったためと思われる。ただし、Bクラスの学生にしては、大部分の学生が集中して講義を受けているように感じた。

教員による授業の自己評価報告

平成 29 年度

平成 29 年度 教員による授業の自己評価について

教員の教育力向上を目的として、従来「学生による授業アンケート」と「学生アンケートに対する教員コメント」を実施し、一定の効果を得ていたが、さらなる教育力改善のため、専任教員を対象として「教員自身による授業の自己評価」を平成 26 年度より開始した。

平成 26 年度は「教員による自己評価」及び「次年度への計画」が記載項目として挙げられていたが、平成 27 年度は、「学生による授業評価に対するコメント」を追加した。これにより、授業に対する PDCA サイクル（授業（D）、自己評価及び学生評価（C）、次年度への計画（A/P））を 1 枚のシートで確認することができるようになった。さらに、平成 28 年度は、自己評価の項目を①授業に対する自己評価、②学生による授業評価に対するコメント、③昨年の改善計画に対する自己評価、④次年度へ向けての改善計画の 4 項目とし、「③昨年の授業改善計画に対する自己評価」を追加した。これにより、昨年の自己評価による改善計画（P）、授業の実施（D）、授業の自己評価（C）、昨年の改善計画の自己評価（C）、次年度への改善（A/P）と、教員自身の授業に対する PDCA サイクルがさらに充実した。学生評価を加味することで自己点検の際、学生の意見にたいする振り返り効果も得られるものである。

平成 29 年度は、PDCA サイクルが完成した本シートで継続して自己評価を行い、授業改善に資することとした。

「教員による授業の自己評価」は、前期・後期終了後、学内サーバー(¥¥dysv10)の FD 委員会内フォルダーに教員個人が提出する方法で実施した。提出された「教員による授業の自己評価」は、印刷物として図書館で学生・教職員を問わず、誰でも自由に閲覧できるよう備えている。

平成 29 年度の提出率は、前期は 56 科目中 53 件で 94.6%、後期 42 科目中 40 件で 95.2%、全体の提出率は 94.9%で、教員の自己評価に対する意識が高いと考えられる。今後は、この自己評価の有効性を検討して改善を図る予定である。

平成 29 年度 教員による授業の自己評価

担当者名		平成 29 年度	(前・後) 期 (1・2・3・4) Q
担当科目・ 授業回数	(回)	学年	() 年

1. 教員による授業評価

- (1) 授業計画と講義内容について説明しましたか。 はい いいえ
- (2) 学生の理解度を深めるための講義の工夫について、自己評価（該当箇所○）を行って下さい。

	改善が必要 ←————→ 改善不要						該当せず
	0	1	2	3	4	5	
① 配付資料のわかりやすさ							
② 板書の読みやすさ、わかりやすさ							
③ 講義で使用したスライドのわかりやすさ							
④ 重要な事項の強調方法の適切さ							/
⑤ 学生の理解度に応じた講義スピードの調節							/
⑥ 試験内容や試験方法に対する工夫							/

2. 学生による授業評価に対するコメント

3. 昨年の改善計画に対する自己評価

4. 次年度へ向けての改善計画

FD 講習会報告

平成 29 年度

IMAGINE
THE
FUTURE.

筑波大学FD
研究にも「負けに不思議の負けなし」

エゴを通すか、申請書を通すか

“勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし”



松浦清 (勝山) 肥前平戸藩主

負けるときには、必ず負ける理由がある。その一方で、負ける理由があっても外的要因などにより勝つということもある。したがって、勝負に勝ったとしてもおごることなく、さらなる努力が必要である。

熊谷嘉人

筑波大学医学医薬系 環境生物学分野

©2010 University of Tsukuba

筑波大学赴任後の科研費の申請・採択状況 (代表) 28戦17勝11敗

赤字は不採択を示す

採択年度	研究題目	採択額	採択総額 (円)
2017~2018	医学部基礎研究	4,300	4,300
2015~2016	医学部基礎研究	4,400	4,400
2014	前野研	165,900	165,900
2013~2017	基礎研究(S)		
2013	基礎研究(A)		
2013	基礎研究(B)		
2013	基礎研究(C)		
2012	基礎研究(A)	2,900	2,900
2010~2012	基礎研究(B)	5,000	5,000
2010~2012	基礎研究(C)	14,800	14,800
2009~2010	医学部基礎研究	5,200	5,200
2009~2010	基礎研究(S)	3,000	3,000
2009	基礎研究(A)	37,800	37,800
2008	基礎研究(B)		
2007	基礎研究(C)	3,300	3,300
2006~2007	基礎研究(A)	13,300	13,300
2006~2007	基礎研究(B)		
2006	基礎研究(C)		
2005	前野研	3,200	3,200
2003~2004	前野研	13,100	13,100
2003~2005	基礎研究(S)	15,100	15,100
2003~2005	基礎研究(A)	3,600	3,600
2001~2002	基礎研究(B)	8,200	8,200
2000	基礎研究(C)	2,000	2,000
1999~2000	前野研	2,400	2,400
1996~1998	基礎研究(C)	307,500	307,500
	合計		

夢見て行い、考えて祈る



山村雄一 元九州大学生化学教授、元大阪大学総長 (1918~1990)

科研費申請で注意すべき事項

審査にあたっての留意点	詳細
(a) 基礎研究 (S) として推進する必要性	・ 国際的に明らかに高い評価を得る可能性がある研究計画であるか。 申請書の内容
・ 研究代表者及び研究分担者は国際的に卓越した業績を挙げているか。 刊行論文の質と数、関係学会での受賞歴	・ 研究計画の学術的重要性・妥当性
(b) 研究計画の学術的重要性・妥当性	・ 学術的に見て、推挙すべき重要な研究課題であるか。 招待講演の致
・ 研究構想や研究目的が具体的な研究課題に示されているか。 申請書の内容	・ 応募書類の質に合った研究上の意義が認められるか。
(c) 研究計画、方法の妥当性	・ 研究目的を達成するため、研究計画は十分練られたものになっているか。 申請書の内容
・ 研究計画を遂行する上で、当初計画とおりに進まないときの対応など、多方面からの検討状況は考慮されているか。	・ 研究計画を遂行する能力が十分にあるか。 これまでの科研費採択実績、定期的な論文刊行
(d) 研究計画の独創性及び革新性	・ 研究対象、研究方法もたまたまされる研究成果等について、独創性や革新性が認められるか。 申請書の内容
(e) 研究計画の波及効果及び関連性	・ 当該研究分野もしくは関連研究分野の発展に対する大きな貢献、新しい学問分野の開拓等、学術的な波及効果が期待できるか。 申請書の内容
・ 科学技術、産業、文化など、幅広い領域で社会に与えるインパクト、貢献が期待できるか。	・ 応募研究費の妥当性
(f) 応募研究費の妥当性	・ 他の研究費とのお互いの重複や過剰の研究費の集積の可能性があるか。 学会でのシンポジウム企画、新聞等への掲載

申請書の長期的計画・工夫

評価	評価基準
A	採択に値するものである
A-	「A」に値するものである
B	「A-」よりやや劣るものである
C	採択に値しない

人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領5頁参照）

本欄には、研究計画を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記述してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、組換えDNA実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となります。なお、該当しない場合には、その旨記述してください。

研究経費の妥当性・必要性

本欄には、「研究計画・方法」欄で述べた研究規模、研究体制等を踏まえ、次頁以降に記入する研究経費の妥当性・必要性・積算根拠について記述してください。また、研究計画のいずれかの年度において、各費目（設備品費、旅費、人件費・謝金）が全体の研究経費の90%を超える場合及びその他の費目で、特に大きな割合を占める経費がある場合には、当該経費の必要性（内訳等）を記述してください。

研究費の応募・受入等の状況・エフオート

本欄は、第2段階審査（合議審査）において、「研究資金の不合理的な重複や過度の集中にならず、研究課題が十分に遂行し得るかどうか」を判断する際に参照するところですので、本人が受け入れ自ら使用する研究費を正しく記載していただく必要があります。本応募課題の研究代表者の応募時点における、(1) 応募中の研究費、(2) 受入予定の研究費、(3) その他の活動、について、次の点に留意し記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、線を引き区別して記入してください。具体的な記載方法等については、研究計画調書作成・記入要領を確認してください。

- ① 「エフオート」欄には、年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率(%)を記入してください。
- ② 「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記入してください。
- ③ 科研費の「新学術領域研究(研究領域提案型)」にあっては、「計画研究」、「公募研究」の別を記入してください。
- ④ 所属研究機関内で競争的に配分される研究費についても記入してください。

研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由(科研費の研究代表者(又は拠点リーダー等)のようにプログラム全体の研究費の受入研究者)の場合は、研究期間全体(又はプログラム全体)の受入額を記入すること

研究業績

本欄には、研究代表者及び研究分担者が最近5カ年間に発表した論文、著書、産業財産権、招待講演のうち、本研究に関連する重要なものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、発表年(暦年)毎に線を引き区別(線は移動可)し、通し番号を付して記入してください。なお、学術誌入稿中の論文を記入する場合は、掲載が決まっているものに限ります。

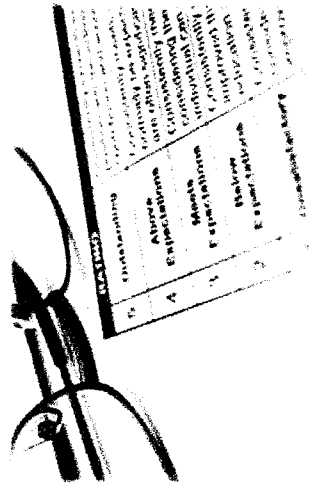
また、必要に応じて、連携研究者の研究業績についても記入することができます。記入する場合には、二重線を引いて区別(二重線は移動可)し、研究者毎に、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり記入してください(発表年毎に線を引く必要はありません)。

(例えば発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年(西暦)について記入してください。)

(以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略(省略する場合、その頁数と、掲載されている順番を○番目と記入)しても可。なお、研究代表者には二重下線、研究分担者には一重下線、連携研究者には点線の下線を付してください。)

薬学教育に活かすルーブリック

— ルーブリック作成ワークショップ —



平成29年 9月 15日 (金)

北海道薬科大学
薬学教育分野
野呂瀬 崇彦

自己紹介

野呂瀬 崇彦 (のろせ たかひこ) 薬学教育分野 准教授

- 昭和43年11月 長野県生まれ、高校まで群馬育ち
- 平成3年北海道大学薬学部卒業 薬剤師免許取得
- 平成6年コロラド大学デンバー校経営大学院卒業 (MBA)
- ドラッグストアチェーンでOTC4年、調剤4年。転職して経営コンサルティング会社で経営コンサルタント。平成16年1月フリーのコーチ、経営コンサルタント
- 平成18年4月より現職 学内にて学習支援、FDを担当
- 専門 医療コミュニケーション、薬学教育方法論
- 日本アーマシューティカルコミュニケーション学会理事
- 日本薬学教育学会、日本医学教育学会、日本社会薬学会 など

今日の流れ

1. SGD①「学習目標とルーブリック」
2. ミニレクチャー「ルーブリックとは？」
3. SGD2「ルーブリックのブラッシュアップ」
4. 全体発表
5. ふり返り、質疑応答

1. イントロダクション

【今日の研修の目標】

- 学修目標にあわせた評価方法の重要性を理解する
- 評価ツールとしてのルーブリックの特徴と限界を理解する。
- 実際のルーブリックのブラッシュアップを通じてルーブリック作成の方法を理解する。

2. SGD①「学習目標とルーブリック」

各グループで本日ブラッシュアップするルーブリックについて、

- ・使用する科目の学習目標
- ・科目の評価方法（「何を」「どう」評価するのか）
- ・評価におけるルーブリックの役割、活用方法
- ・学生との共有方法



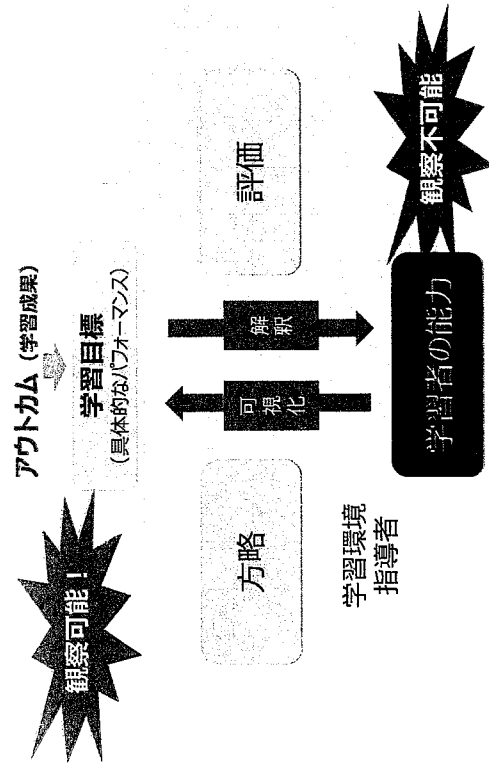
をメンバー間で再確認しましょう！

3. ミニレクチャー

ルーブリックとは？

R u b r i c
R u b r i c
R U B R I C

学習目標と評価 ～学習成果基盤型教育において～



指導薬剤師養成ワーク ショップスライドより

学生に示す学習目標は「パフォーマンス」で表現するとイメージしやすい



- ・ 歩幅とハードル間隔の関係を説明できる (知識)
- ・ 理想のフォームを説明できる (知識)
- ・ 垂直に50cm飛べる (技能)
- ・ 水平に100cm飛べる (技能)
- ・ 安定した着地ができる (技能)
- ・ 失敗しても再びチャレンジできる (態度)

シラバスの表記

- ・タキソノミー毎に行動目標を記載

「助走し、ハードルを適切に飛び越す」

パフォーマンス

- ・学習の成果や目的がイメージしやすい！

指導薬剤師養成ワーク ショップスライドを一部改変

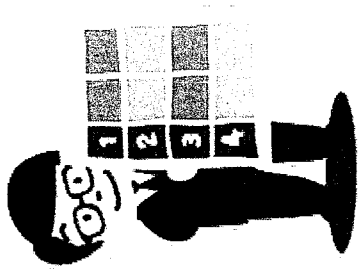
ルーブリックの設計と活用

(1) ルーブリック設計の手順

(2) ルーブリックの構成要素

- 目指すパフォーマンス
- 規準
- 基準

(3) ルーブリック作成例



- S: 特に優れている
 - 期待を超えるプラスαが見られる
- A: 十分達成されている
 - 期待する活動や要素が十分見られる
- B: 概ね達成されている
 - 期待する活動や要素は見られるが、未到達な部分もある
- C: 努力を要する
 - 期待する活動や要素は見られない

目指すパフォーマンス (評価するテーマ)

	S	A	B	C
規準 (1)	評価基準	評価基準	評価基準	評価基準
規準 (2)	評価基準	評価基準	評価基準	評価基準
...

(2) ルーブリックの構成要素

(1) ルーブリック設計の手順

- 1 何を測るルーブリックかを確定する。
 → どの科目のどのSBOs?
- 2 評価対象の活動 (実習等) について、目指すべきパフォーマンスを明確にする。
 → そもそもその実習において、学生が身に着けているべきものは何か
- 3 評価の柱 = 規準をいくつか分割して、各々、タテの欄に記入する。
 → 2のパフォーマンスを構成する要素にわたる (5つ程度が限界)
- 4 各規準の達成度を示すメモリ = 基準をつくり、ヨコの欄に記入する
 → 「理想像」と「未到達」を決めてから間をつくる (1~3段階が限界)
- 5 1~4 の整合性とバランスをはかりながら、文言などを調整する。

まとめ

・ルーブリックとは、点数化しにくいパフォーマンスの達成度を
 はかるツールである。

- シラバスの「到達目標」、「パフォーマンス」、「規準」がすべてリンクしていること
- 学生と共有することが大切!
- 無理してルーブリックでなくてもOK! 評価の対象となる能力にあわせて評価方法を組み合わせて、適切な総括評価を!

4. SGD②「ルーブリックをブラッシュアップ！」

各グループで次の観点からブラッシュアップする

1) シラバスのどの到達目標をルーブリックで評価するのか、他の評価方法との組み合わせは？

2) パフォーマンスが適切に設定されているか

3) 規準がパフォーマンスと結びついているか

4) 基準の数は妥当か？

5) 内容は学生がイメージできるか？

6) 担当教員で適切に評価できるか？ 評価結果を学生に説明できるか？



ブラッシュアップの進め方

- 進行役、書記（PC担当）、発表者をまず決めてください。
- 1) から順に見直し。途中で戻ってOK。できるところまでOK。
- プロジェクターを使って、全員で確認しながらディスカッション。
- 変更点は赤字で。できれば見え消しにすると、変更部分がわかりやすい。

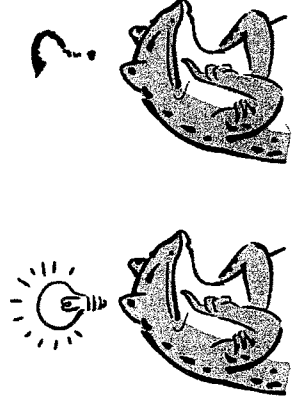
5. 発表

USBメモリにデータをいれてきてください。

1グループあたり

発表5分 フィードバック**2分**

6. 全体ふり返り・質疑応答



学外FD研修会 報告書

門口泰也

"審査システム2018"への対応

科研費改革の進展と申請・獲得方策

～新審査の要点と留意点／新研究計画調書のチェック／支援の実際～

地域科学研究会・高等教育情報センター

日時：2017年9月13日（水）10:00～16:50

会場：日本教育会館 会議室 7階 707 会議室（東京・神保町）

講師：長澤公洋 氏（独）日本学術振興会 研究事業部長 兼 人材育成事業部長

岡野恵子 氏（公）横浜市立大学 URA 推進室 特任講師（URA）

大澤清二 氏 大妻女子大学 副学長 人間生活文化研究所長

（1）科研費システムの変更点

◆ 細目 → 区分

細目が細分化しすぎていたため、狭い研究分野の審査になっていた。審査に多様性をもたせる。

◆ 審査方法

従来は書面審査と合議審査の2段階審査。書面審査と合議審査の審査員は異なり、書面審査でほぼ決定。

30年度からは研究科目によって異なる審査方法に。

○ 総合審査：基盤研究S・A、挑戦的研究

書面審査と合議審査の審査員が同一。1段階ごとに議論。

○ 2段階書面審査：基盤研究B・C、若手研究

採否のボーダー付近の課題および一部の審査員が極端に低く評価した課題について再評価。

◆ 若手研究Aを廃止

基盤研究Bで若手研究者を優先的に採択

◆ 若手研究Bの充実

他の種目に優先して採択率の確保・向上

◆ 若手研究応募要件

39歳以下→博士の学位取得後8年未満

◆ 基盤研究Sの総額

5,000万円以上2億円程度まで → 5,000万円以上2億円以下

◆ 特別推進研究

総額：5億円程度まで（下限なし） → 2億円以上5億円まで

受給回数制限：制限は設けられていなかった → 1回限り

（2）研究計画調書記載内容の変更点

- ◆ 全体的に大雑把に。(記載内容の重複を避ける) → 従来の様式に合わせた書き方がよい。
- ◆ 「1. 研究目的、研究方法など」欄 → 10 行程度の「概要」欄が重要。研究方法是年度に分けて記載したほうがよい。
- ◆ 「2. 着想に至った経緯など」欄 → 審査員に伝えたいこと、アピール点、遂行の可能性を記す。
- ◆ 「2. 着想に至った経緯など」「(3) これまでの研究活動」: 産前産後の休暇および育児休業、介護休業による中断など研究を中断していた期間について説明してよい。
- ◆ 「3. 研究業績」欄
 - 過去5年 → 発表年にかかわらない
 - 連携研究者の業績は記入しない
- ◆ 「研究費とその必要性」欄 → Web 入力に。
- ◆ 挑戦的研究
 - 事前の選考では概要版のみで実施 → 研究計画調書の概要欄が重要

(3) 研究調書作成に関する注意点 (上記2もあわせて参照)

様式が大雑把になったが、従来の様式に習った書き方が望ましい。

- ◆ 研究計画について「初年度と次年度以降に分けて書く」という指示がなくなった → 分けて書いたほうが計画性が見やすい。
- ◆ 「計画どおりに進まなくなった場合」についても示す。
- ◆ 「2. 着想に至った経緯など」欄の項目(1)～(4)について、順番どおりに示す必要はない。
- ◆ 「2. 着想に至った経緯など」欄に科研費採択実績を示す。
- ◆ 研究の難所は、「1. 研究目的、研究方法など」あるいは「2. 着想に至った経緯など」欄に示す。
- ◆ 本文の強調の仕方 (岡野氏の感覚)
 - アンダーラインは避けたほうがよい
 - 「明朝体」を基本とし、強調箇所は「太字ゴシック」で示す
- ◆ 図表: 他人に分かってもらえるように。日本語で。図表番号とキャプションをつける。

(4) その他

- ◆ 科研費取得は大学のブランド力向上に不可欠 (大澤氏)
- ◆ 研究倫理 e ラーニング: 所属先が変更になっても再度受ける必要はない。

編集委員

第一薬科大学 FD委員会

委員長 荒牧 弘 範

委員 戸田 晶久 村山 恵子 副田二三夫

安川 圭司 岡崎 裕之 松延千春

江藤 和彦 宮本 明憲 上野雅継

発行人

福岡市南区玉川町22-1 第一薬科大学内 荒牧 弘範

印刷所

福岡市南区清水3-20-10 (株)甘棠社

(非売品)

平成30年2月28日印刷

平成30年2月28日発行

発行所 福岡市南区玉川町22-1 第一薬科大学

